小学館版 少年少女 学習まんが

日本の歴史

監修/児玉幸多 学習院大学名誉教授

⑯ 幕末の風雲 ●江戸時代末期

決定版

●まんが

あおむら　純

1941年、山口県に生まれる。アニメーションの作画などをへて現在にいたる。歴史まんがの分野で大活やくし、少年少女のファンも多い。

16巻にご協力いただいた方がた

●監修
児玉幸多（学習院大学名誉教授）

●まんが
あおむら純
●シナリオ
西原和海

●考証
石井謙治（日本海事史学会名誉会長）
小泉和子（生活史研究所代表）
鈴木友也（日本美術刀剣保存協会専務理事）
高田倭男（高田装束研究所所長）
玉井哲雄（千葉大学名誉教授）

●指導（教育現場の立場から）
高山博之（京都教育大学名誉教授）

●指導・執筆・協力
大塚　力（戸板女子短期大学教授）
岡田威夫（共立女子高校）
佐藤正夫（品川台場研究家）
竹内　誠（江戸東京博物館館長／東京学芸大学名誉教授）
所　荘吉（鉄砲史研究家）
吉原健一郎（成城大学名誉教授）
高橋千劔破

●取材協力
会津若松市　伊丹重雄　江川文庫　鹿児島市神奈川県立博物館　鎌倉考古学研究所　京都国立博物館　慶応義塾大学　佐賀県立博物館三田情報センター　(財)黒船館　高知県立坂本龍馬記念館　国立公文書館　三時知恩寺静岡県韮山町教育委員会　品川区立品川歴史館　松陰神社　尚古集成館　寺田屋　東京国立博物館　東京大学史料編纂所　東京大学新聞研究所図書館　東京都公文書館　東京都港湾局　東京都立中央図書館　所荘吉　長野県南木曽町役場　名古屋市蓬左文庫　奈良文化財研究所　日本通運(株)通運史料室
萩市　久継富昭　(財)白虎隊記念館　船の科学館　(財)前田育徳会　松尾佑三　元離宮二条城事務所　八木喜久間　(株)雄松堂出版
(株)龍馬歴史館

●イラスト
河合秀和　中西立太　深山のぼる　山根篤
●作画協力
大岡龍二　小野寺克彦　小井土繁　小杉彰
小林進　小山春夫　阪上吉英　芝知照
田中正仁　坪井幸一　馬場秀夫　森正
山本貴久雄
●装丁・レイアウト
功野真矢　佐野恒雄（ＣＳＪ）　DOMDOM
成澤哲夫（ＮＥＤ）
●版下
大山デザイン　昭和ブライト　タナカデザイン
●編集協力
旭享子　エディトリアル・プランニング　真英社　風人社　鈴木悦子　銀杏社　中田絵里
●編集担当
柏原順太　宮部良雄　八巻孝夫

（五十音順・敬称略）

小学館版 少年少女 学習まんが

日本の歴史

16

幕末の風雲

●江戸時代末期

監修/児玉幸多　まんが/あおむら純

この巻の歴史年表

巻数	時代	年代
1	旧石器（岩宿）	前3万
	縄文（紋）	前1万
	弥生	前1000
2	古墳	紀元1
	飛鳥	100
3	奈良	200
4	平	300
5	安	400
6		500
7	鎌倉	600
8	南北朝	700
9	室町	800
10	戦国	900
11	安土桃山	1000
12	江戸	1100
13		1200
14		1300
15		1400
16		1500
17	明治	1600
18		1700
19	大正	1800
20	昭和・前期	1900
21	昭和・後期～平成	

●この巻には、青色の部分の時代・年代が、かかれています。

時代・年号

日本のおもなできごと

西暦 ●1853 ●1854

ペリーが浦賀に来航して開国をせまる。

日米和親条約がむすばれ、開国する。（鎖国のおわり）

江戸で安政の大地震がおこる。

尊王攘夷運動がもりあがっていく。

西暦 ●1858 ●1860

日米修好通商条約がむすばれる。（貿易の開始）

あとつぎ争いの結果、家茂が将軍となる。

梅田雲浜らがつかまり、**安政の大獄**がはじまる。

大老井伊直弼が暗殺される。**（桜田門外の変）**

幕府が**公武合体運動**をすすめ、和宮の降嫁を要請する。

米価が上がり、一揆が多くおこる。

このころから外国人殺傷事件が多くなる。

世界のおもなできごと

西暦 ●1852 ●1853

ナポレオン三世が即位する。

クリミア戦争がおこる。

（～56）

西暦 ●1857 ●1858

セポイの乱がおこる。

イギリスがインドを併合する。

西暦 ●1859

ダーウィンが「種の起源」をあらわす。

明治時代

江戸時

明治一　明治二

●1861 ●1862 ●1863 ●1864 ●1865 ●1866 ●1867 ●1868 ●1869

ロシア艦隊に対馬を占拠されたが、イギリスの応援でしりぞける。

老中安藤信正が水戸浪士におそわれる。（坂下門外の変）

島津久光が公武合体をすすめる。

寺田屋騒動・**生麦事件**がおこる。

攘夷運動がさかんになり、下関で長州藩が外国船を砲撃する。

薩英戦争の結果、イギリスと薩摩藩がむすびつく。

朝廷が長州藩などの攘夷論をしりぞける。（八月十八日の政変）

新撰組が京都の池田屋にいる志士をおそう。（池田屋の変）

蛤御門の変（禁門の変）がおこる。

イギリスなど四国連合艦隊が下関を占拠する。

幕府が**長州追討**を行い、長州藩は降伏するが、すぐ倒幕派が台頭する。**（下関戦争）**

倒幕の気運がもりあがる。

幕府が第二次幕長戦争を発令する。

薩長連合が成立し、倒幕へむかう。

幕府が長州追討に失敗し、家茂の死で兵を引きあげる。

江戸や大坂で打ちこわしがおこる。

一橋慶喜が将軍となる。

ええじゃないか運動が各地におこる。

将軍慶喜が**大政奉還**を行い、朝廷は**王政復古の大号令**を出す。

戊辰戦争がおこる。**五箇条の御誓文**を発布する。

箱館戦争で旧幕府軍がやぶれ、戊辰戦争がおわる。

●1861 ●1862 ●1863 ●1864 ●1865 ●1867

イタリア王国が成立する。

南北戦争がおこる。（～65）

フランスがインドシナ半島を植民地化する。

リンカーンが奴隷解放を行う。

国際赤十字ができる。

メンデルが遺伝の法則を発見する。

ノーベルがダイナマイトを発明する。

はじめに

黒船の来航から攘夷、倒幕へ

◆黒船そうどう

一八五三年のことです。浦賀（神奈川県）の沖に、とつぜん、アメリカの軍艦4せきが姿をあらわしました。日本に開国をせまってきたのです。船体が黒くぬられたこの軍艦を、人びとは「黒船」とよびました。

さあ、たいへん！　江戸の人びとは、今にも戦争がおこるのではと大あわてですし、幕府は、どのような対策をとったらよいのかと、大よわりでした。

けっきょく、その翌年、幕府は、アメリカと仲よくするという条約を結ぶことになります。二百年以上もつづいた鎖国が、とうとうくずれることになったのです。

◆幕府をたおせ

江戸時代をとおしてずっと、朝廷は、まったく政治的な力をもっていませんでした。ところが、アメリカとの条約に反対する人たちが、「尊王」（天皇をうやまうこと）をあいことばに、「攘夷」（外国人を追いはらうこと）の運動をはじめたのです。

幕府もまた、朝廷の力にたよろうとしました。このころの幕府にはもう、攘夷派をおさえ、国内の混乱をただしていく力がなくなっていました。

攘夷派の人たちは、自分たちのかんがえが時代にあわないことを、やがて知るようになります。開国もやむをえないが、このまま幕府に政治をまかせてはおけない。幕府をたおさなくてはと、かんがえたのでした。

◆新政府うまれる

倒幕運動をささえたのは、各藩の下級武士たちでした。土佐藩の坂本龍馬とか、長州藩の高杉晋作、薩摩藩の西郷隆盛といった人たちが、その中心となって活やくしたことは、みなさん、よくごぞんじかもしれません。

十五代将軍・徳川慶喜が、政権を朝廷にかえすことをもうし出たのは、一八六七年でした。

ここに、天皇を中心とする新政府の誕生となります。その後、旧幕府軍と新政府軍とのあいだに戦争（戊辰戦争）がおこります。

――この巻であつかう時間は、わずか十六年ほどにしかすぎません。しかし、そのあいだに、ずいぶんたくさんの人物が登場しますし、目まぐるしく事件が展開していきます。

複雑な内容を理解しながら読んでいくには、みなさん、うんと時間がかかりそうですよ。

もくじ

- この巻の歴史年表
- はじめに
- おもな登場人物

第1章 黒船が来た！

- 大画面・ペリーの黒船
- 日米和親条約調印
- 混乱する政治
- 日米修好通商条約調印
- 安政の大獄と桜田門外の変

第2章 尊王攘夷と公武合体

- 咸臨丸と不平等条約
- 和宮降嫁
- 寺田屋騒動
- 攘夷の戦い

第3章 大政奉還

- 八月十八日の政変
- 池田屋の変
- 大画面・禁門の変
- 坂本龍馬と薩長同盟

16 幕末の風雲

●江戸時代末期

戊辰戦争

- 大政奉還
- 小御所会議
- 鳥羽・伏見の戦い
- 江戸開城
- 会津戦争
- 大画面・白虎隊の悲劇

おもな登場人物

※この巻に登場するおもな人物を紹介します。登場人物をくわしく知るための事典として、役立たせてください。

第1章

ペリー（一七九四〜一八五八年）

アメリカ東インド艦隊司令長官として、幕府に開国を要求するためにやって来た。

阿部正弘（一八一九〜一八五七年）

開国を決意した老中。アメリカその他と和親条約を結び、幕府の政策をあらためる。

ハリス（一八〇四〜一八七八年）

アメリカの初代駐日総領事として来日する。日米修好通商条約を結ぶ。

井伊直弼（一八一五〜一八六〇年）

大老として朝廷の許可なしで日米修好通商条約に調印し、桜田門外で暗殺される。

第2章

和宮（一八四六〜一八七七年）

仁孝天皇の皇女、孝明天皇の妹。十四代将軍徳川家茂と結婚、公武合体の犠牲になる。

島津久光（一八一七〜一八八七年）

薩摩藩主。京の寺田屋で藩の尊王攘夷派を弾圧するなど、公武合体派の中心となる。

一橋（徳川）慶喜（一八三七〜一九一三年）

徳川家茂の後見職として公武合体に努力する。将軍になって政権を朝廷に返還する。

松平慶永（一八二八〜一八九〇年）

福井藩主。開国の必要性を主張し、政事総裁職になって公武合体の実現に力をつくす。

16 幕末の風雲

●江戸時代末期

新撰組

白虎隊の少年

第3章

高杉晋作（一八三九～一八六七年）

長州藩に奇兵隊をつくる。藩を倒幕へみちびき、第二次幕長戦争で幕府軍に勝つ。

土方歳三（一八三五～一八六九年）

近藤勇とともに幕府の浪士組に参加、後に新撰組副長として最後まで官軍とたたかう。

桂小五郎（一八三三～一八七七年）

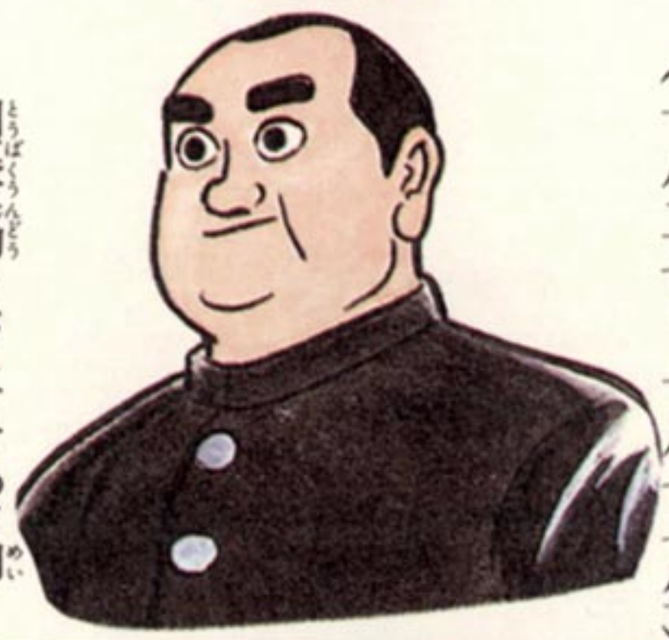
木戸孝允の通称。倒幕運動に活やくし、薩長連合を成功させ、維新政府の土台を築く。

坂本龍馬（一八三五～一八六七年）

薩長連合実現に努力する。海援隊長として新政府構想を持ち、大政奉還を成功させる。

第4章

西郷隆盛（一八二七～一八七七年）

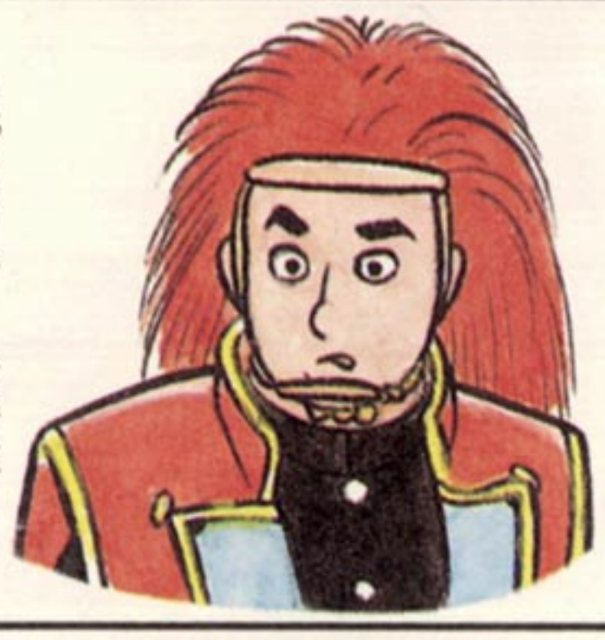


倒幕運動をおしすすめて明治維新を成功させる。明治政府の参議として活やくする。

勝海舟（一八二三～一八九九年）

咸臨丸で太平洋横断に成功する。西郷隆盛と話しあい、江戸城を無血開城する。

相楽総三（一八三九～一八六八年）



尊王攘夷派で、赤報隊をつくり官軍の先鋒として年貢半減令を農民に知らせる。

榎本武揚（一八三六～一九〇八年）

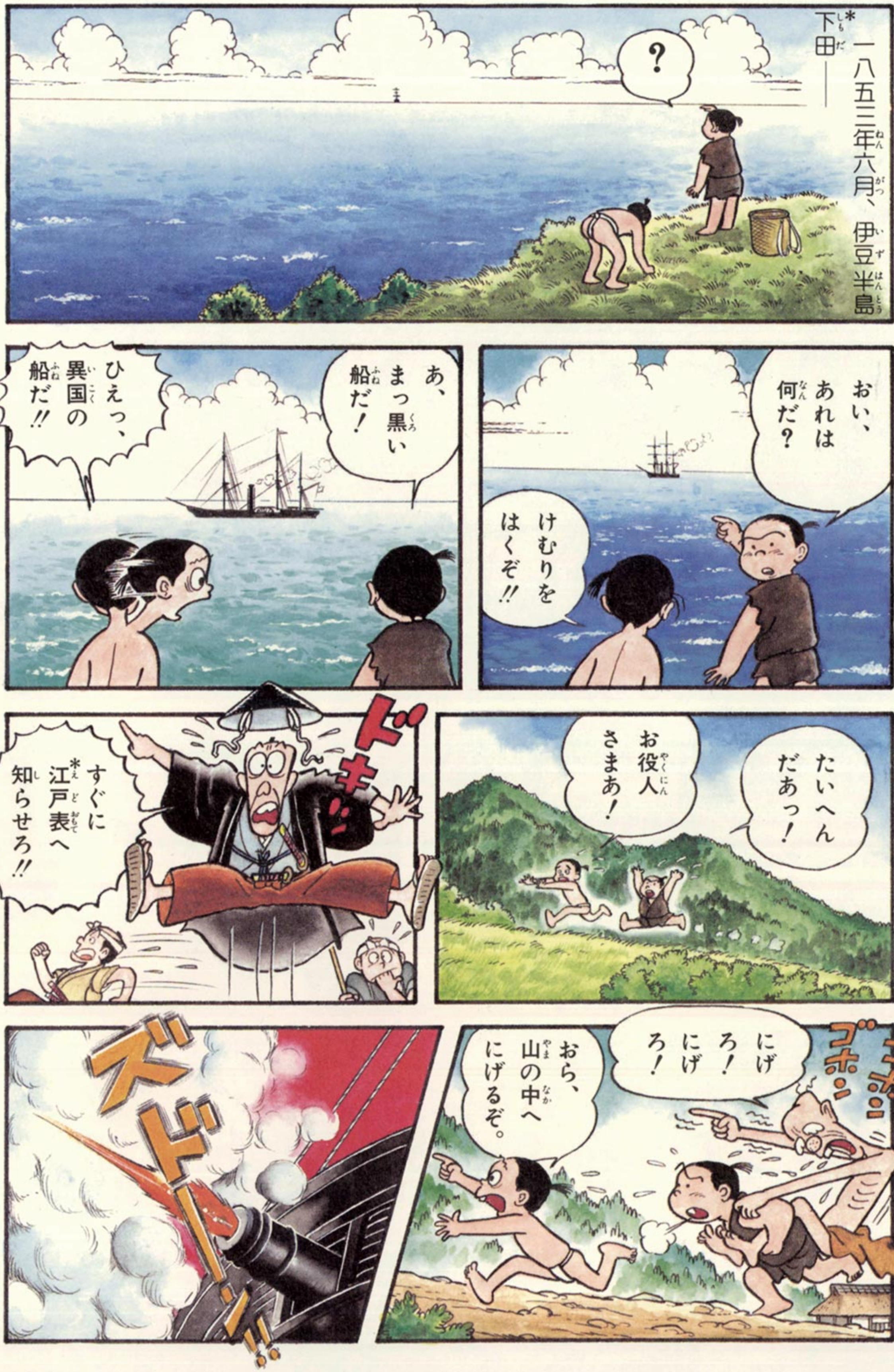
幕府海軍の中心人物だったが、維新後、降伏して新政府に入り、要職につく。

小学館 eBooks

第一章

黒船が来た！

——江戸時代末期——



*下田…静岡県下田市　*江戸表…江戸のこと。地方から江戸をさしていう。

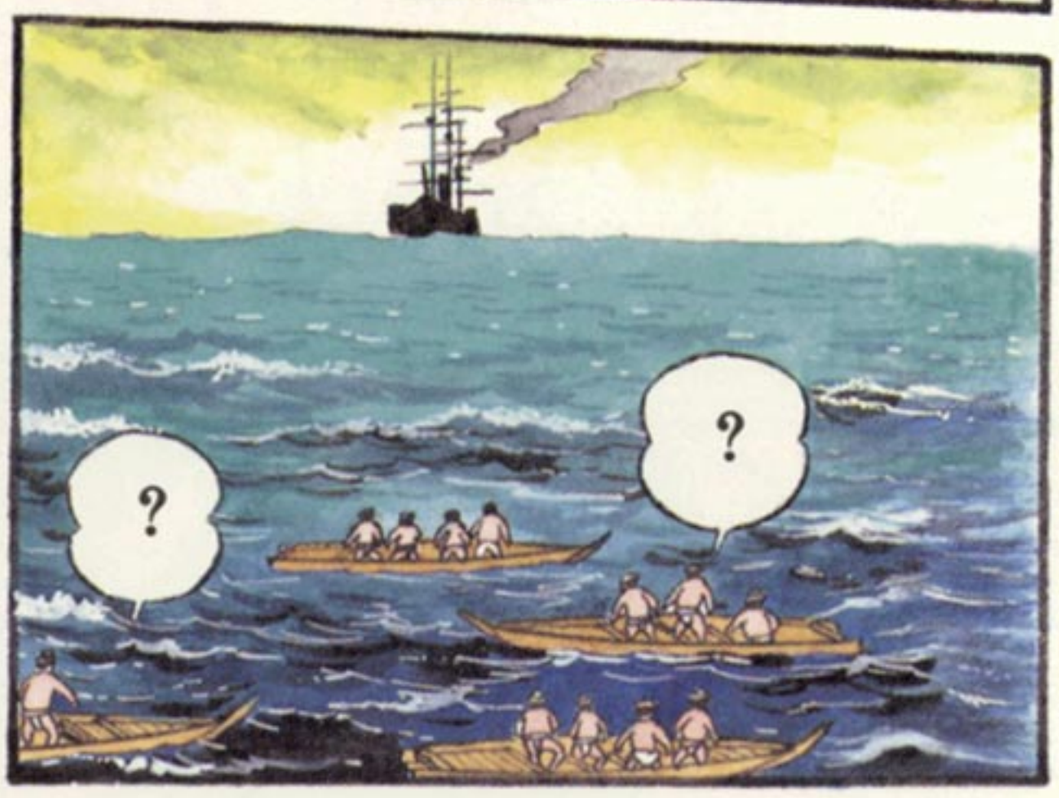
きゃあ、大砲だわ。

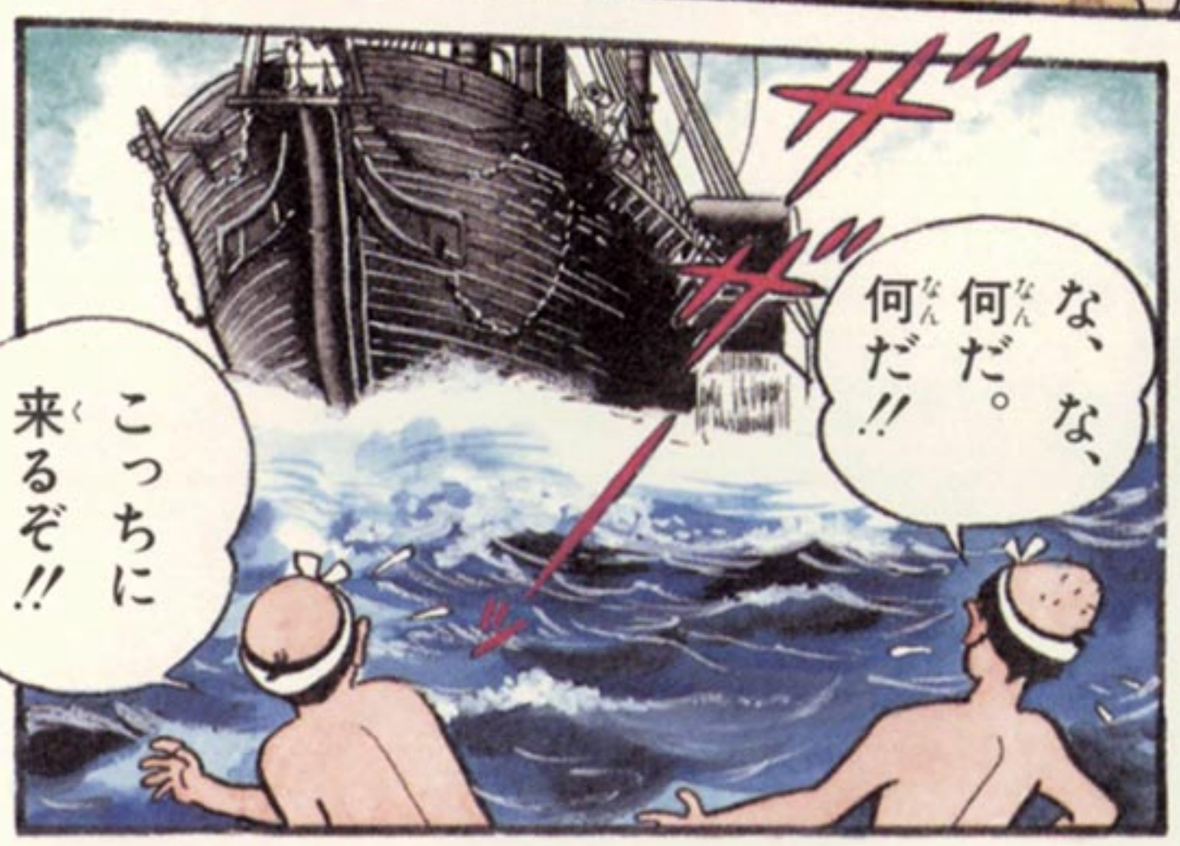
うわあ、腰がぬけた。

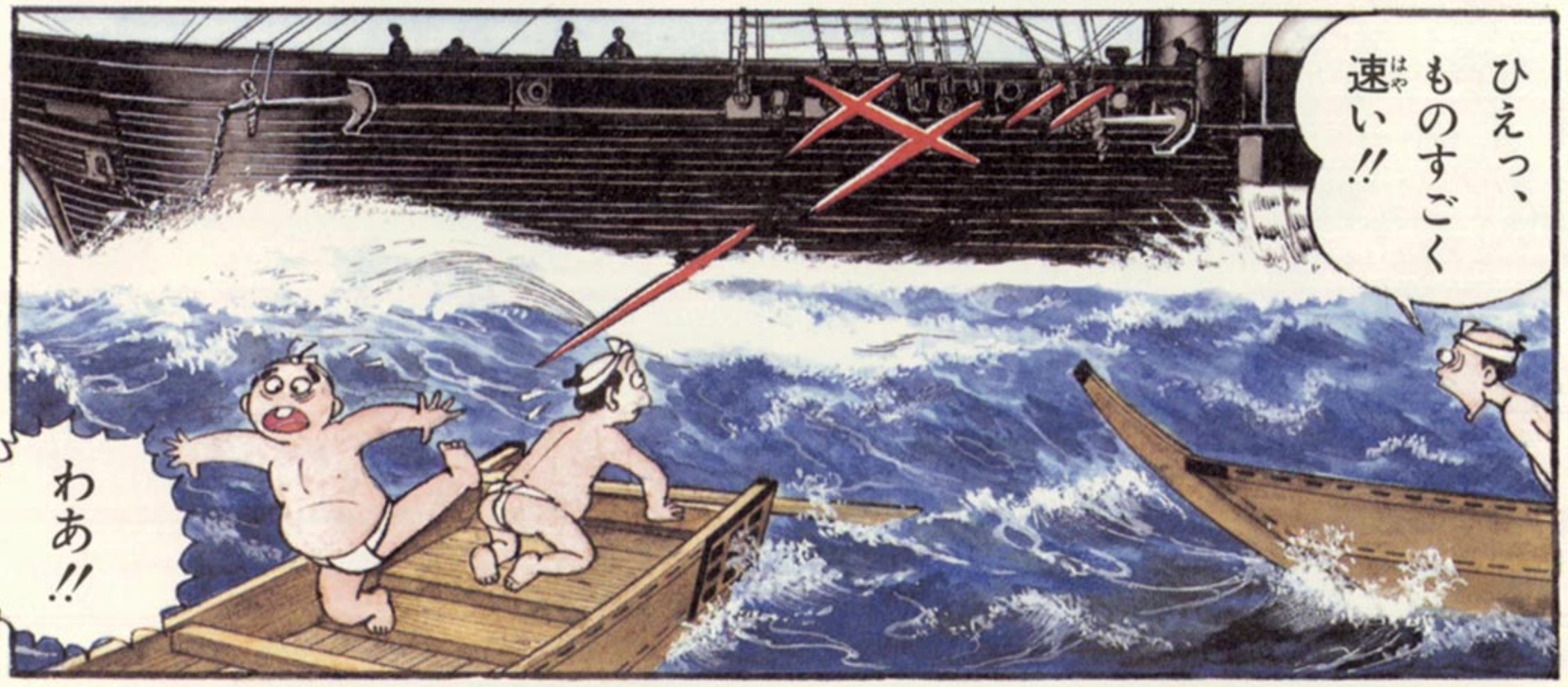
ガー

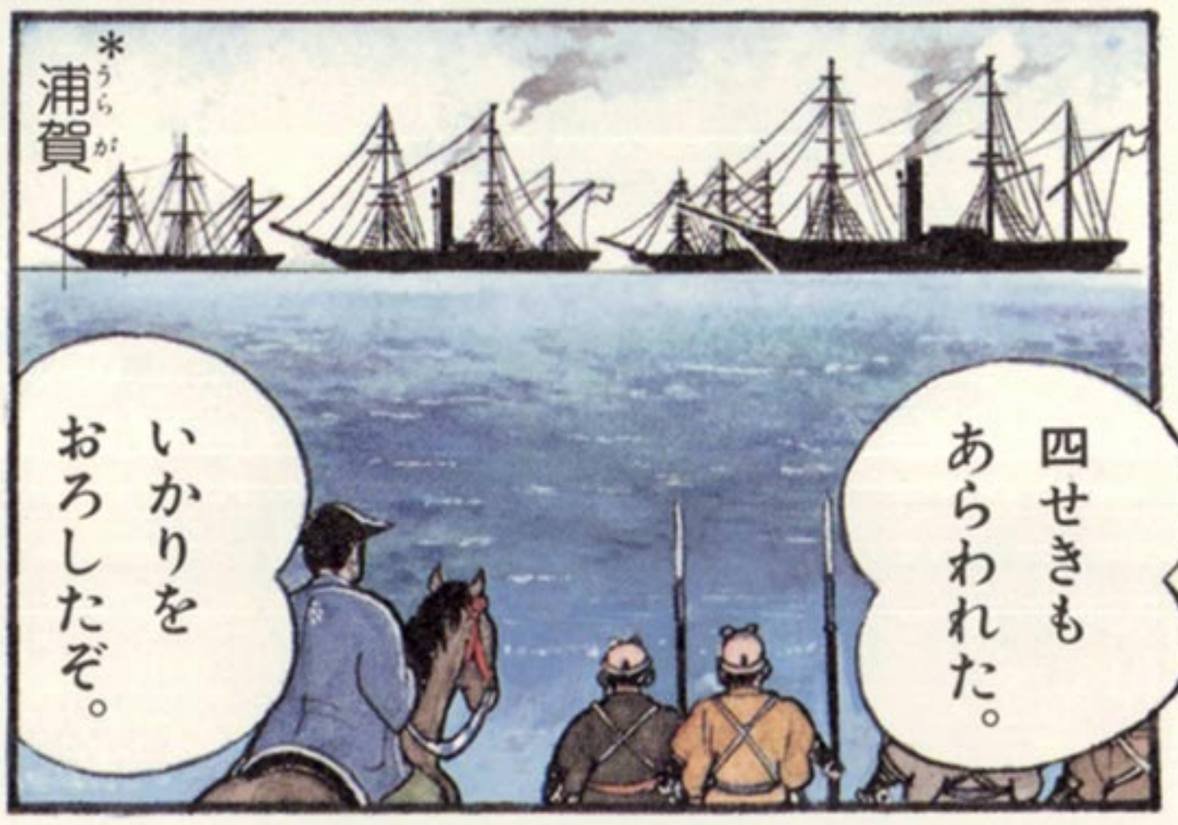
おじい、まってくれ！

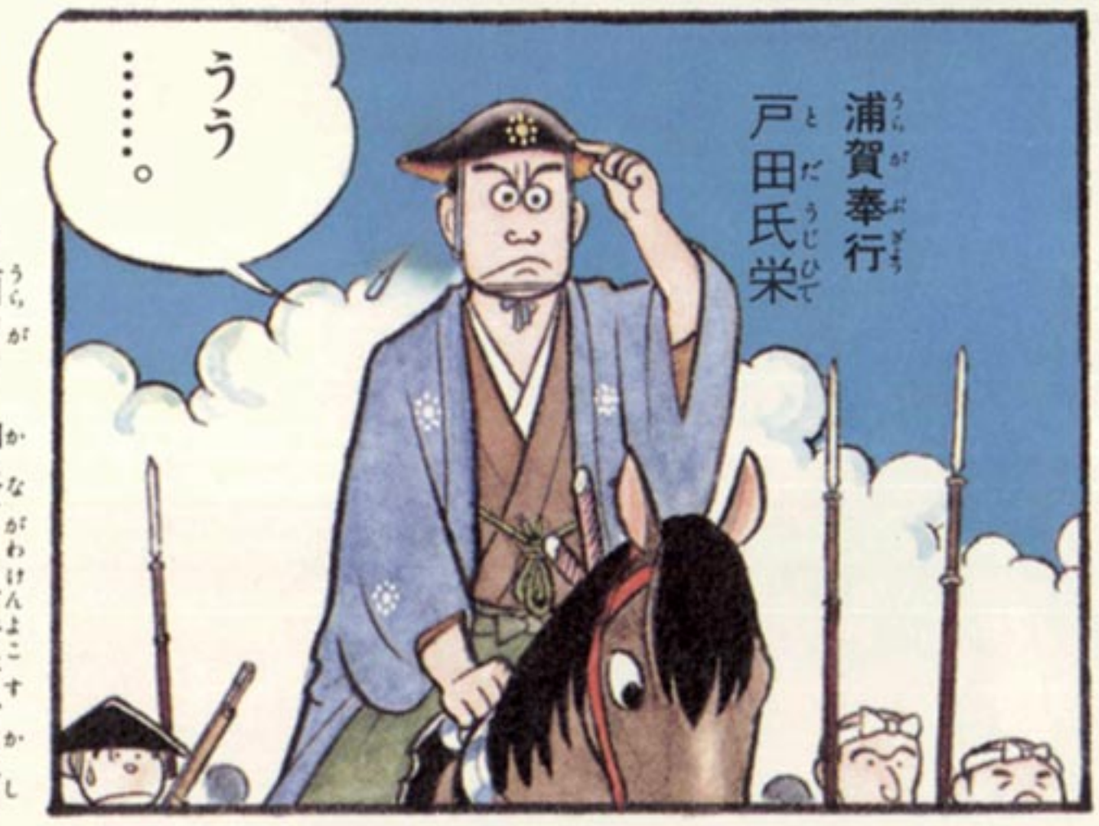
それっ、にげろ!!









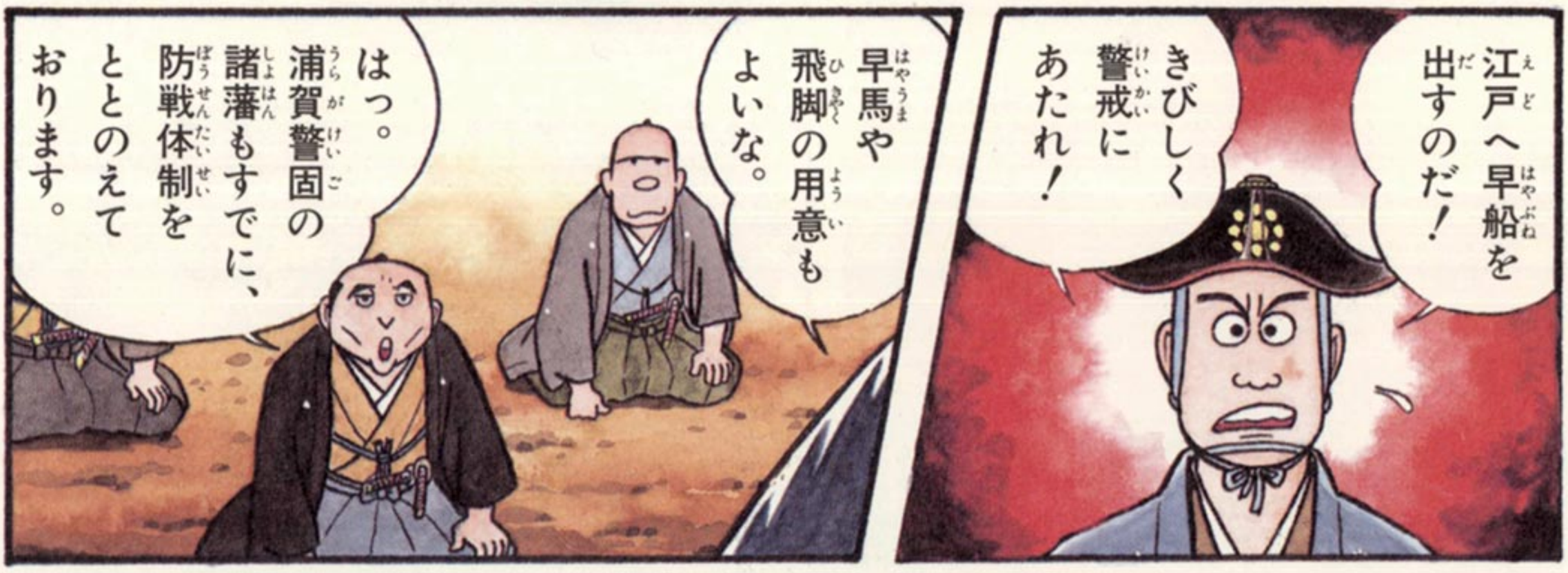


*浦賀…神奈川県横須賀市

なんて大きい船だ！

どけ、どけ!!

ヨイショ!!



ペリー提督

とうとう
やってきた。
平和に
開国させたい
ものだ。

ペリー提督の
ひきいる、アメリカ
東インド艦隊の
軍艦四せきが、
日本に来航したのです。

まっ黒で
こわいな。

ザザ
ザザ

ゴゴゴゴ…
ゴゴゴゴ…

そなたたち、
とりあえず
あの船の者に
会見をもうし
こむのだ。

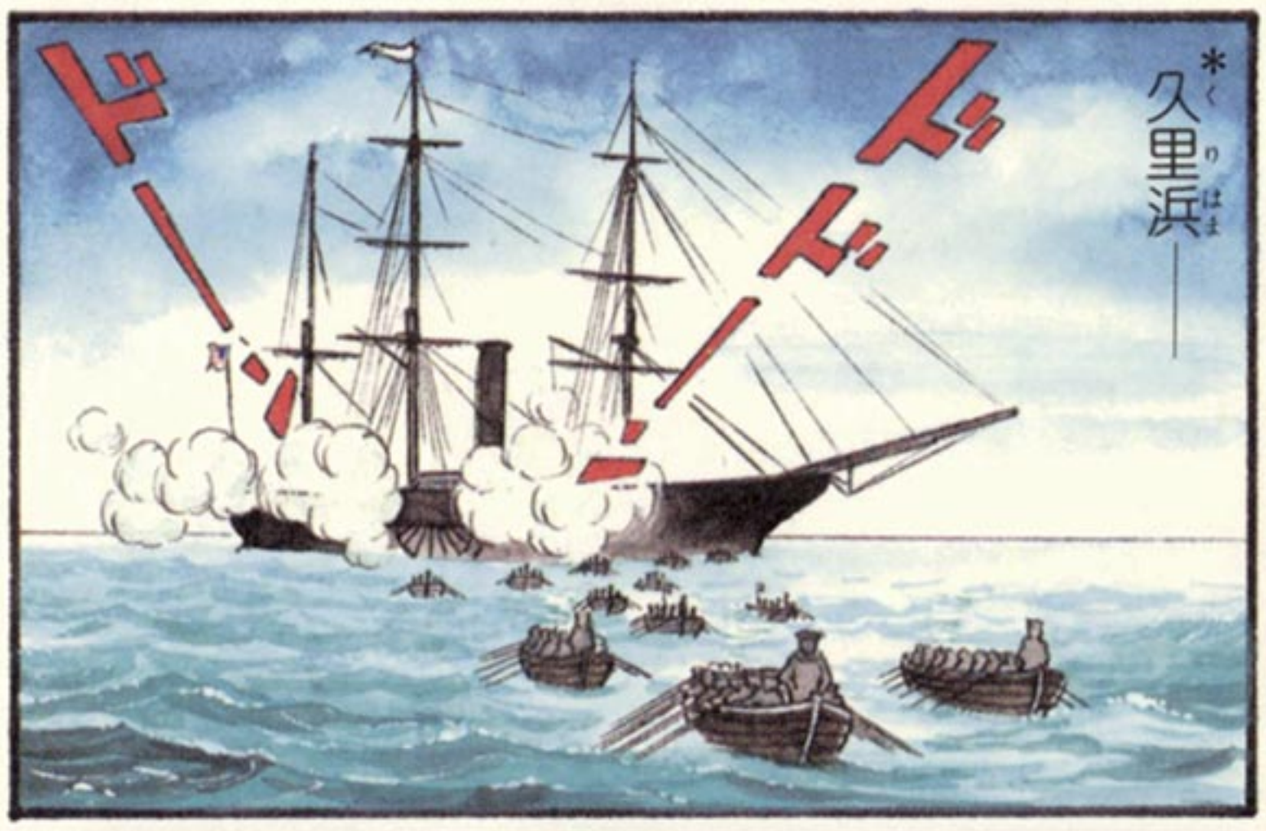
はっ、
いかなる
用件が
あるのか、
聞いてまい
ります。

江戸城——

*国書…国の名で出す外交文書。

*大宮…埼玉県さいたま市大宮区

*久里浜…神奈川県横須賀市



こちらの応接所へどうぞ。

国書はたしかにおあずかりもうした。

できるだけ早く、ご帰国をねがいたい。

国書にたいする返事をいただきに、来年また来ます。

う……。

江戸城――

一時のがれかもしれないが、とにかく難を切りぬけた。

もうしあげます。

ええっ、ペリーの船が江戸湾深く侵入してきたと!!

こうした混乱のなかで、将軍家慶がなくなり、子の家定が十三代将軍職をつぐことになりました。

*祖法…祖先のはじめた法。

*公儀…ここでは、幕府のこと。

*開びゃく…世のはじまり。

*水戸藩…茨城県水戸市周辺を領地とした藩。

このころ、プチャーチンのひきいるロシアの艦隊が長崎にやってきて、アメリカと同じことを要求したのじゃ。

日本もたいへんになってきたのね。ここで、当時のアジアにおける世界各国の動きを見てみましょう。

●各国のアジア進出

十九世紀前半、ヨーロッパ諸国は武力をつかって、アジアに市場をもとめてきたのですね。

●この地図の色分けは、19世紀末のようすです。

日本
朝鮮
清
アヘン戦争（1840～42年）
アロー戦争（1856～60年）
フランス領
*アメリカ領
イギリス領
セポイの乱（1857～59年）
オランダ領

*麻薬…ますいや痛み止めにつかう薬品。アヘンを常用すると中毒症状をおこす。

イギリスは、インド産のアヘンという*麻薬を、*清に売りつけ、大きな利益をえました。

その後、清はアヘンを没収し、輸入を禁止しましたが、そのため、イギリスとの間に戦争がおこりました。

このアヘン戦争（一八四〇～四二年）で、清はイギリスの軍事力に負け、香港をうばわれてしまうなど、イギリスの領土となりそうな危機におちいりました。

*清…一六一六年から一九一一年までつづいた中国の国家。

*アメリカ領…フィリピンは、1898年まではスペイン領。

やがて、一八四四年になってオランダ国王から幕府へ手紙がとどけられた。

忠告します。このままでは、日本も清のようになります。

開国をするほうが、日本の利益になりますよ。

うむ、しかし…。

このころアメリカでは、太平洋の捕鯨業がさかんでした。

捕鯨船の食糧や飲料水を補給するため、日本の港を利用できればいいなあ。

一八四六年、アメリカの使節ビッドル提督が浦賀にやってきました。

日本は、開国するつもりがあるのですか!?

このように外国からの圧力が強まってきても、幕府は思いきった対策をうち出すことができませんでした。

弱った。

そして——

今度のペリーのひきいる艦隊の来航となったのです。

太平のねむりをさます上喜撰たった四はいで夜もねられず

お、今はやりの*狂歌だな。

「上喜撰」という上質の茶をのむと、こうふんしてねむれなくなるように、日本は、四せきの「蒸気船」のために平和なねむりをやぶられ、不安でいっぱいだという意味じゃよ。

*狂歌…しゃれやこっけいを主とした和歌。

翌一八五四年一月――

あっ、また黒船だ。

ペリーがもうやってきたか…。

横浜――

今回の会談は、*横浜で行うことにします。

交渉はのらりくらりと長引かせていただきたい。

ペリーはあきらめてくれるでしょうか…。

町奉行 井戸覚弘

*儒者 林 煒

世界の情勢を見れば、開国は、もはやあたりまえのことです。

ううー…。

条約をむすぶまで、一歩も引き下がりませんぞ。

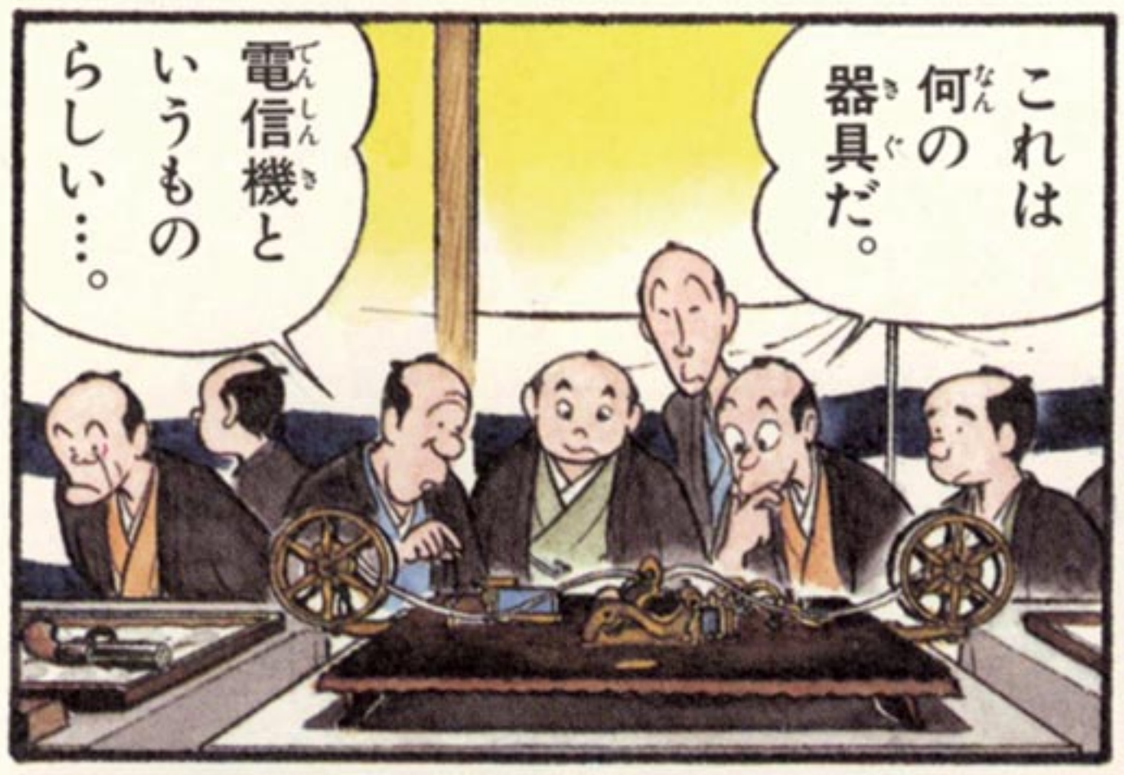
*横浜…神奈川県横浜市

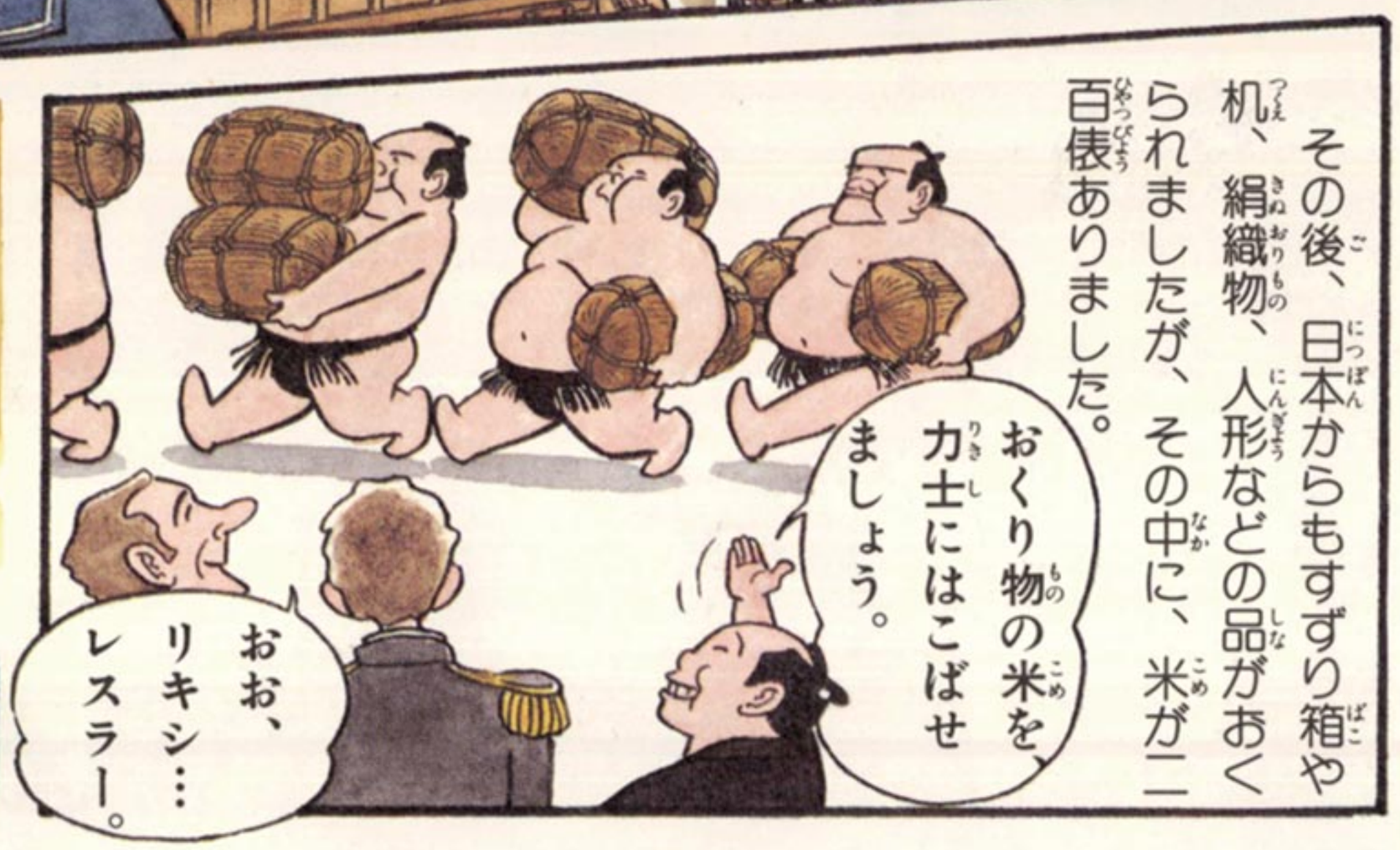
*儒者…中国の儒学をおさめた人。

幕府はペリーにおしきられて、ついに条約をむすぶことになりました。この条約を、「日米和親条約」といいます。

では、下田と*箱館の二港をひらき、アメリカが必要とする水や食糧をお分けすることにいたしましょう。

オーケー、ペリー・グッド。両国の貿易については、べつに条約を考えましょう。





その後、日本からもすずり箱や机、絹織物、人形などの品がおくられましたが、その中に、米が二百俵ありました。

＊箱館……北海道函館市。一八六九年（明治二）九月、箱館を函館とする。

＊品川…東京都品川区

ここは品川の海辺――

外国船にそなえて、一日も早く台場をつくるのだ。

はっ、夜昼なしでがんばっております。

大砲は、どのへんにすえつけるのかな？

海の中に、いくつも島をつくるんだからたいへんだ。

カーン

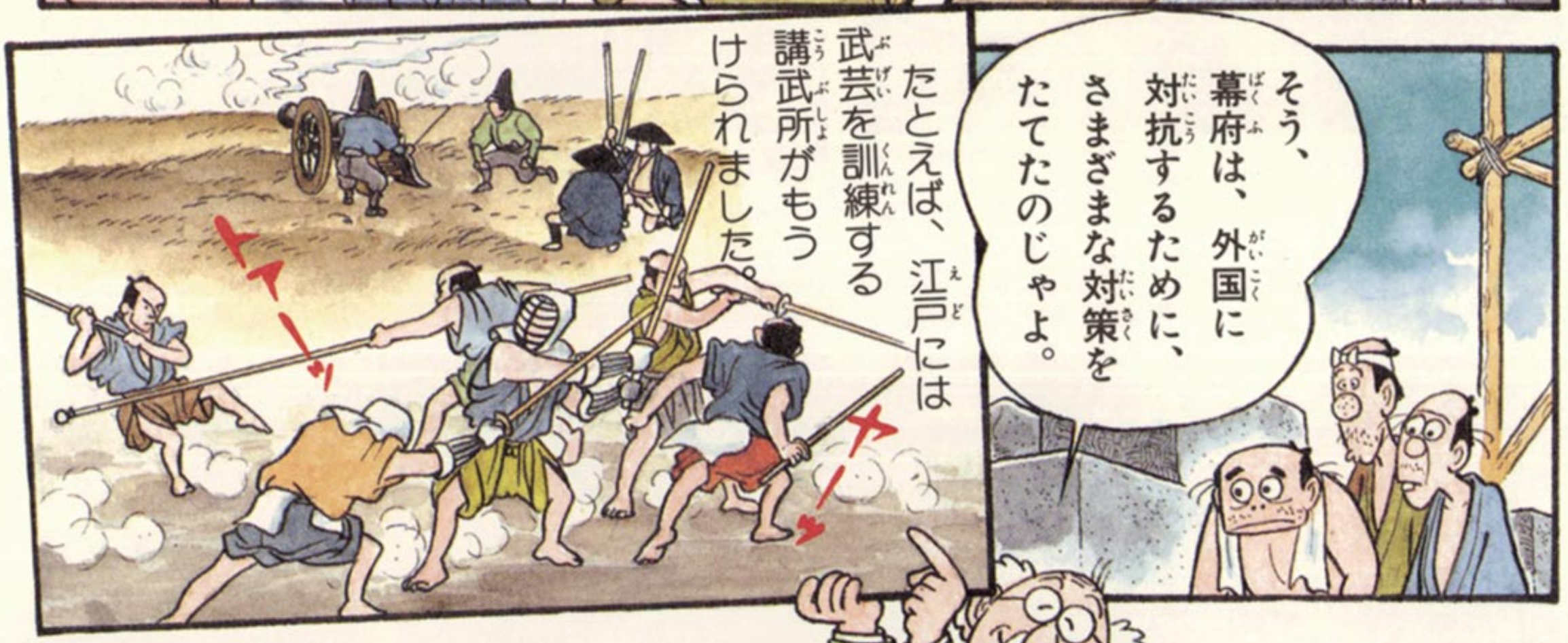
カンカン

ヨイショ!!

エッサ

ホイサ!

＊台場…海からの敵にそなえた砲台。



＊韮山…静岡県伊豆の国市中

伊豆の＊韮山では、大砲をつくるための反射炉が建設されました。

伊豆代官江川英竜

これは、わたくしの指導によります。

長崎には「海軍伝習所」がつくられ、ここでは、オランダ人の指導のもとに幕臣や各藩士が訓練をうけました。

がんばってください。

幕府では、身分に関係なく有能な者たちをとりたてるようになってきました。

勝海舟

洋学の研究や翻訳を行う「蕃書調所」もひらかれました。

また、各藩でも、外国にそなえて、軍備や産業を充実させていきました。

以上のようなことなんじゃ。

…すると、ここも外国船にそなえてつくるんだな。

大名たちは、大船をつくることもゆるされたらしい。

不景気つづきのなかで、仕事があってたすかったよ。

一日中仕事をしているから、いいお金になる。

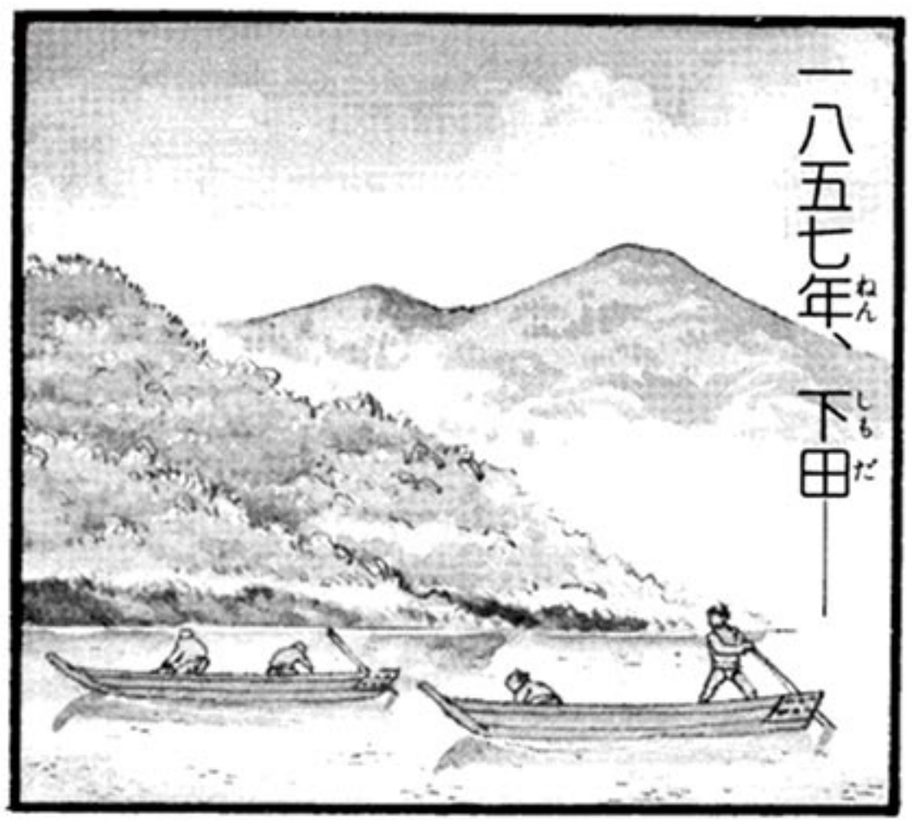
それにしても、これから日本はどうなることやら…。

その後、品川の台場は幕府の財政難のため、とちゅうで工事が中止されてしまいました。また、できあがった台場もほとんど役だちませんでした。

一八五五年十月、江戸は大地震にみまわれました。

にげろおっ!!

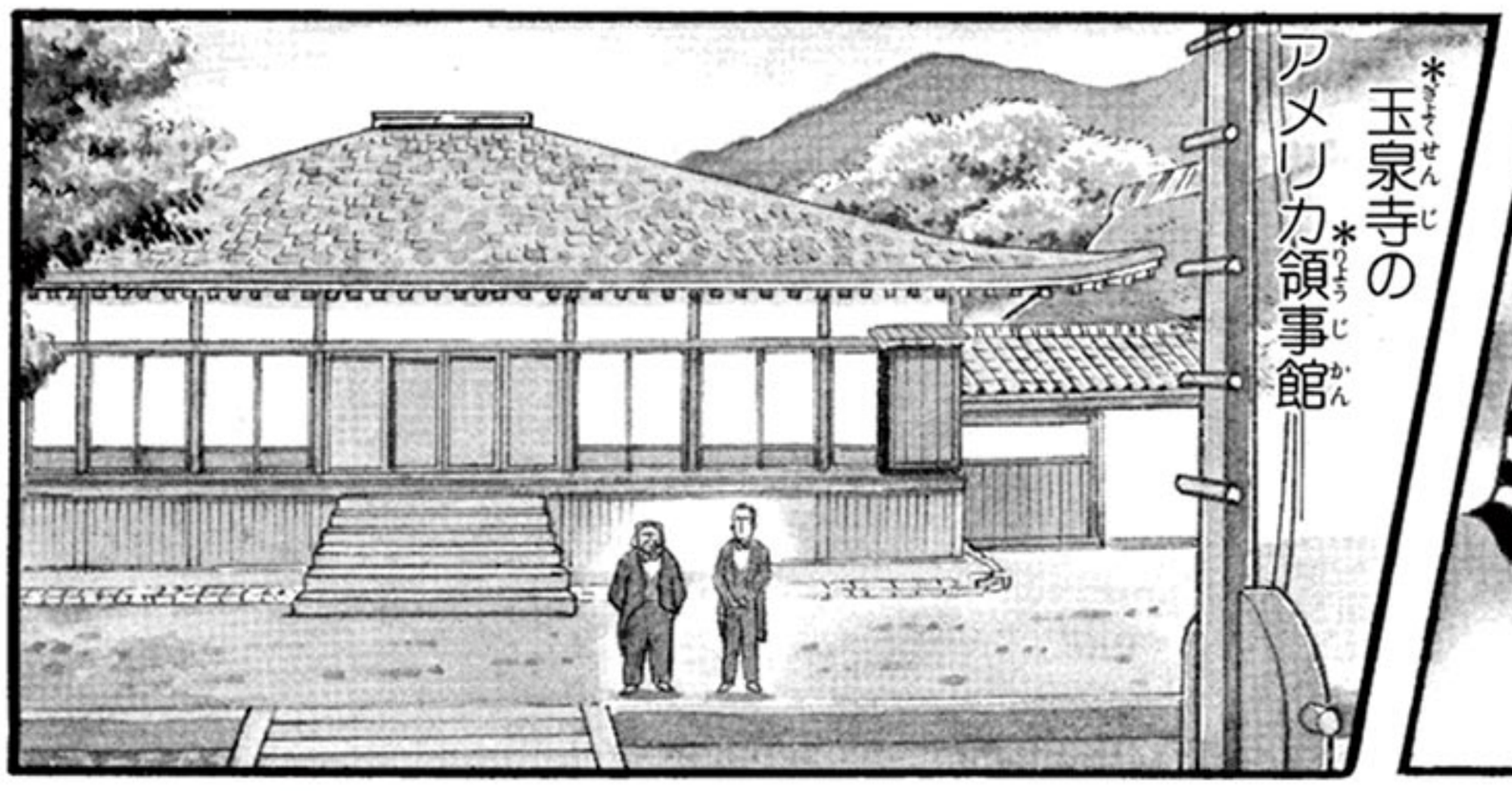
たすけてくれえっ。



一八五七年、下田――

この地震での死者は七千人以上といわれています。混乱した世の中で、被害にあった人びとはさらに不安になっていくのでした。

*なまず絵(かわら版)



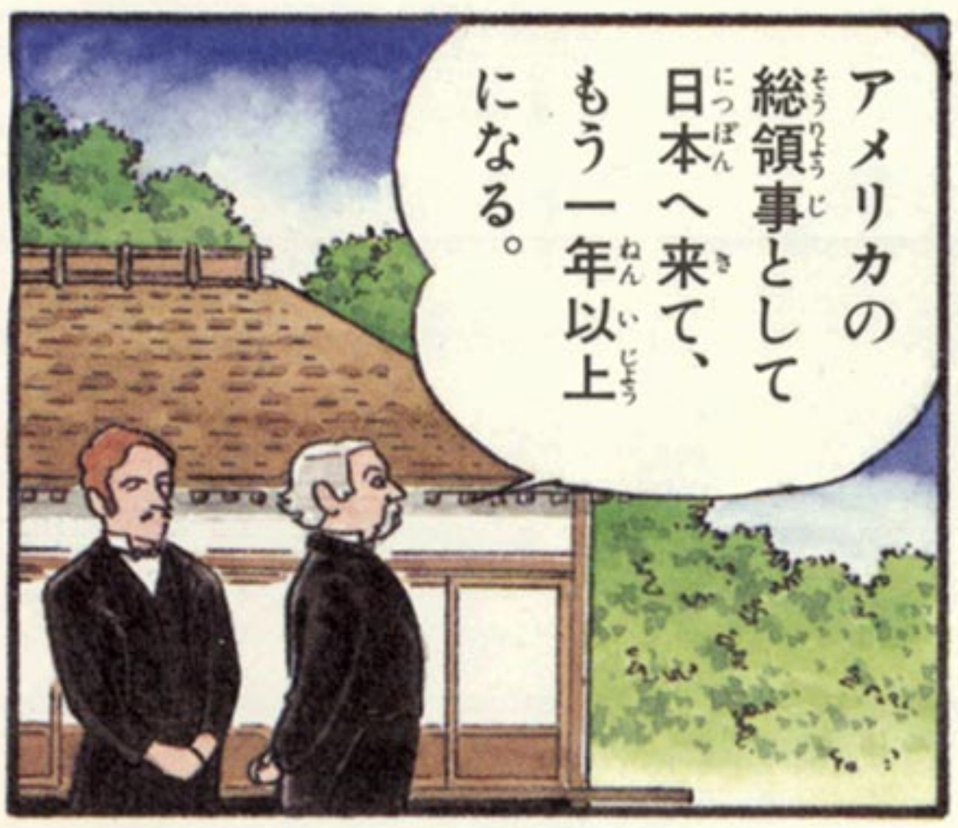
玉泉寺のアメリカ領事館

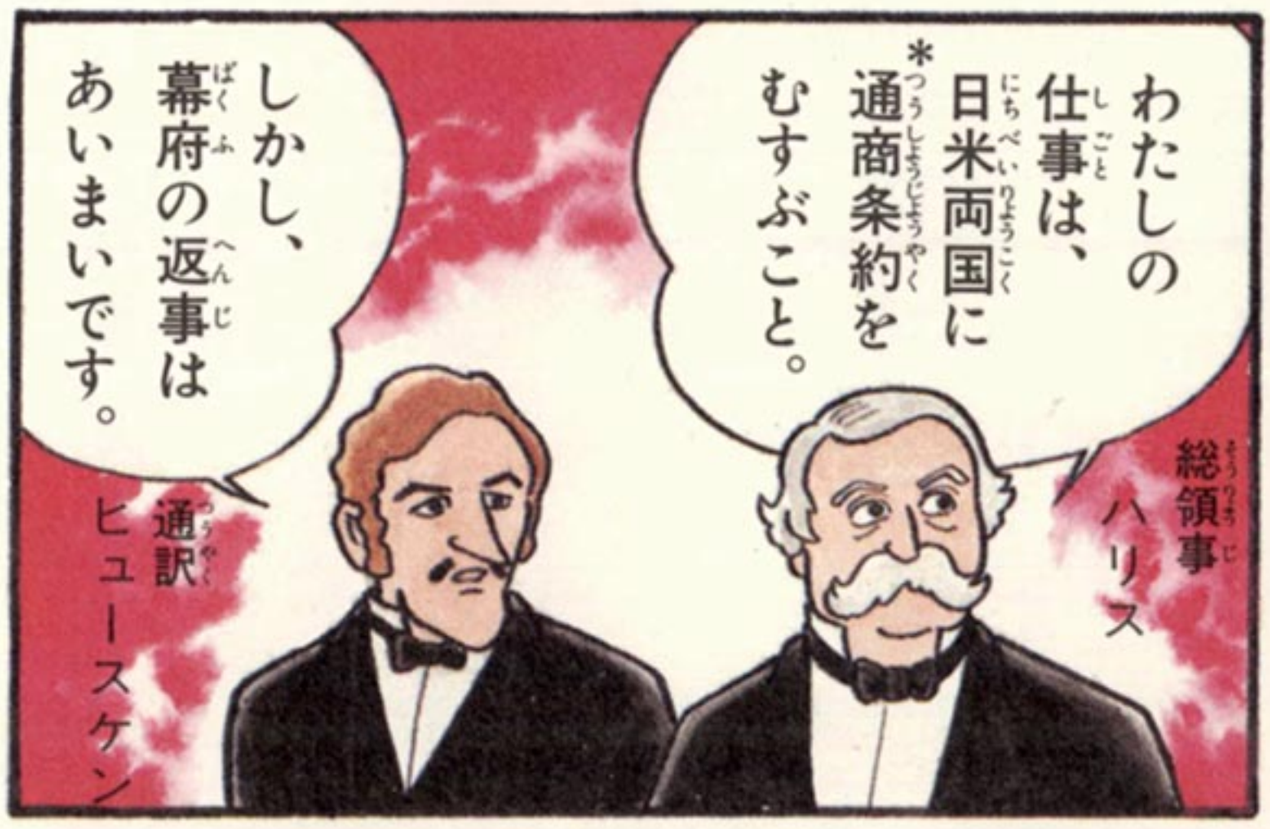
*玉泉寺…静岡県下田市にある曹洞宗の寺。

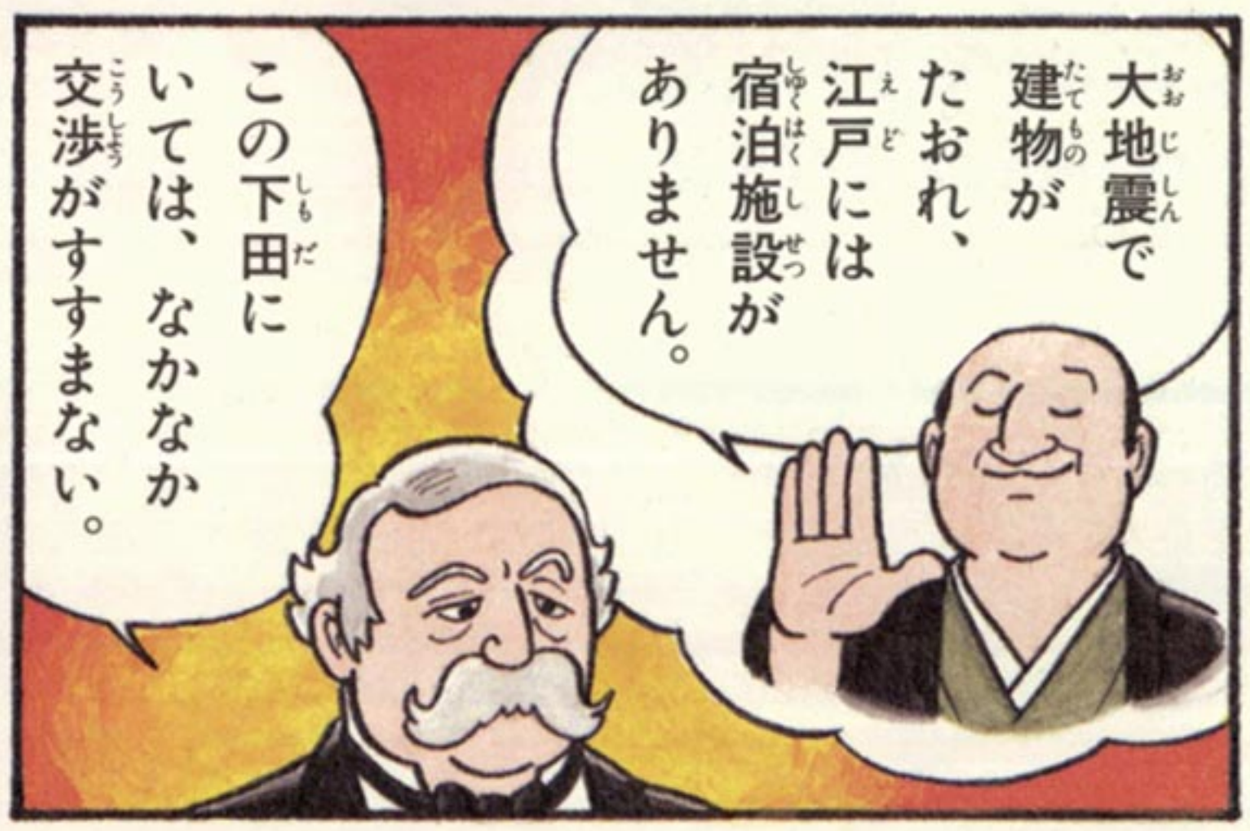
*領事…条約をむすんだ相手国に駐在している外交官。

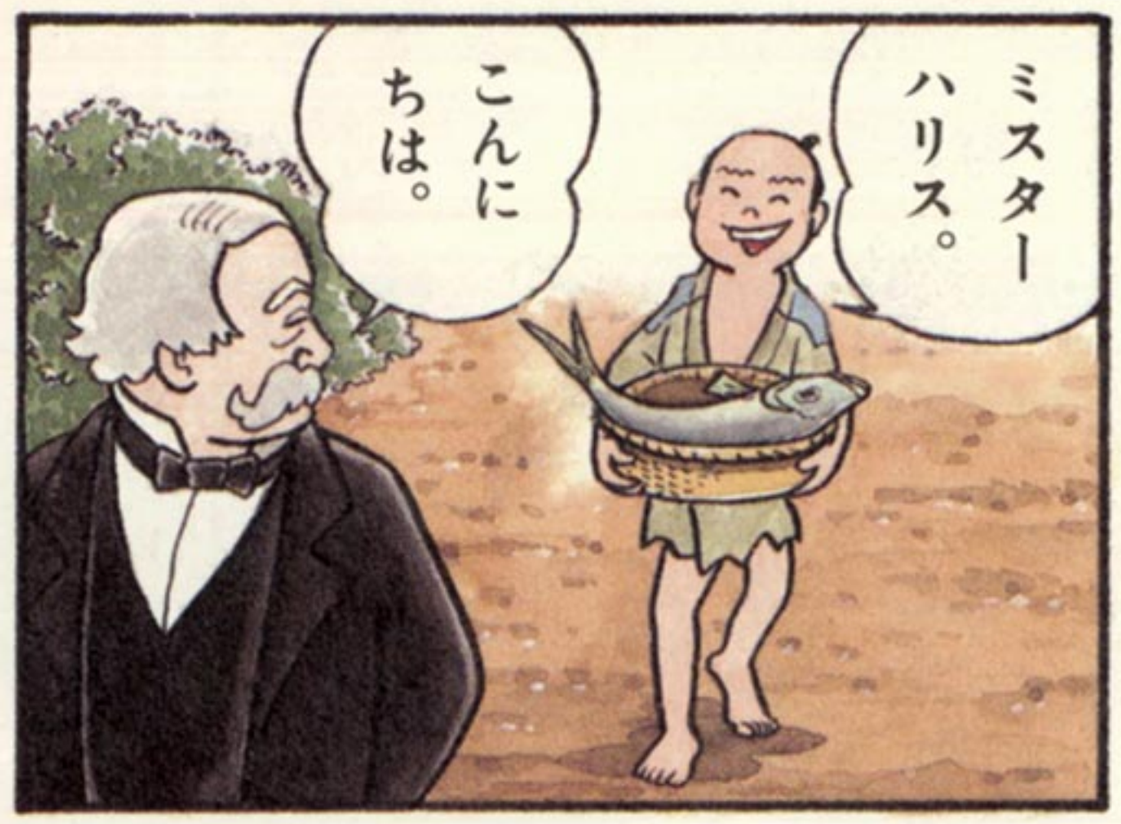
*なまず絵…地震をおこすとしんじられていたなまずを、絵の中心題材としたかわら版。

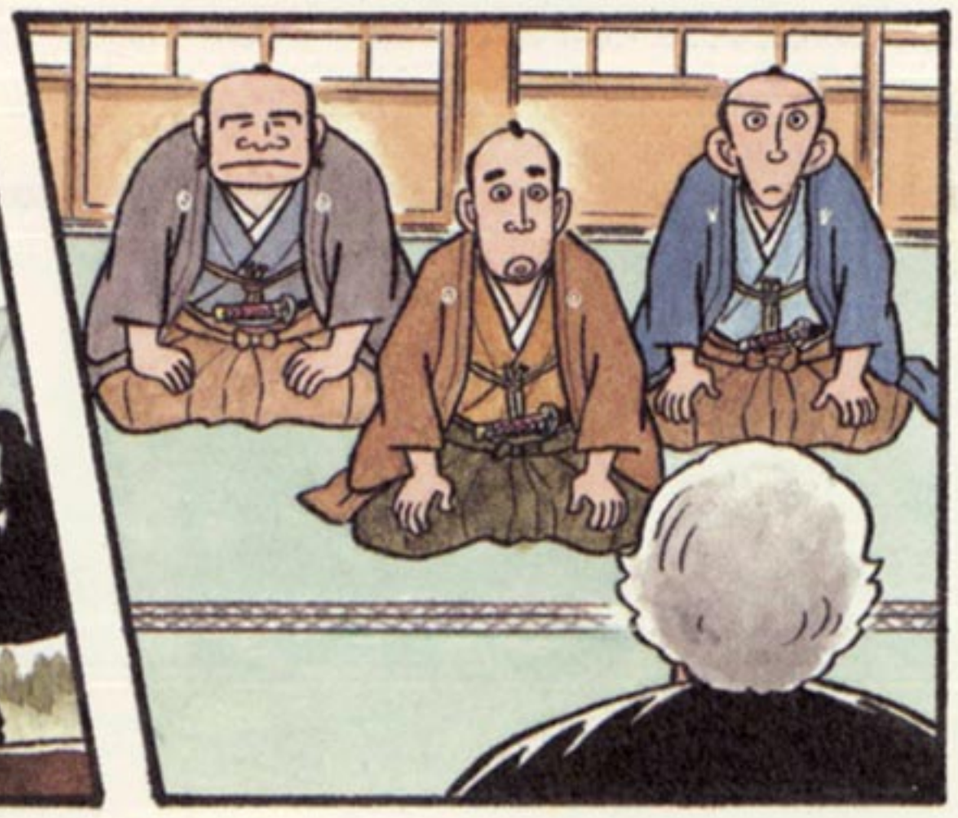
＊通商条約…貿易をするための条約。

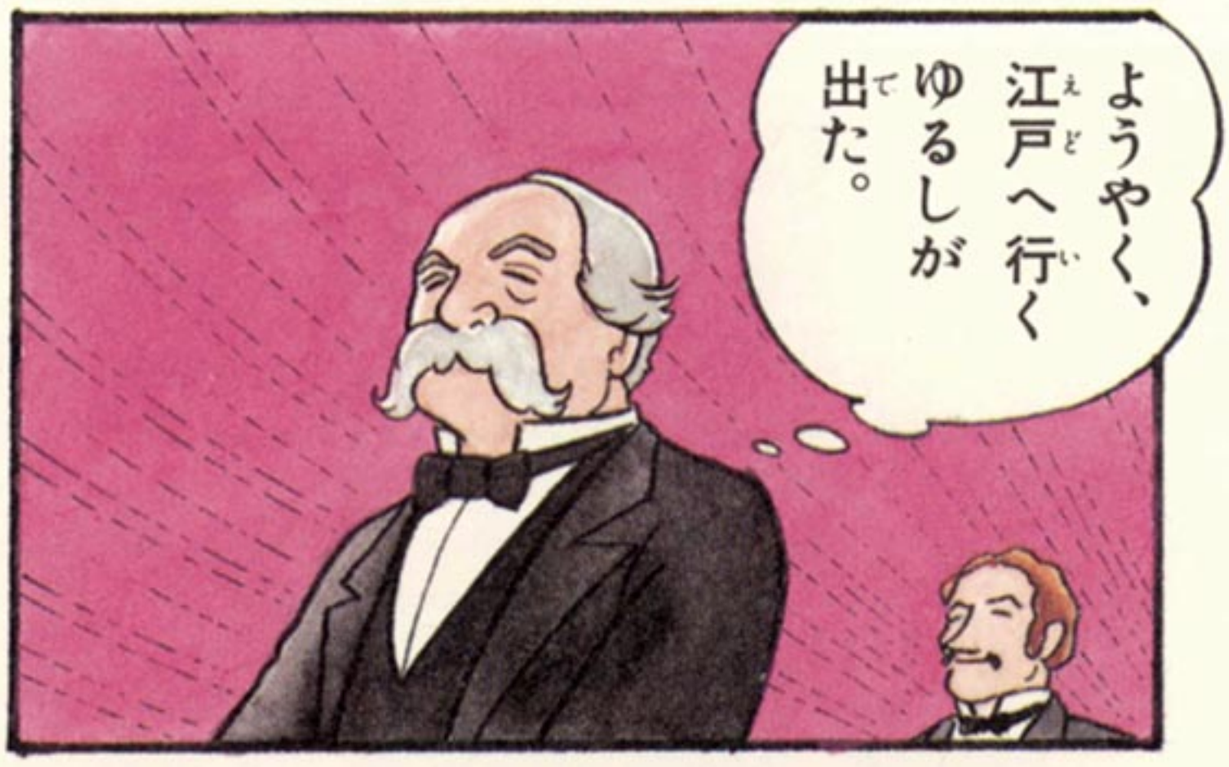


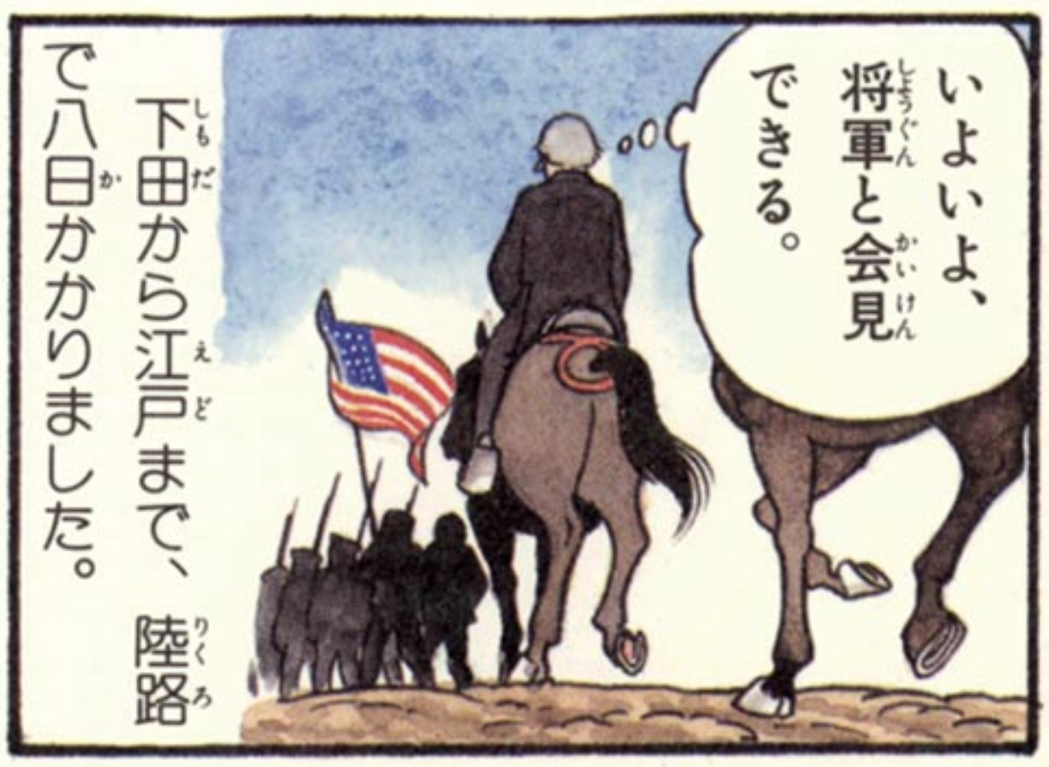


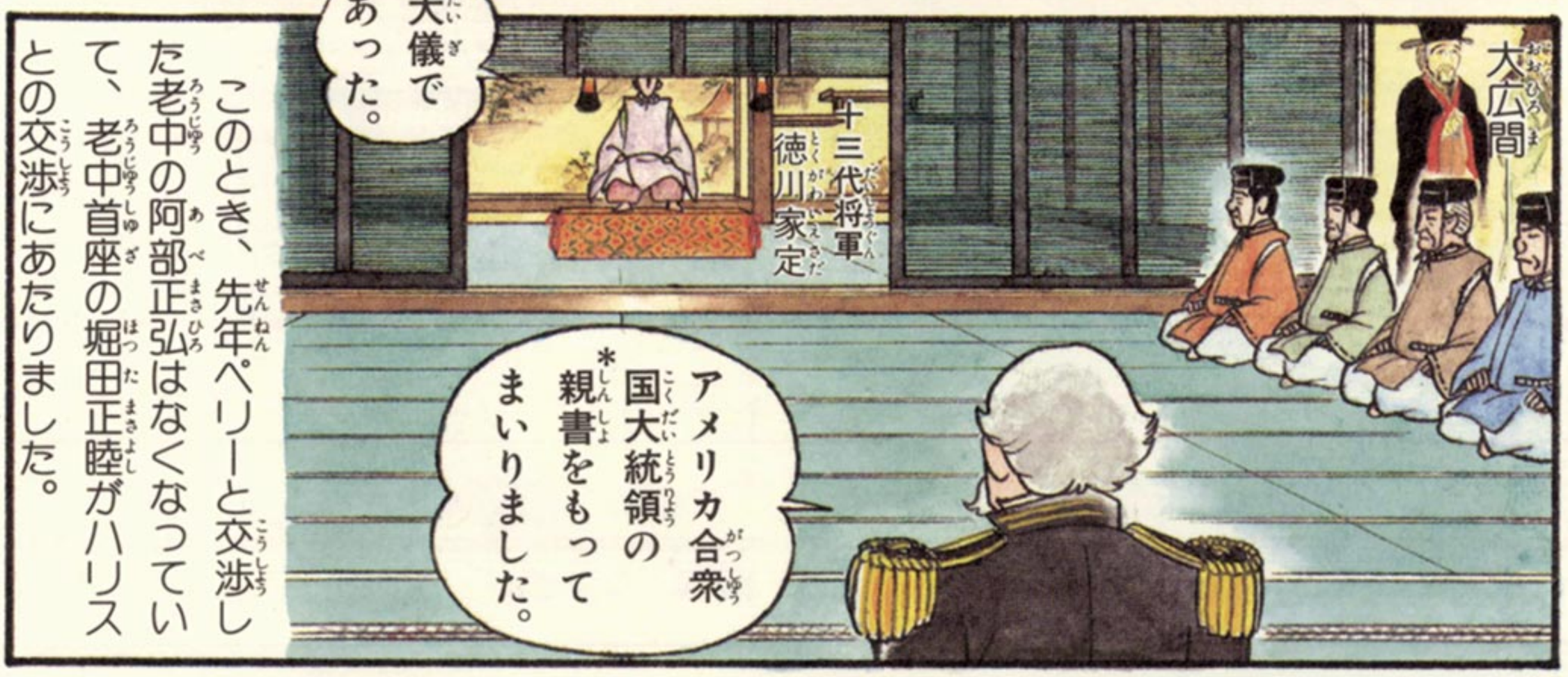






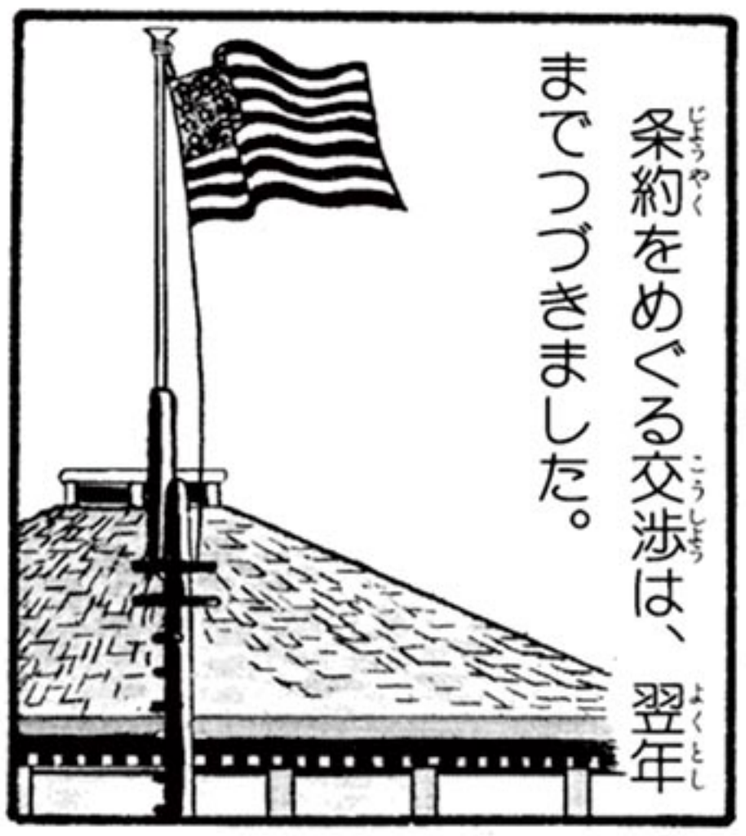






このとき、先年ペリーと交渉した老中の阿部正弘はなくなっていて、老中首座の堀田正睦がハリスとの交渉にあたりました。

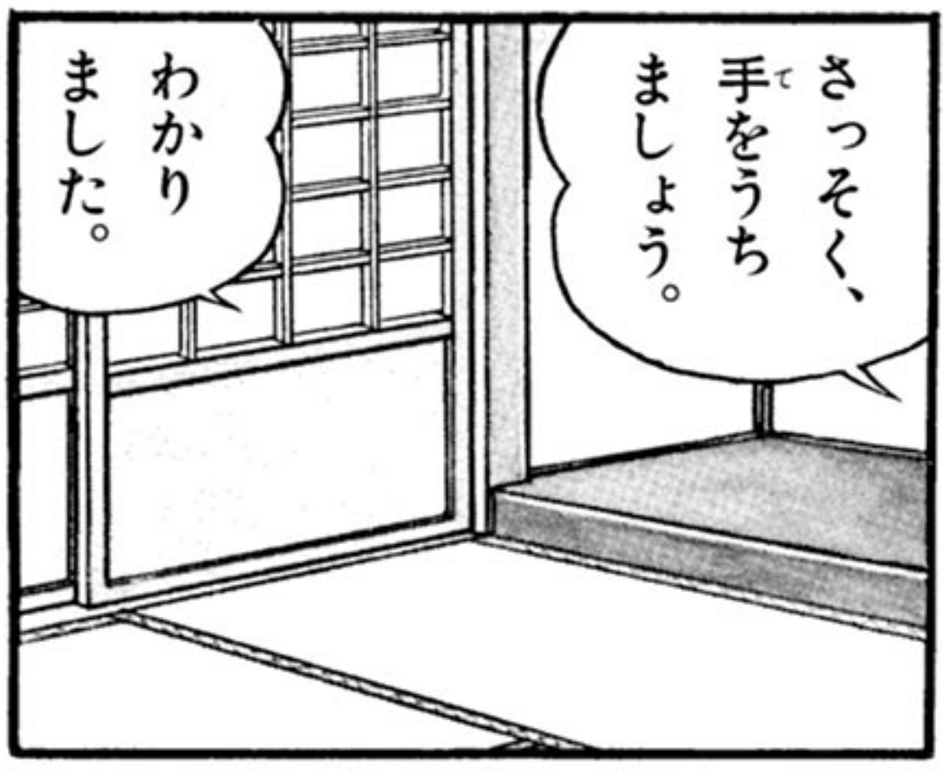
*親書…自分で直接書いた文書。



＊勅許…天皇の許可。

＊福井藩…福井県を領地とした藩。

＊薩摩藩…鹿児島県全域と宮崎県の一部を領地とした藩。



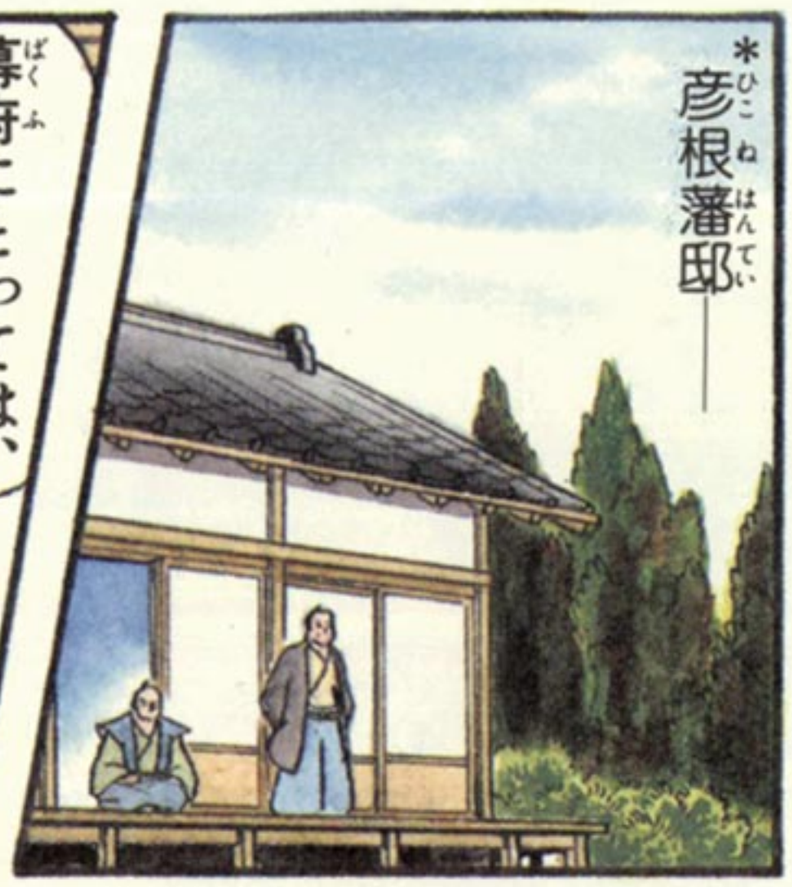
このように一橋慶喜を次の将軍にと考える人びとは「一橋派」とよばれ、革新派の有力な大名たちでなりたっていました。

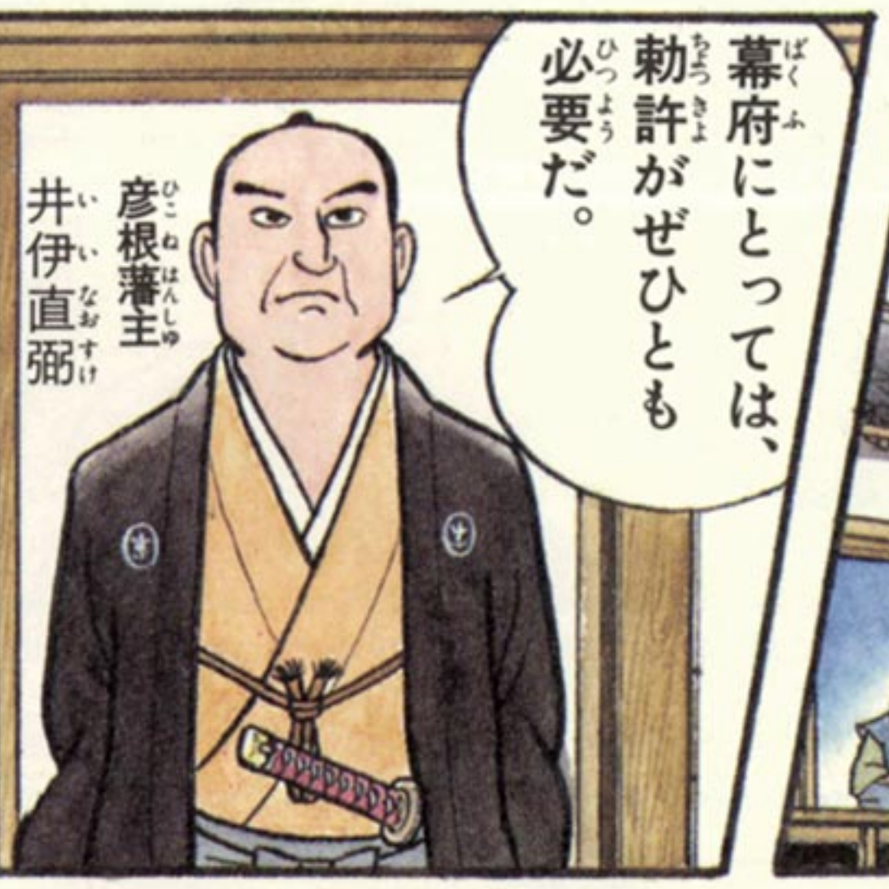
*伊達宗城…宇和島藩（愛媛県宇和島市付近を領地とした藩）の藩主。

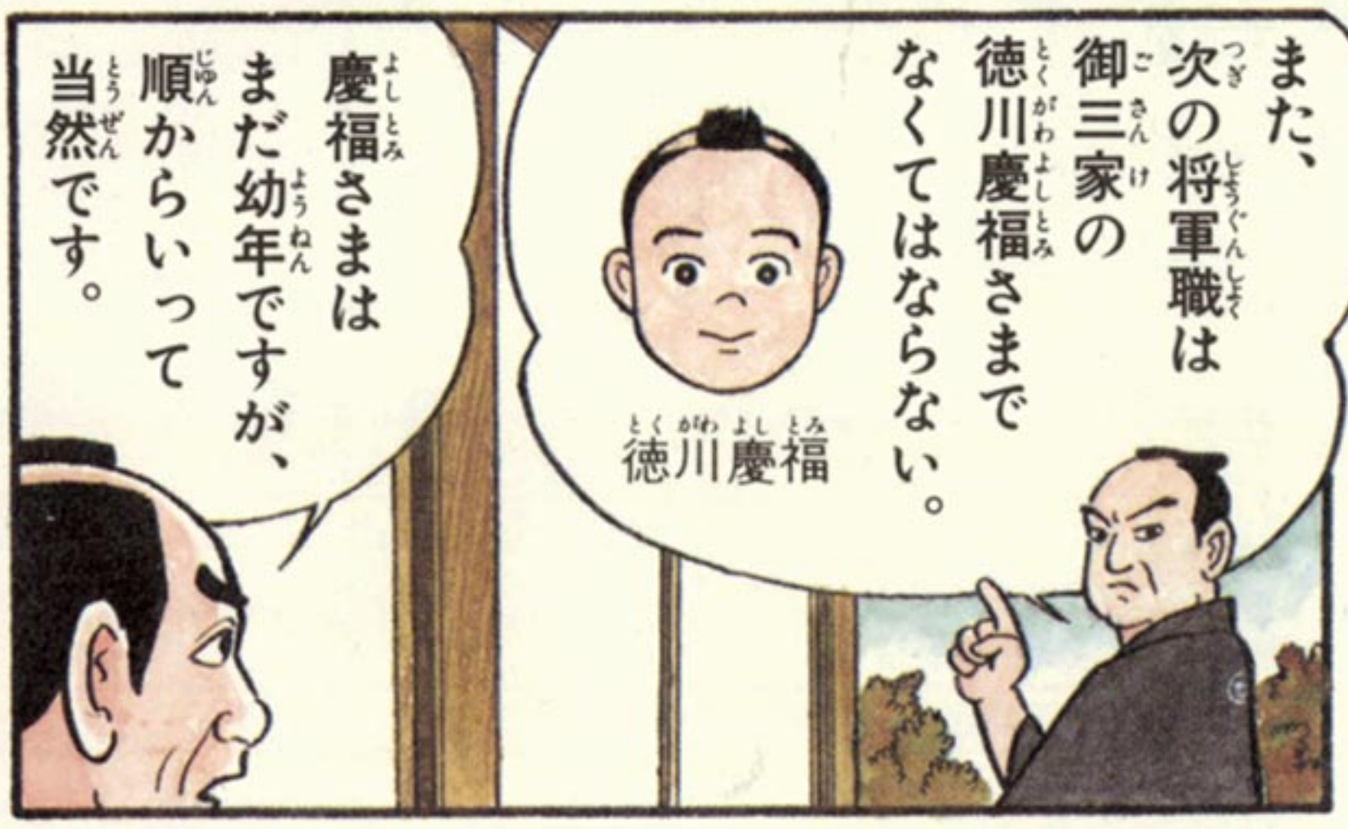
*山内豊信…土佐藩（高知県を領地とした藩）の藩主。

*御三卿…御三家についで徳川家に縁の深い、田安、一橋、清水の三家のこと。

*彦根藩…滋賀県彦根地方を領地とした藩。

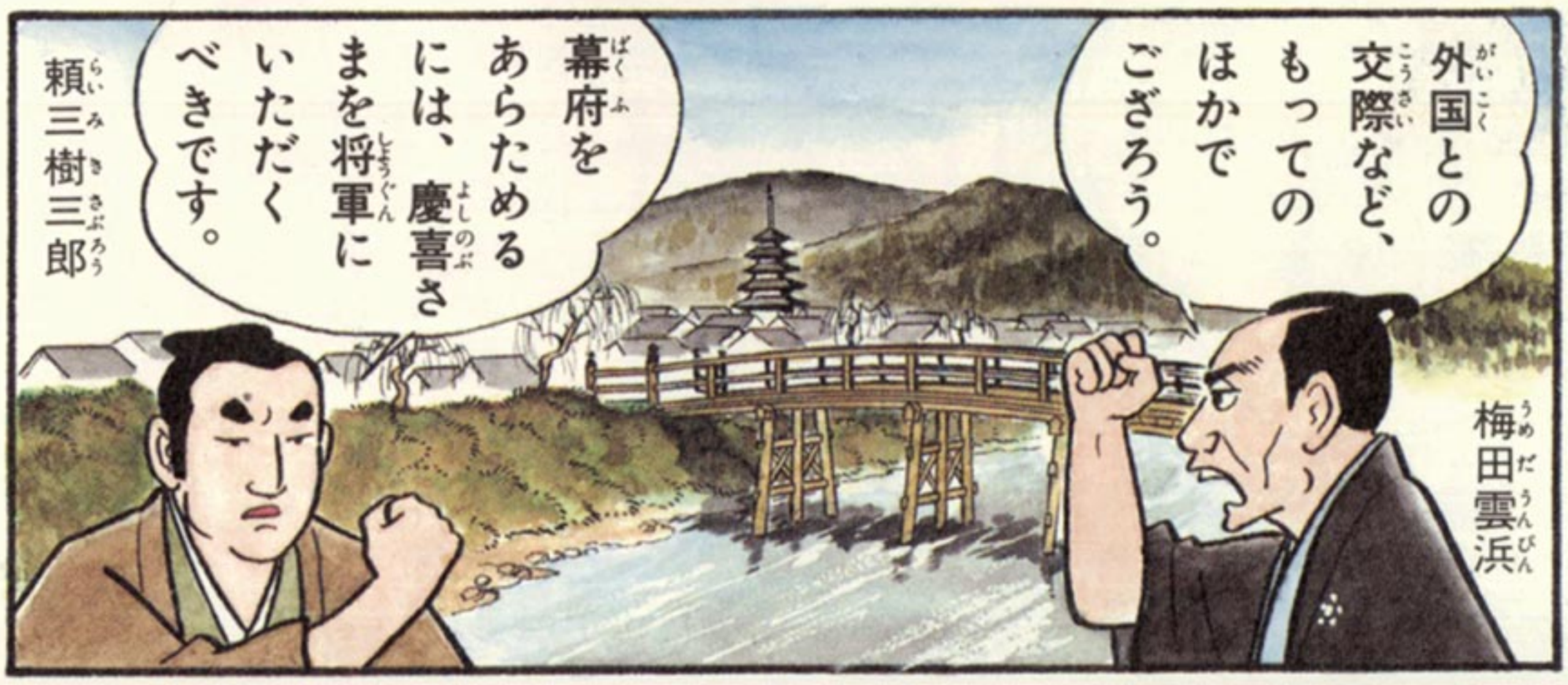


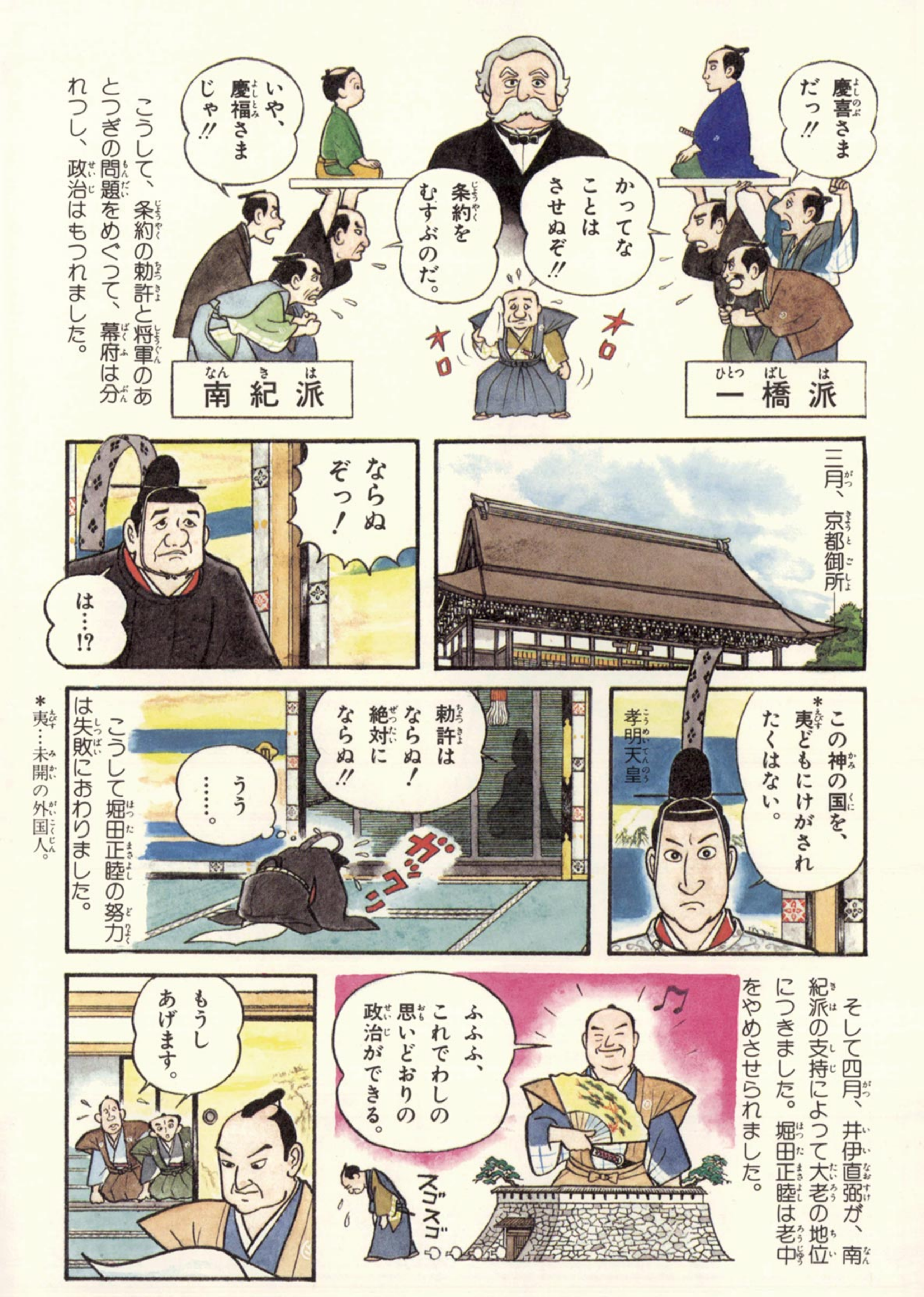




徳川慶福を次の将軍にと期待する人びとは「南紀派」とよばれました。

一方、京都では、儒者の梅田雲浜や頼三樹三郎などが、それぞれの立場から朝廷にはたらきかけていました。




慶喜さまだっ!!
一橋派
かってなことはさせぬぞ!!
条約をむすぶのだ。
いや、慶福さまじゃ!!
南紀派
こうして、条約の勅許と将軍のあとつぎの問題をめぐって、幕府は分れつし、政治はもつれました。
三月、京都御所
ならぬぞっ!
は…!?
孝明天皇
この神の国を、*夷どもにけがされたくはない。
勅許はならぬ!絶対にならぬ!!
ううう……。
ガーン
こうして堀田正睦の努力は失敗におわりました。
そして四月、井伊直弼が、南紀派の支持によって大老の地位につきました。堀田正睦は老中をやめさせられました。
ふふふ、これでわしの思いどおりの政治ができる。
スゴスゴ
もうしあげます。

*夷…未開の外国人。

*アロー戦争…アロー号事件ともいう。

ハリスがこういってきました。

いつまでまたせるのです。もうすぐ、*アロー戦争で清をやぶったイギリスとフランスの大艦隊が、日本にやってきますぞ。

ジャーン

キャッ

その前に、早く調印をするべきではありませんか。

はあ…。

ドン

いかがいたしましょう。

勅許をえるまで、またせるほかないが…。

しかし…、ハリスが強く出た場合にはいかが…。

ううむ…、そのときはそなたたちにまかせよう。

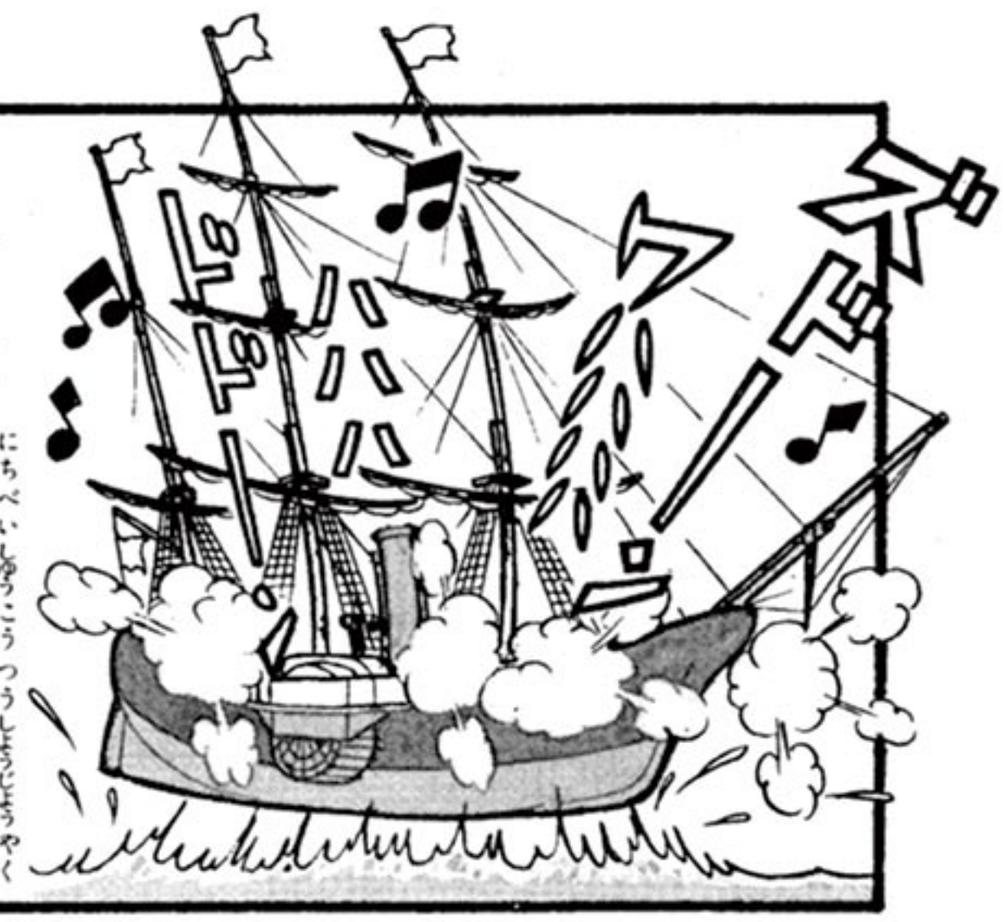
こうなれば、条約をむすぶしかないな。

はあ、しかたありません。

では、サインをしましょう。

わたしは、たいへん満足です。

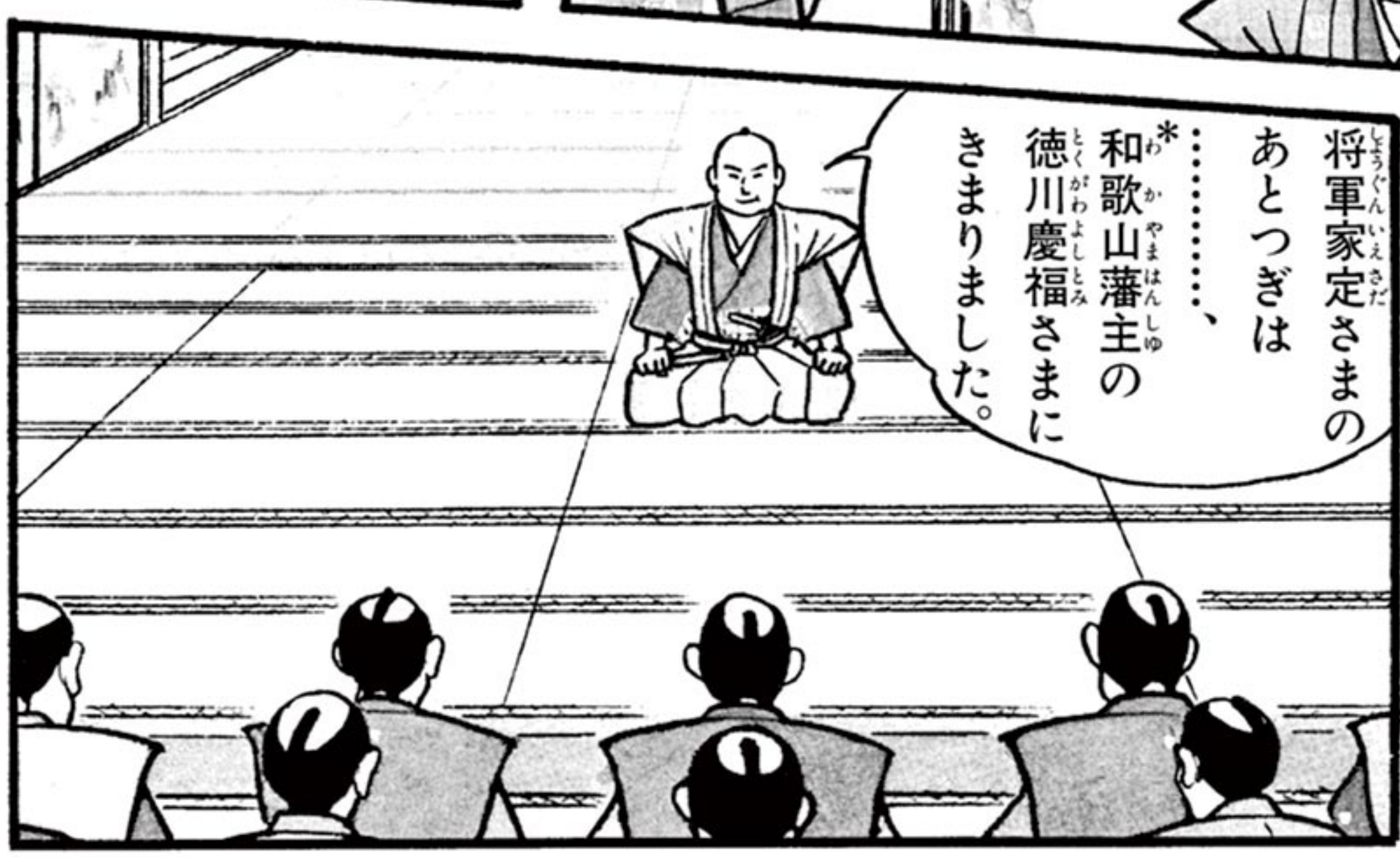
礼砲をうて！



こうして日米修好通商条約が成立しました。その後、オランダ、ロシア、イギリス、フランスとも通商条約をむすぶことになりました。

これらは、「安政五か国条約」ともよばれますが、日本にとって不利な項目が多い、「*不平等条約」でした。

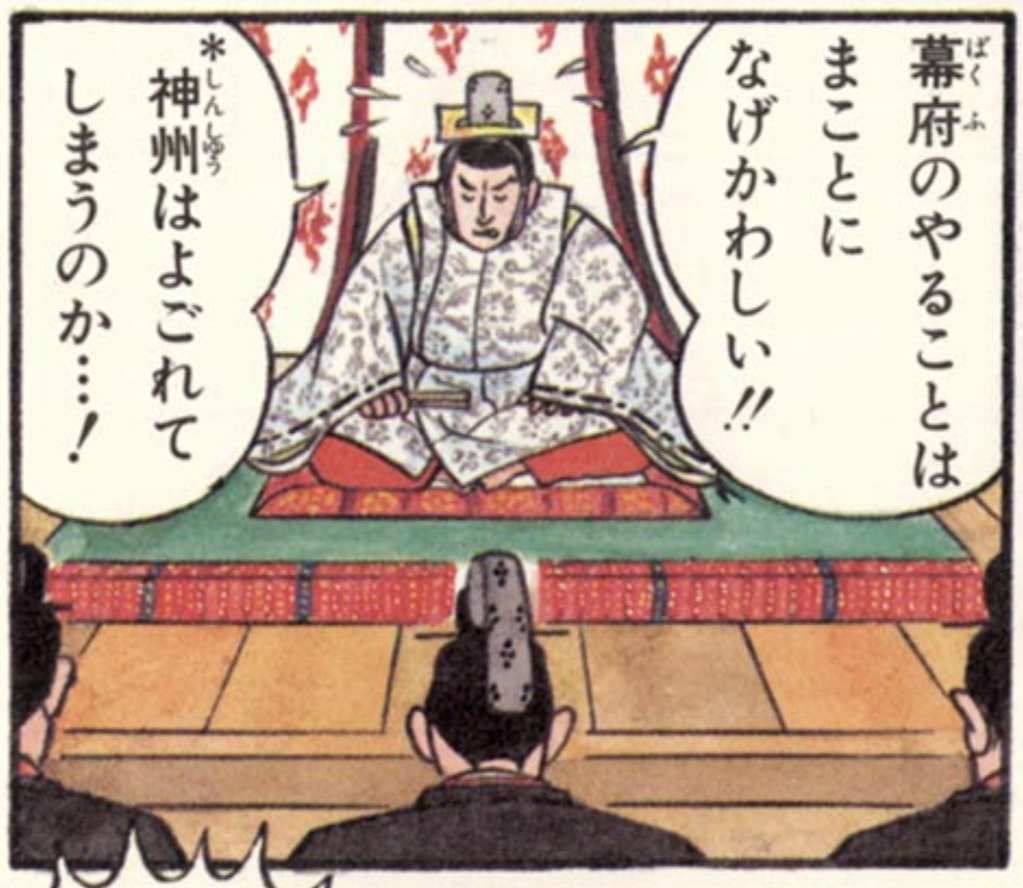
井伊直弼は、徳川斉昭たちにせめられた翌日、諸大名をあつめました。



やがて家定がなくなり、慶福(家茂)が十四代将軍となりました。また徳川斉昭や徳川慶喜は政治から遠ざけられました。

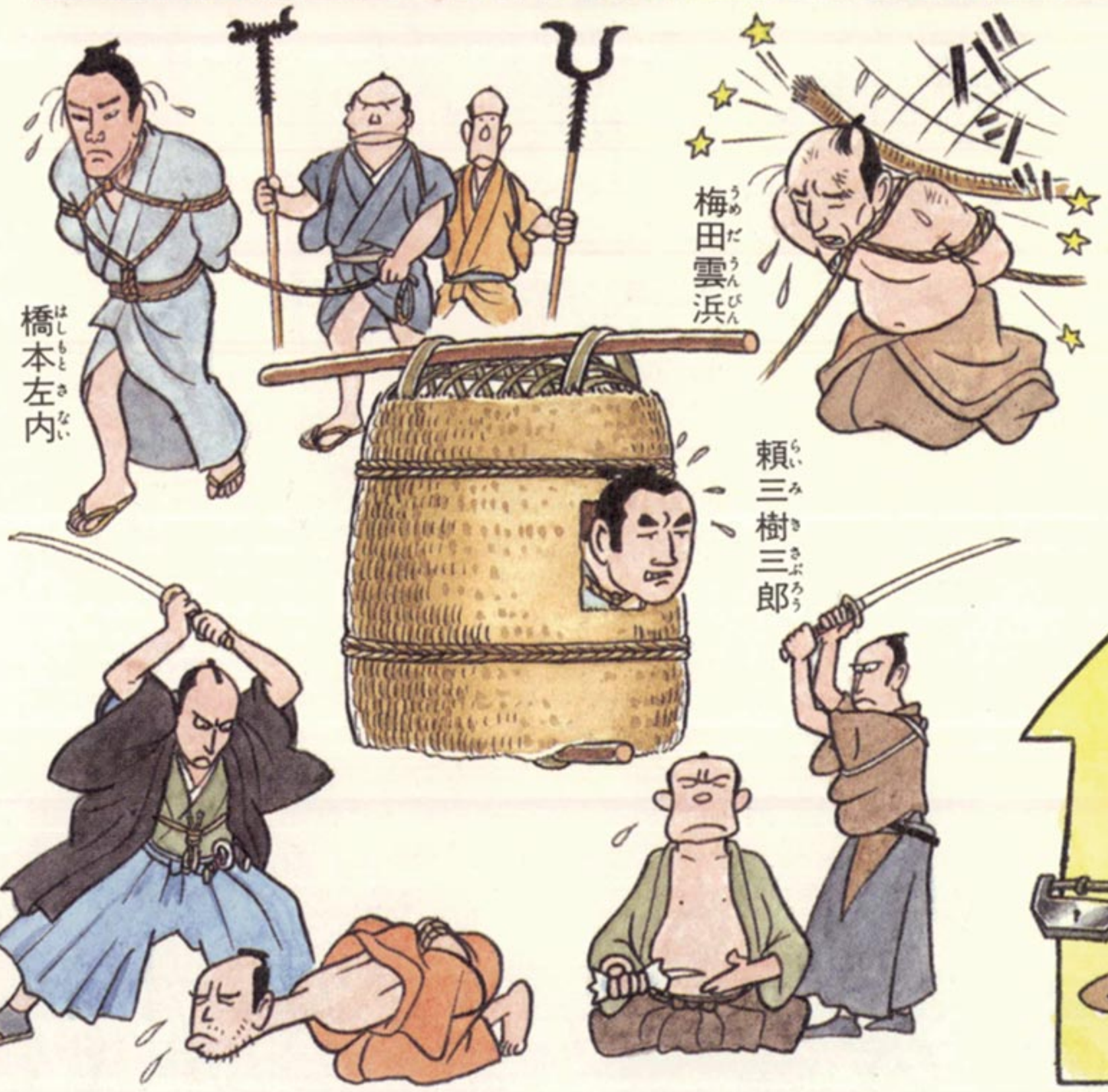
*不平等条約…第二章参照。

*和歌山藩…和歌山県と三重県の一部を領地とした藩。



*神州…日本をほめていうことば。神国。

こうして、「安政の大獄」とよばれる弾圧がはじまりました。徳川斉昭などの諸大名や橋本左内、梅田雲浜、頼三樹三郎などをはじめとする人びとが処罰されました。



*長州藩…山口県全域を領地とした藩。

*萩…山口県萩市

*尊王…天皇をとうとぶこと。

*桜田門…江戸城西の丸の南にある門。外桜田門ともいう。

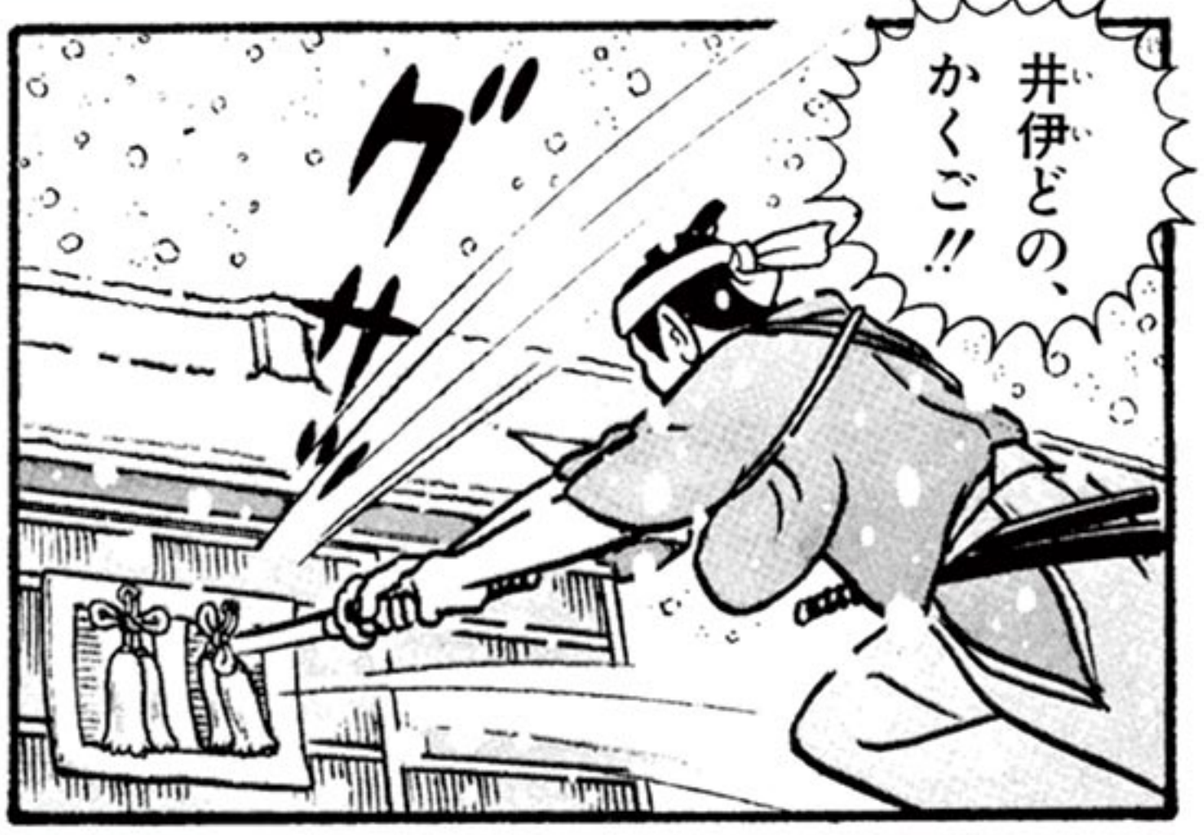
ひええっ!!

くそっ!!

か、刀がぬけぬ。

ウワー!

いやあっ!!



ペリー来航の結果、二百年以上も鎖国をつづけてきた日本は開国し、ついでハリスとの間で通商条約をむすぶことになりました。

この間、幕府は、外国の動きにたいして何の対策もうち出せず、朝廷の権威にたよろうとするなど、その無力ぶりをあらわしました。

さらに、条約問題と将軍のあとつぎをめぐり、幕府内部は分れつしてあらそい、ついに井伊大老による反対派への弾圧が行われました。そのしかえしとして、桜田門外で大老暗殺事件がおきたのです。

その後、開国後の外国にたいする敵意が、天皇をとうとぶ考えとむすびつき、やがて外国人を日本から追い出そうとする運動へと高まっていくのです。

小学館 eBooks

第二章

尊王攘夷と公武合体

――江戸時代末期――

*浦賀…神奈川県横須賀市

*批准…外交官などがむすんだ条約を、国王、大統領などが確認し合う手つづき。

*通商条約…一八五八年にむすばれた日米修好通商条約。

*中津藩…大分県中津地方を領地とした藩。

*じっさいには、1613年に支倉常長（第12巻第三章参照）がのった船が、太平洋を往復しているが、このことは当時、知られていなかった。

*①を領事裁判権、②を関税自主権の不在、③を最恵国待遇という。

*条約の改正については、第18巻第2・3章参照。

ドドドドド

あらしになるぞお!!

ヒュー

早く帆をおろせ!

ミスター勝はどこです?

それが…船よいで船室に…。

ブルック大尉

なんとまあ、役にたたないお人だ。やはり、われわれがついてきて良かった…。

舵とりを手つだってやりなさい!

ゴオウウウウウウウウ…

悪天候のなか、咸臨丸は、一か月あまりかかってサンフランシスコにつきました。

うむ！日本人の手で、ついに太平洋横断に成功ですな。

はあ!?

約十日後、ポーハタン号の使節たちも到着しました。

正使 新見正興

副使 村垣範正

監察 小栗忠順

●咸臨丸と遣米使節の航路

ニューヨーク

ワシントン

サンフランシスコ

ハワイ

江戸

咸臨丸の航路

遣米使節の航路

その後、役目をおえた咸臨丸は、日本に帰りました。

一方、使節たちは、*ワシントンにむかいました。

*サンフランシスコ…アメリカ西海岸にある都市。

*ワシントン…アメリカ東部にある首都。

ワシントン——

ものすごい歓げいぶりだ。

日本から来たサムライだ。

変なかっこうをしているな。

*ホワイトハウス——

*ホワイトハウス…首都ワシントンにある大統領官邸。

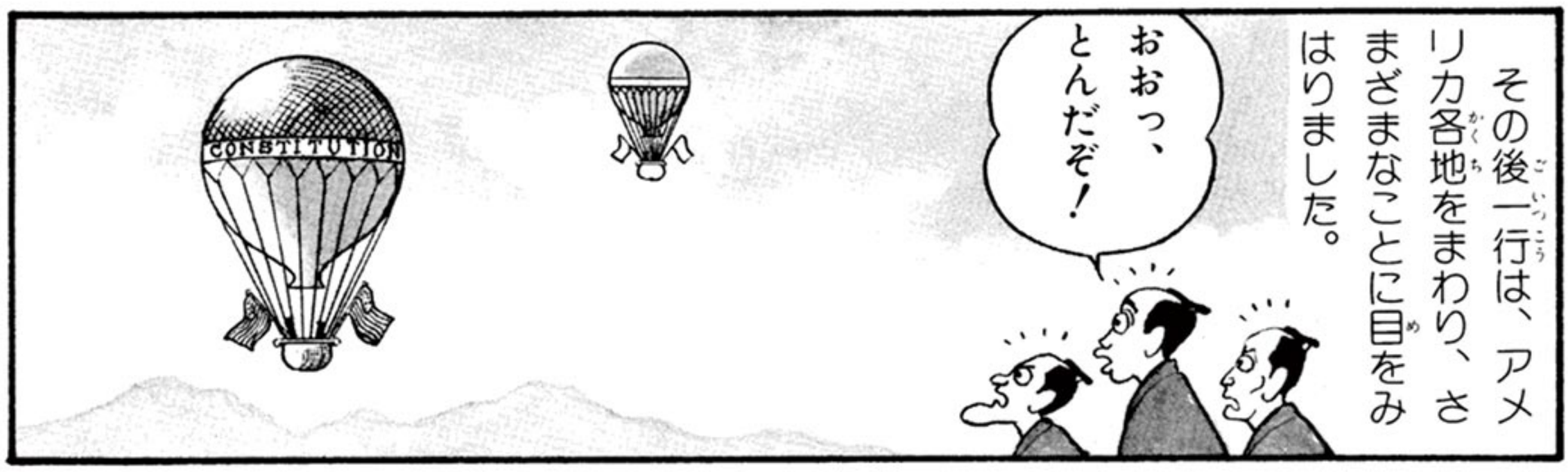
＊親書…自分で直接に書いた文書。

使節は、ホワイトハウスで『□□』アメリカ大統領と会見し、『□□』将軍の＊親書をわたしました。

大統領なのに、商人とかわらぬ姿をしているな。

アメリカ大統領ブキャナン

遠い所からよくいらっしゃいました。



おめーん！

そでがじゃまだな。

ズズー

みょうなみそしるじゃな。

ほう…、これが製鉄工場か。

本を買っていこう。

わたしたちも、西洋の文明を学ばなくてはなりませんね。

こうして一行は、一八六〇年九月に帰国しました。

一方、こちらは横浜――

やっとついたな…。お…、*異人だ。

ほう、はじめて見たよ。

しかし、異人のことばがわからないのに、どうやってこの生糸を売るんだ？

まあ、まかせとけ。

*異人…外国人。

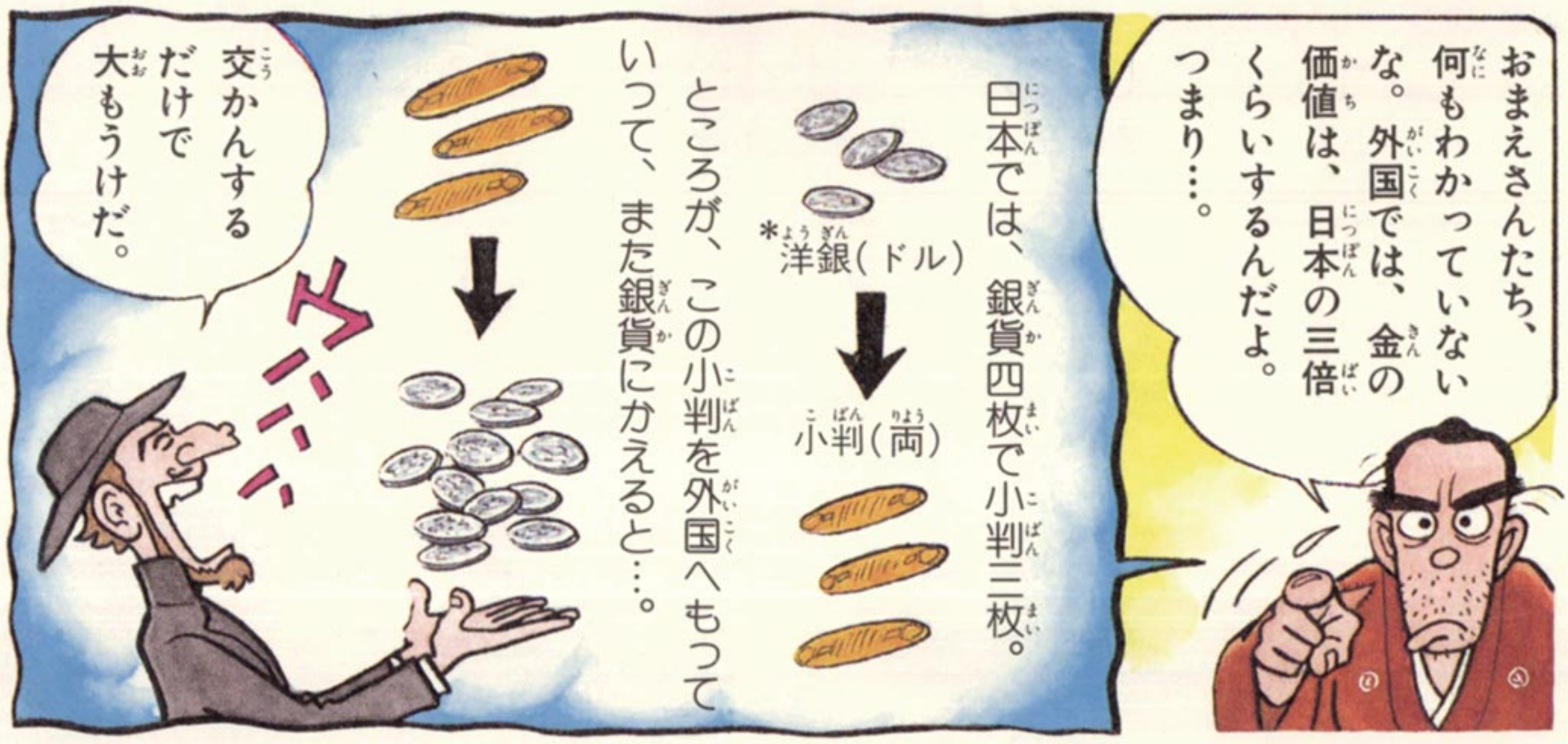
りっぱな問屋がたくさんあるな。

あれは、*越後屋の*出店だよ。

横浜案内のかわら版だよ！

＊越後屋…江戸の日本橋にあった三井家経営の呉服店。

＊出店…支店。

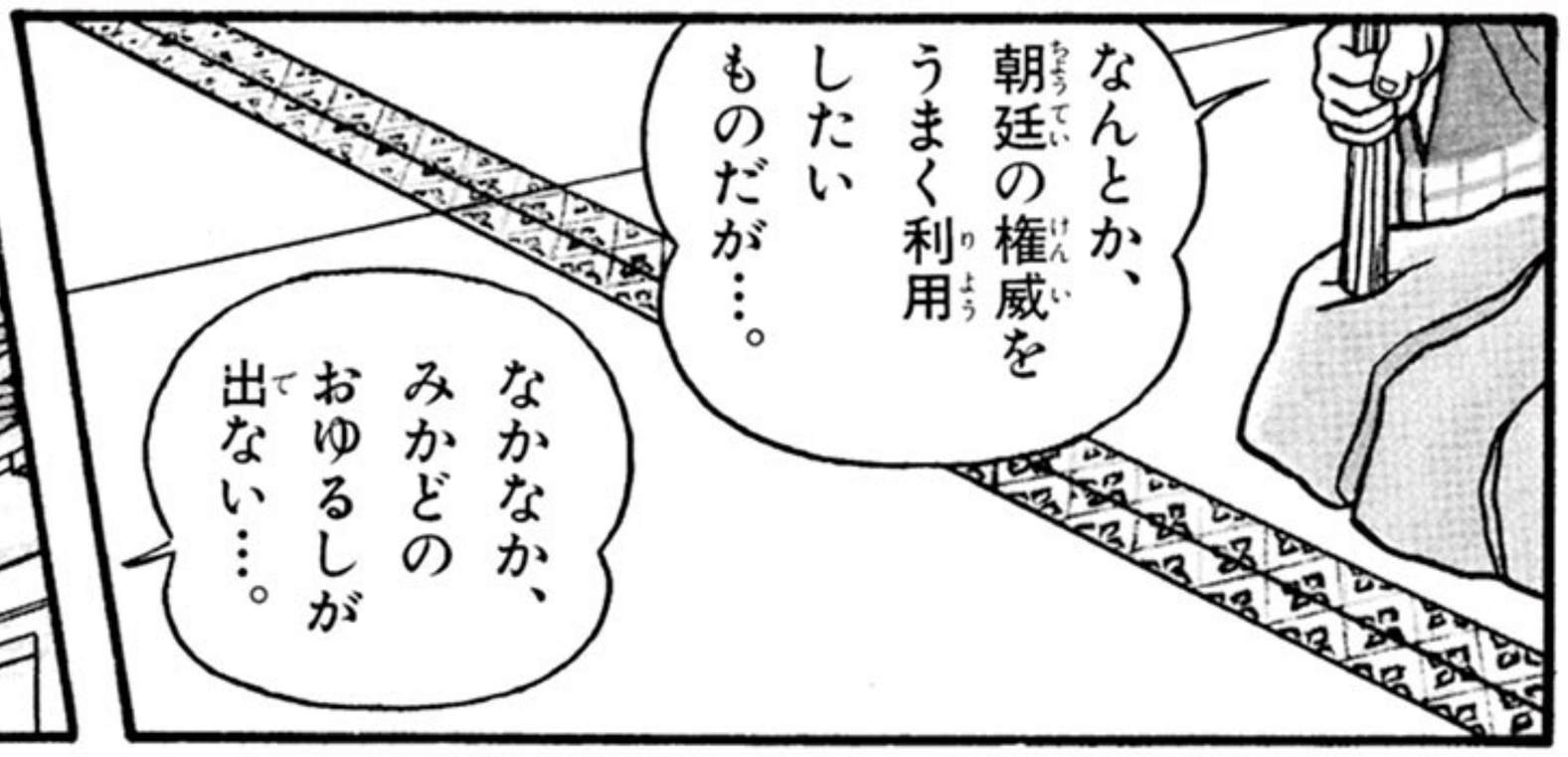


*洋銀…当時、アジアで国際的に流通していた一ドル銀貨。

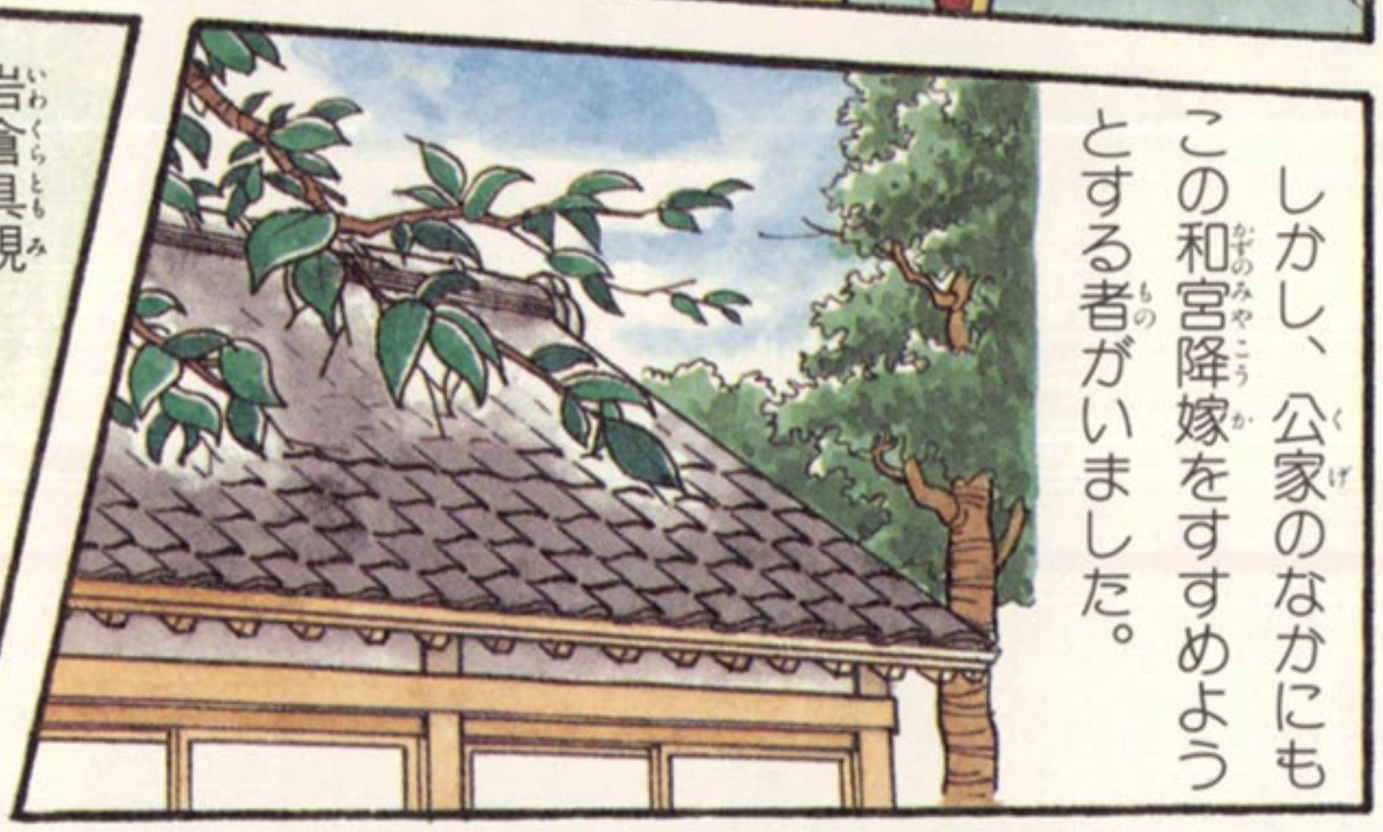
このように開国後の貿易は、日本の経済に大きな混乱をもたらしました。

国内では、外国人への反感が高まり、殺傷事件がつぎつぎにおこりました。

*攘夷…外国人を追いはらおうとする考え方。



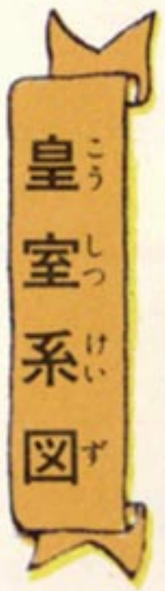
*公…朝廷。 *武…幕府。 *井伊大老…井伊直弼。第一章参照。 *降嫁…皇族の女性が、臣下にとつぐこと。 *御台所…この場合、将軍の夫人。

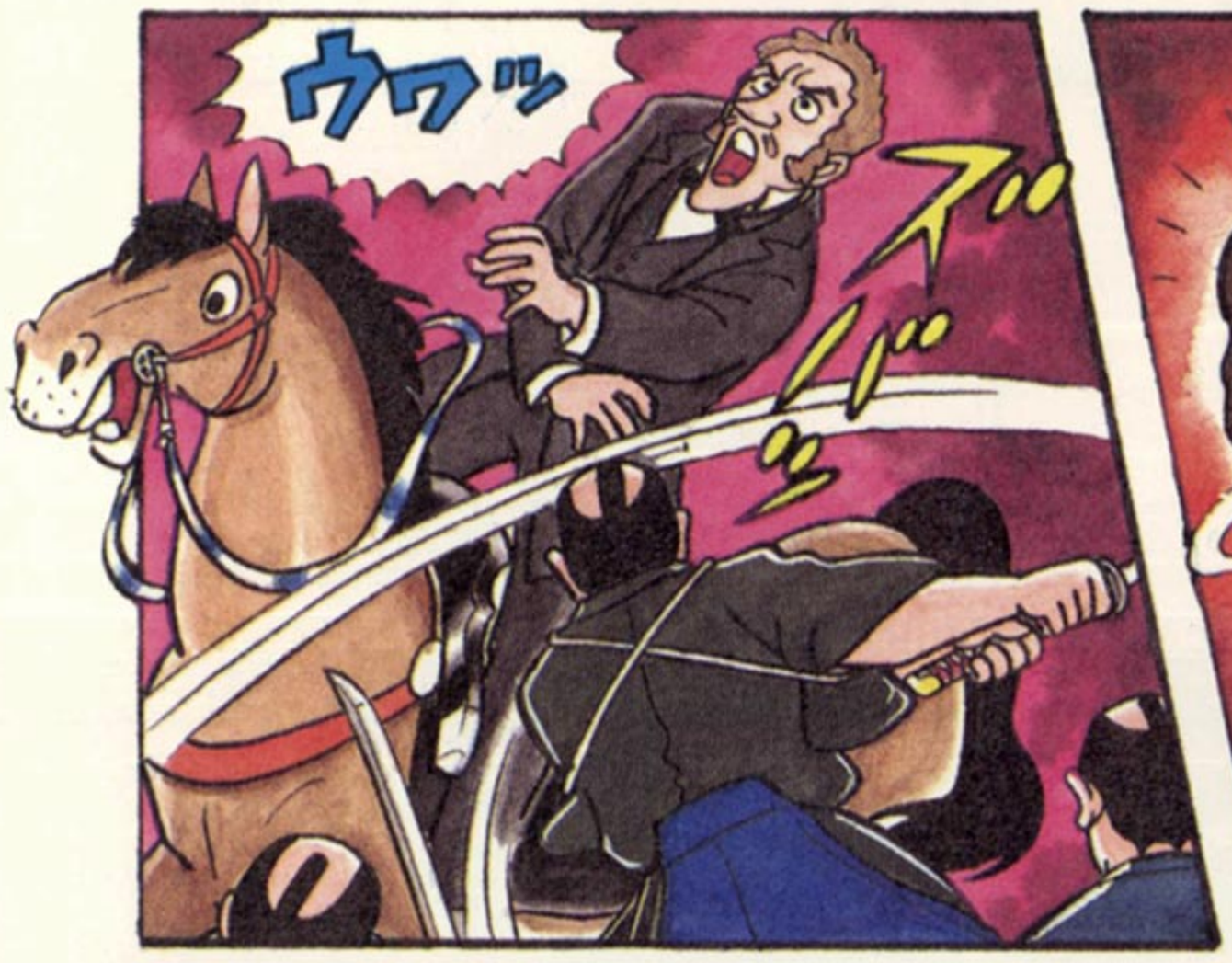


*桂宮邸…京都御所内にあった、和宮の仮の住まい。

*熾仁親王…有栖川宮熾仁親王。

こうして、和宮の降嫁が正式にきまりました。しかし、この攘夷の約束のために、後に、幕府は苦しい立場に追いこまれることになるのです。





*東禅寺…東京都港区高輪にある臨済宗の寺。

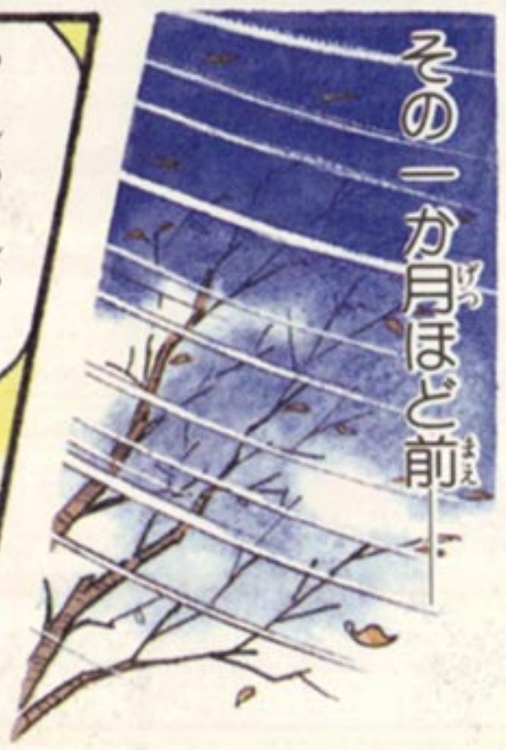
＊馬籠…岐阜県中津川市馬籠

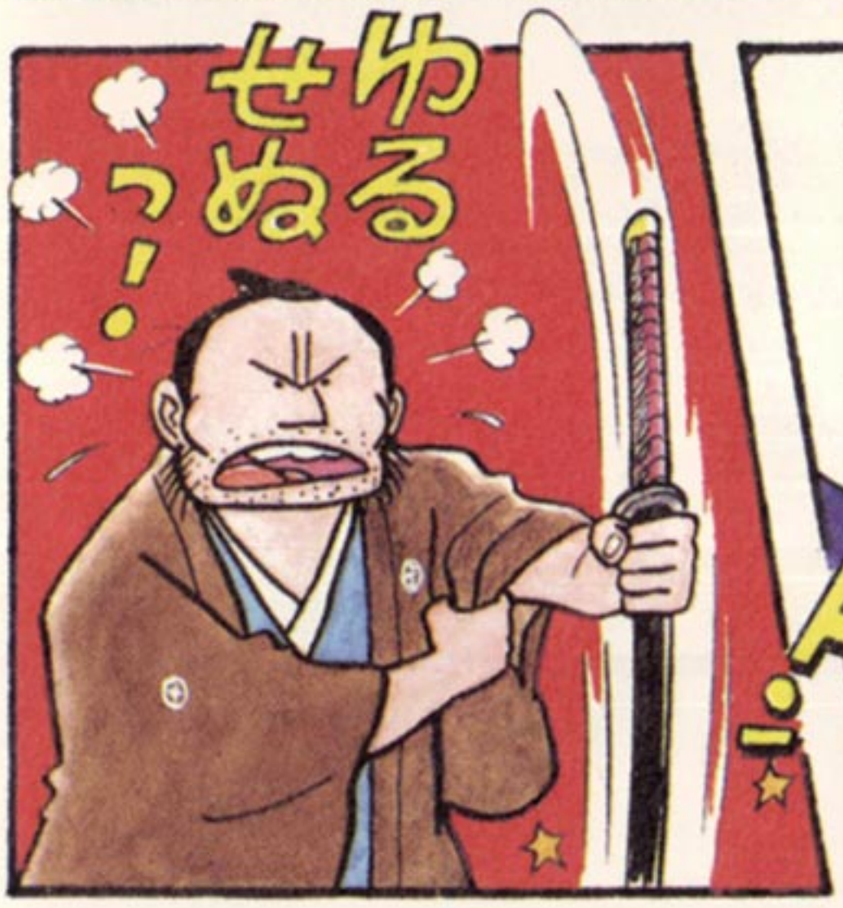
＊島崎正樹…馬籠の庄屋。明治時代の文学者島崎藤村の父。

＊三留野…長野県木曽郡南木曽町

こうして、和宮は江戸に入りました。

将軍家茂と和宮の婚礼は、一八六二年二月に行われました。





＊廃帝…天皇を位からおろすこと。

*坂下門…江戸城西の丸の東にある門。

安藤信正は一命をとりとめましたが、武士らしからぬ態度をとがめられ、失脚しました。

*志士…政治的な信念にもとづいて活動する人びと。一般に幕末の尊王攘夷論者の下級武士などをいう。

みかどを説得して公武合体をすすめ、幕府の改革をせねばならん。

*島津久光

さもないと日本は、これからたいへんなことになる。

とうとう、久光侯が上洛されたか…。

長州藩士 久坂玄瑞

この先の料亭に、みんなあつまっているんだ。

いらっしゃいませ。

新しいなかまですね。

みんな、*脱藩してきた連中だ。

よろしく。

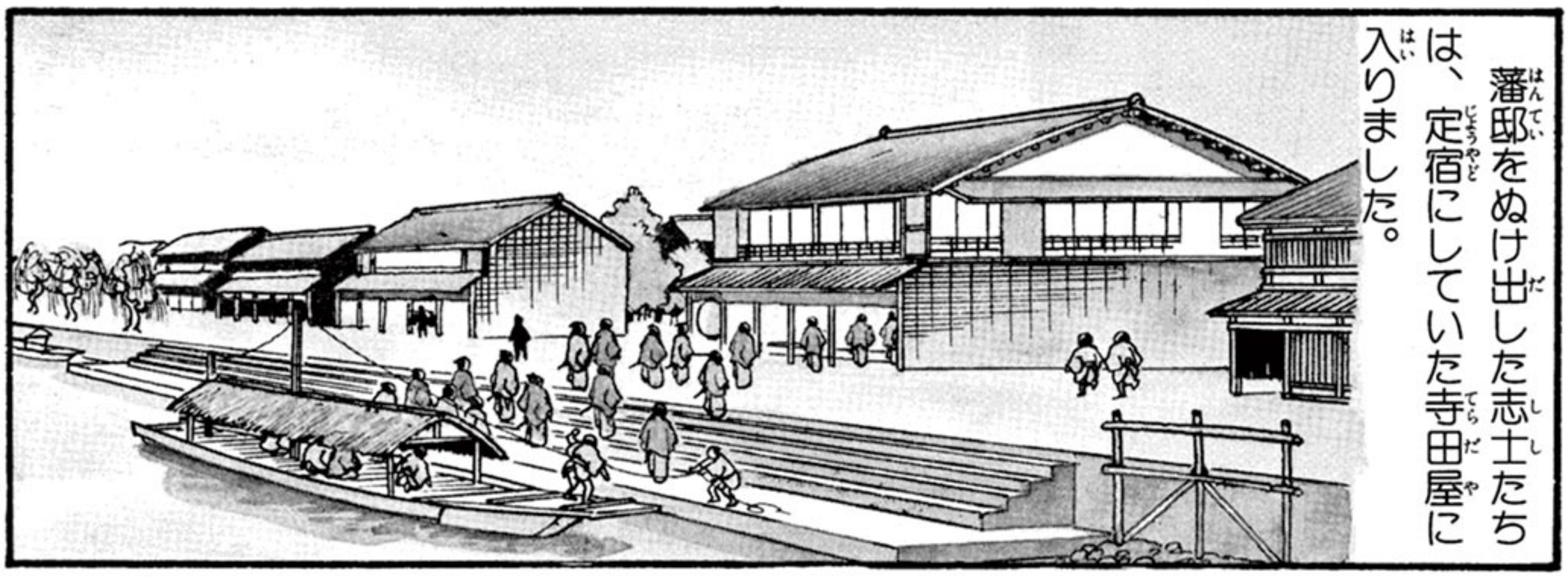
京には、全国から志士があつまってきています。

*島津久光…島津斉彬の弟。長男忠義（薩摩藩主）の後見として活やくする。

*脱藩…武士が藩からぬけ出して浪人になること。

*久留米…福岡県久留米市　*天子…天皇。　*福岡藩…福岡県北西部を領地とした藩。

*寺田屋…京都市伏見区にある宿。



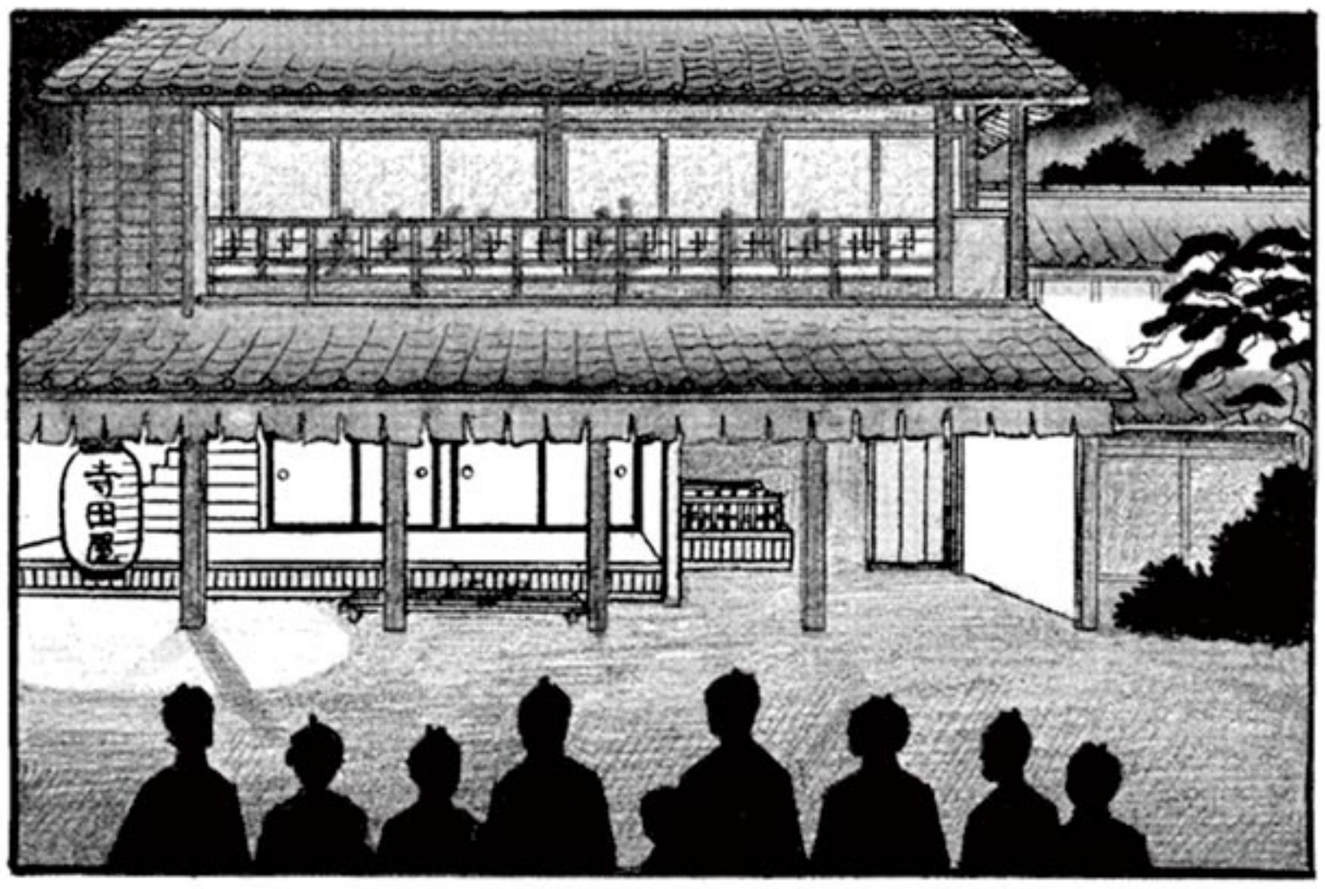
そちたち、寺田屋へ行って、連中をしずめてこい！

道島五郎兵衛

奈良原喜八郎

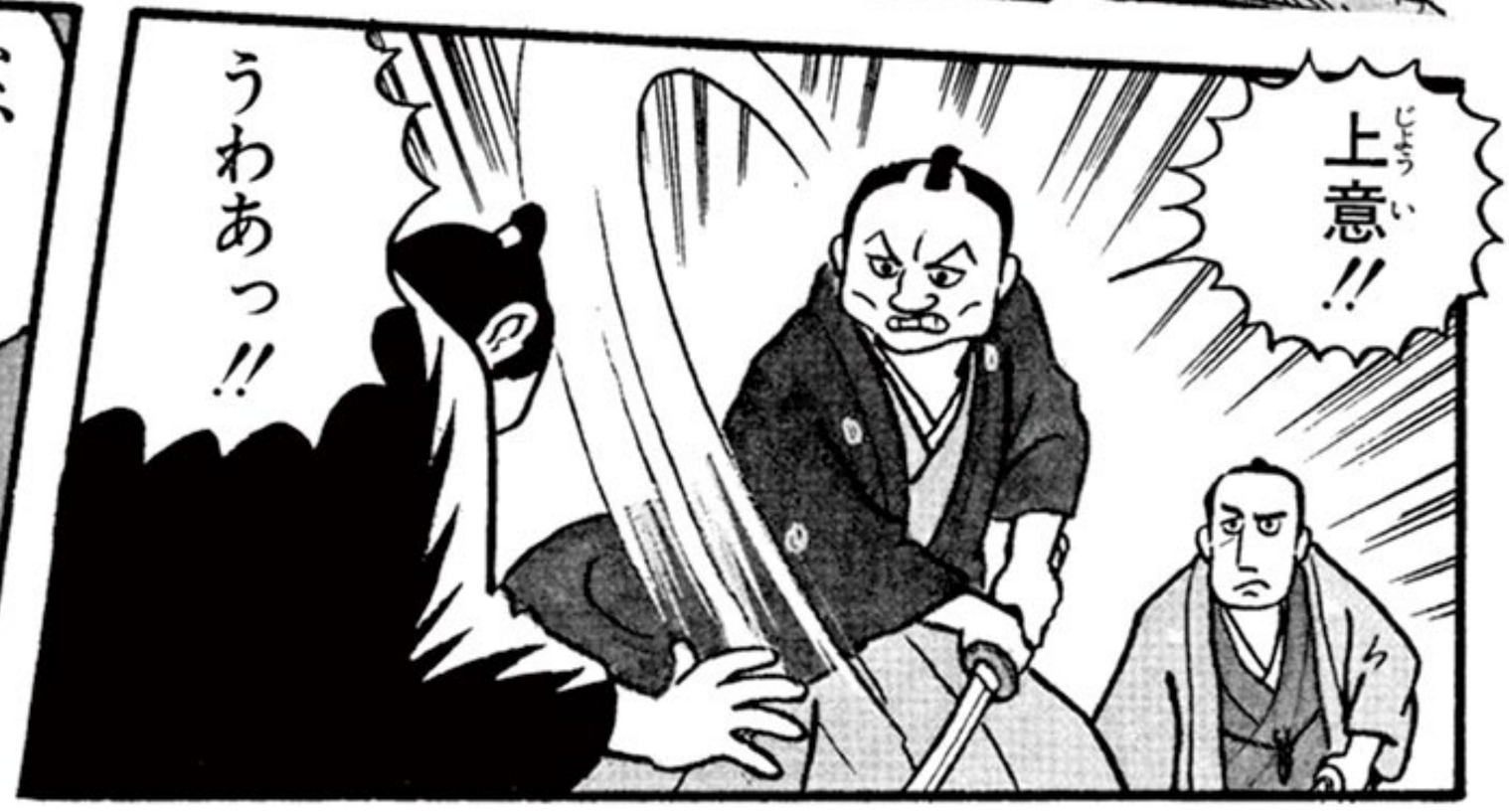
説得におうじませぬときは…。

うむ、やむをえぬ。



わたしが談判しよう。

わしも行こう。



討手だぞ!!
なにいっ!
ドドドドドド
バーン
ズドーン
ズドーン
あわわわ…
*お登勢
おれといっしょにさせっ!
ヤーッ
ダダダ
ウッ
く、くそっ!
たのむ!! 拳兵はやめてくれ!
わかった!
真木和泉
この寺田屋騒動は、薩摩藩士の悲さんな同士討ちになったのでした。

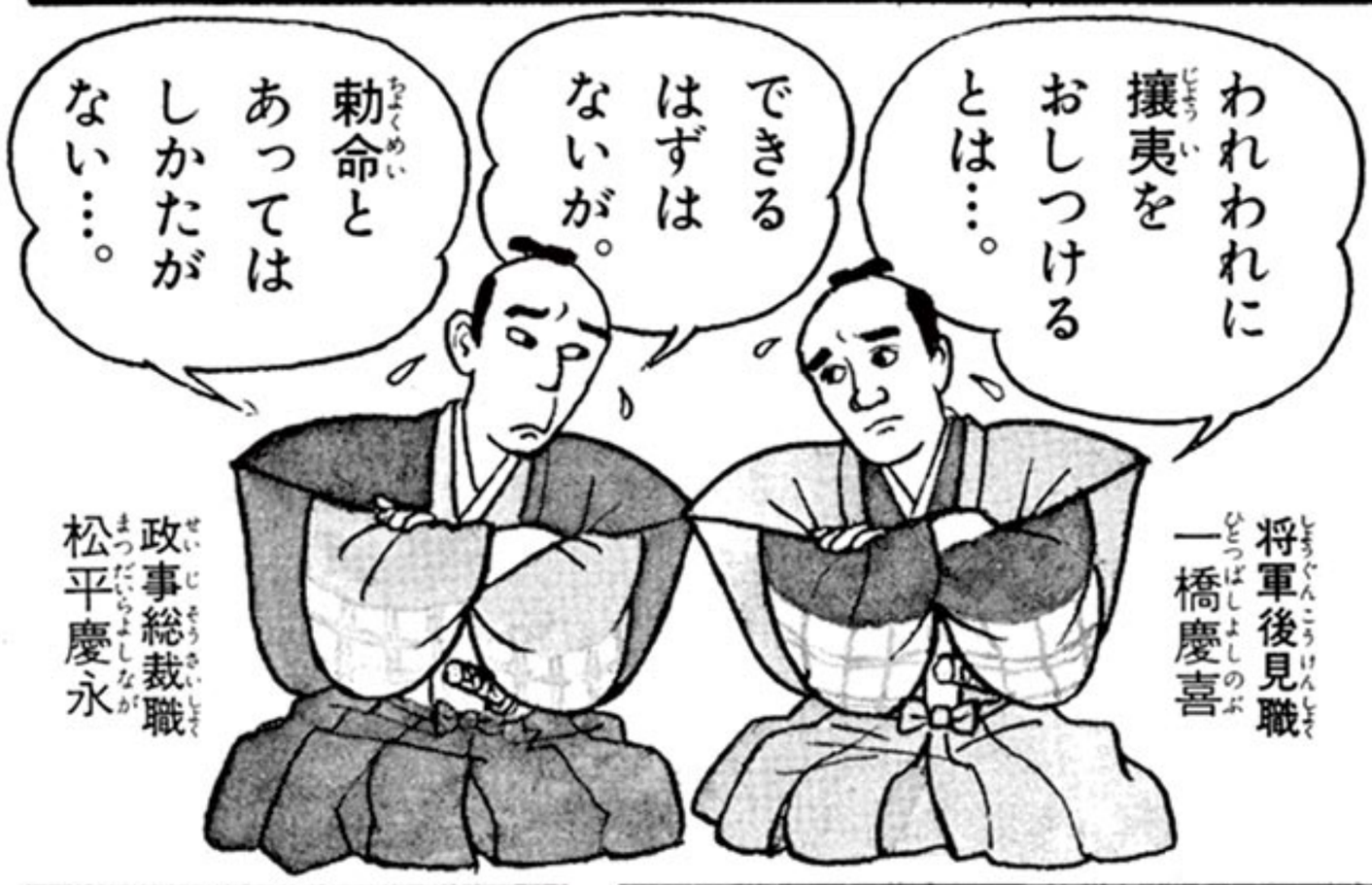
*お登勢…寺田屋の女主人。

*勅使…天皇の使者。

勅使がつたえた天皇の命令は、公武合体の形で政治を行い、攘夷をすすめ、*安政の大獄で失脚していた一橋慶喜、松平慶永を、再登用することなどでした。

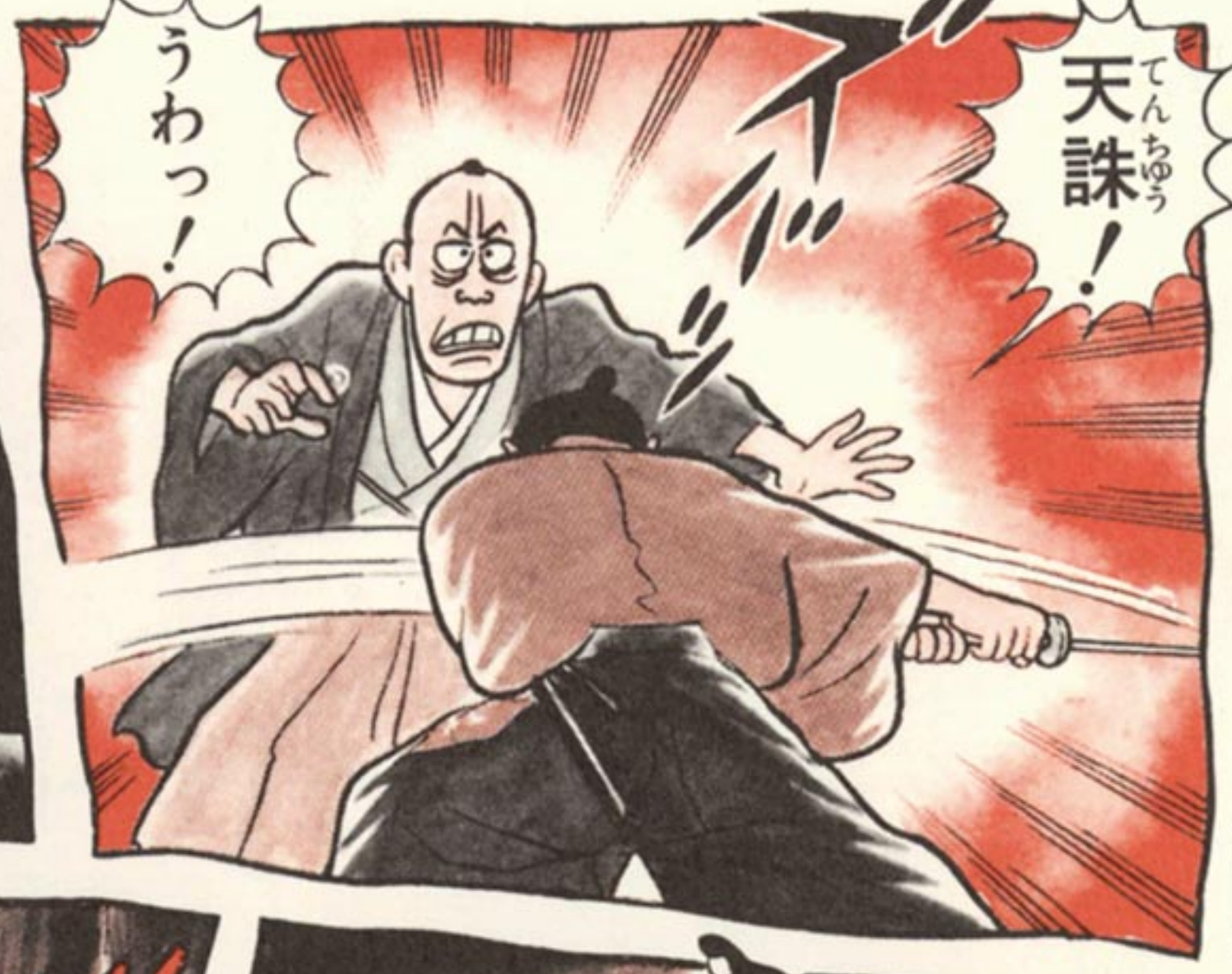
*安政の大獄…第一章参照。

こうして、幕府は朝廷のもとめにおうじました。



*生麦村…神奈川県横浜市鶴見区

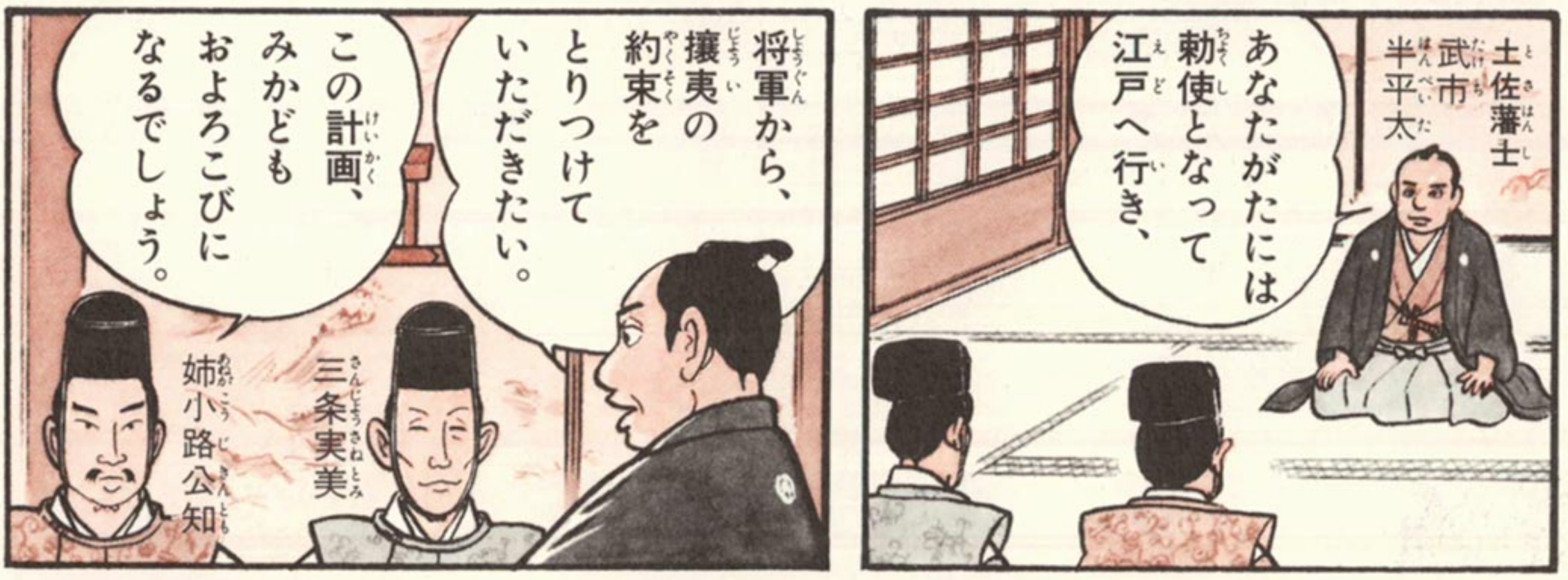
*松平容保…会津藩（福島県会津地方を中心に領地とした藩）の藩主。



尊王攘夷派の志士たちが、「天誅」とよばれる殺傷事件をおこしていました。ぎせい者の多くは、安政の大獄に活やくした者や、公武合体派の人びとでした。

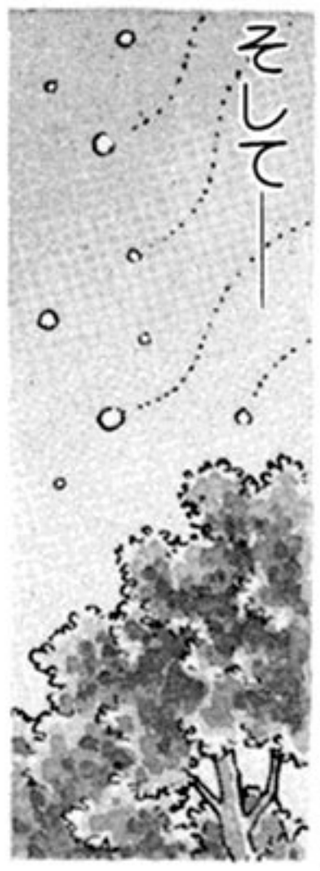
＊誅伐…罪人をころすこと。

＊四条河原…京都市中京区付近の鴨川の河原。

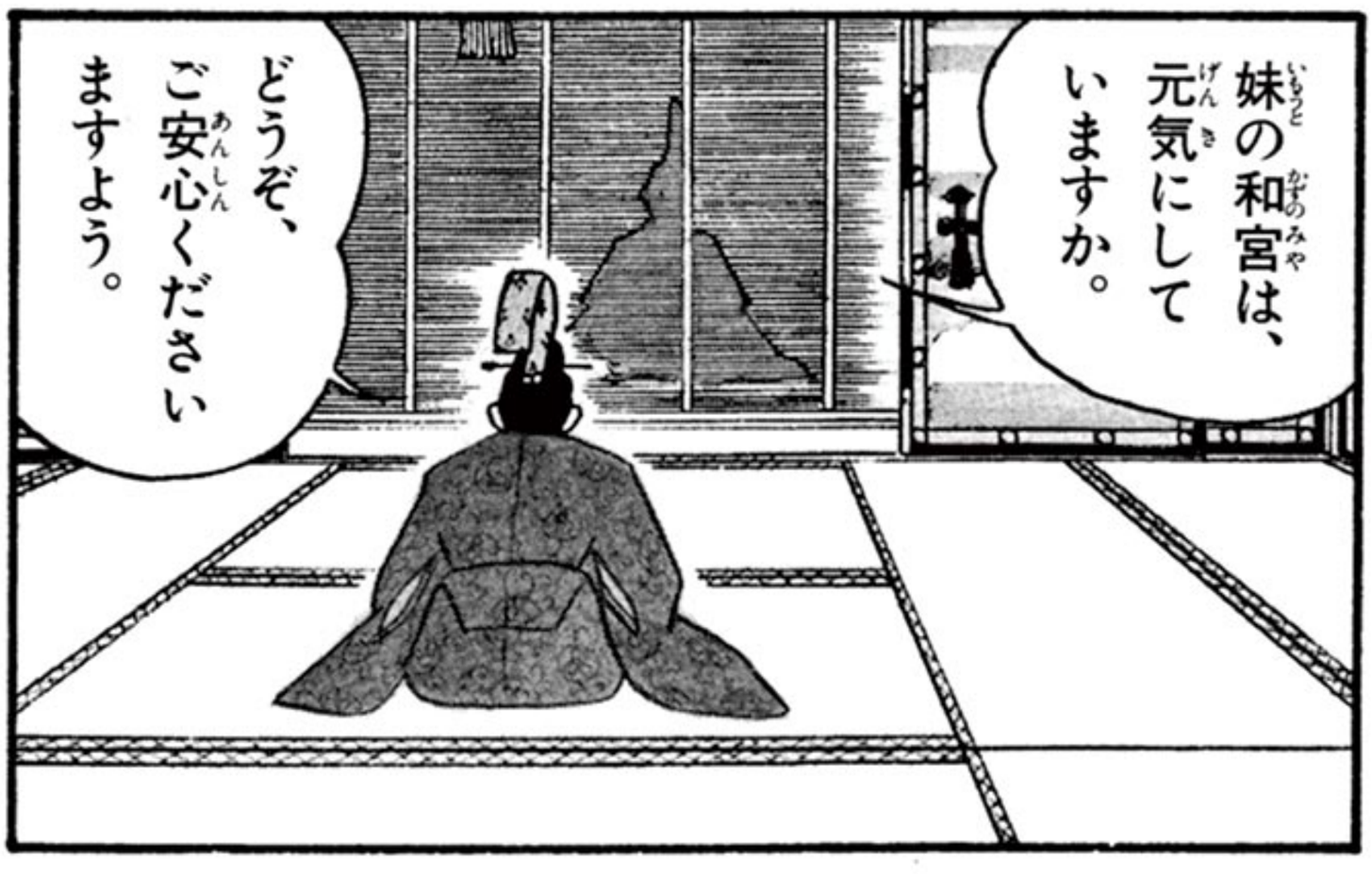


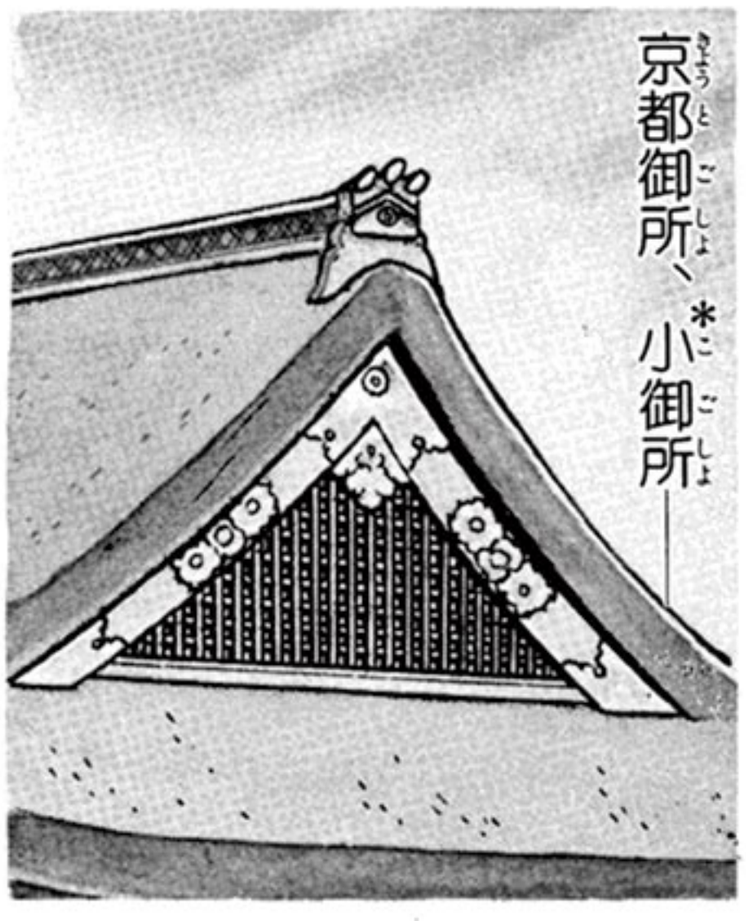
こうして、攘夷をせまる勅使が江戸にむかいました。

＊土佐勤王党…武市半平太がひきいる土佐藩の志士たちの集団。



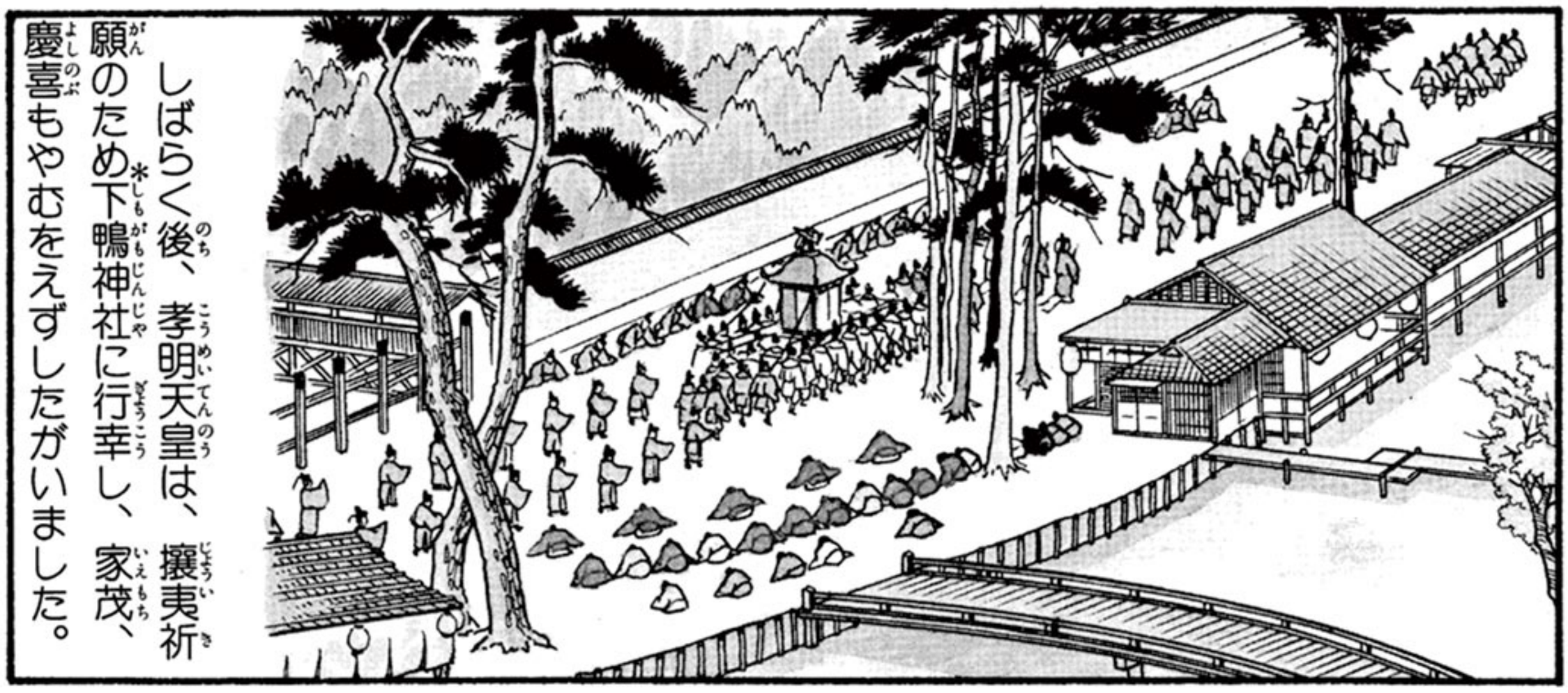
こうして、将軍が京へのぼることになりました。





*二条城…京都市中京区にあった徳川幕府の城。

*小御所…御所の建物の一つで、公式の会見などにつかわれた。



＊下鴨神社…京都市左京区にある、朝廷と関係の深い神社。

＊下関海峡…山口県下関市と福岡県北九州市の間の海峡。関門海峡、馬関海峡ともいう。

その後長州藩は、フランスやオランダの軍艦にも攻撃をくわえました。

しかし六月、アメリカの軍艦が、しかえしのため長州を攻撃に来ました。

ドカーン!
ドカーン
ドカーン

うわっ!

つづいて、フランス軍も上陸し、砲台を占拠しました。

こわしてしまえ！

なんということだ…。わが藩士が、外国にろくな抵抗もできなかったとは…。

長州藩士 高杉晋作

もうこれからは、武士だけにたよるわけにはいかない。

こうして高杉は、農民や町人など、あらゆる層から兵をつのり、奇兵隊という軍隊を結成しました。

とぉ

イテー

おれもやるぞ。

ザッ ザッ ザッ

鉄砲や大砲の訓練もしなくては…。

その後長州藩では、このような「諸隊」とよばれる私的な軍隊がつぎつぎとつくられ、*戊辰戦争などに活やくしました。

*戊辰戦争…第四章参照。

六月二十八日、薩摩鹿児島湾――

イギリスの軍艦だ！

生麦事件の犯人の処罰と、賠償金をもとめてきているんじゃ。

七月二日――

交渉は決れつし、わが藩の汽船がうばわれました。

よし、うちはらうのだ。

ドドドドドド

わあっ！やったぞ！

どころが――

反撃してきたぞ！

だ、だめだ！

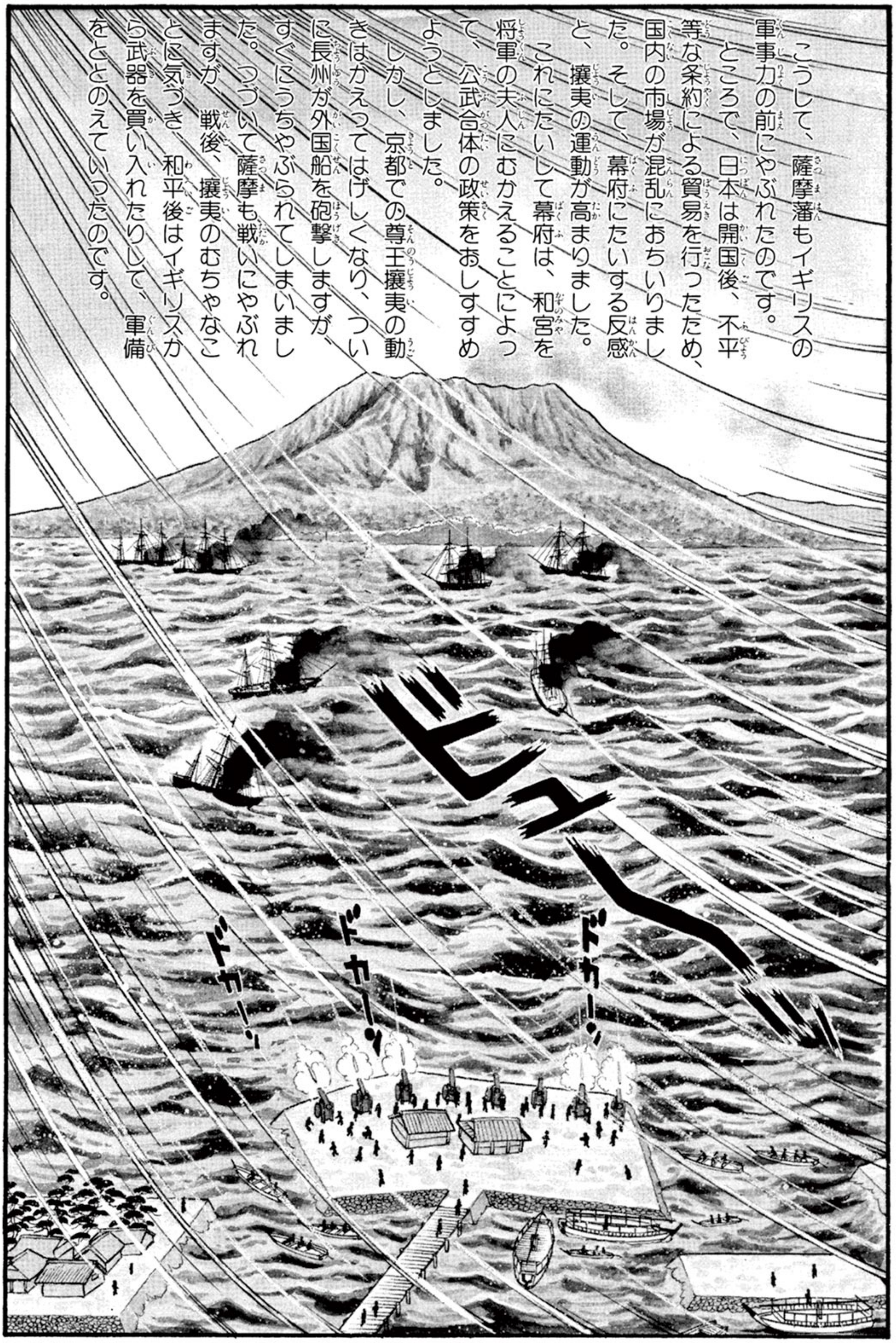
外国は強い……。……これでは、攘夷も考えものだ……。

こうして、薩摩藩もイギリスの軍事力の前にやぶれたのです。

ところで、日本は開国後、不平等な条約による貿易を行ったため、国内の市場が混乱におちいりました。そして、幕府にたいする反感と、攘夷の運動が高まりました。

これにたいして幕府は、和宮を将軍の夫人にむかえることによって、公武合体の政策をおしすすめようとしました。

しかし、京都での尊王攘夷の動きはかえってはげしくなり、ついに長州が外国船を砲撃しますが、すぐにうちやぶられてしまいました。つづいて薩摩も戦いにやぶれますが、戦後、攘夷のむちゃなことに気づき、和平後はイギリスから武器を買い入れたりして、軍備をととのえていったのです。



小学館 eBooks

第三章

大政奉還

——江戸時代末期——

*祇園…京都市東山区八坂神社の門前町としてさかえた場所。*桂小五郎…後の木戸孝允。*大和…奈良県*行幸…天皇が出かけること。

*春日社…奈良県奈良市春日野町にある神社。春日大社ともいう。*攘夷…攘夷のために、天皇がみずから出むくこと。

*中川宮…公武合体派の皇族、朝彦親王のこと。後の初代久邇宮。

攘夷は、大いにやってほしい。
しかし、幕府をうつことなど考えてもいない。

公武合体が、わたしの強いねがいなのだ。
はい。

このたびの行幸については、三条実美が長州にそそのかされて計画したのです。

いっそのこと、かれらをたたきつぶしてはいかがでしょう。
うむ……。

京都守護職の松平容保にたのみます。
それに、薩摩の力も利用いたしましょう。

事は、ごく内密をようします。
決行は…日。
たのんだぞ。

八月十八日早朝、御所――

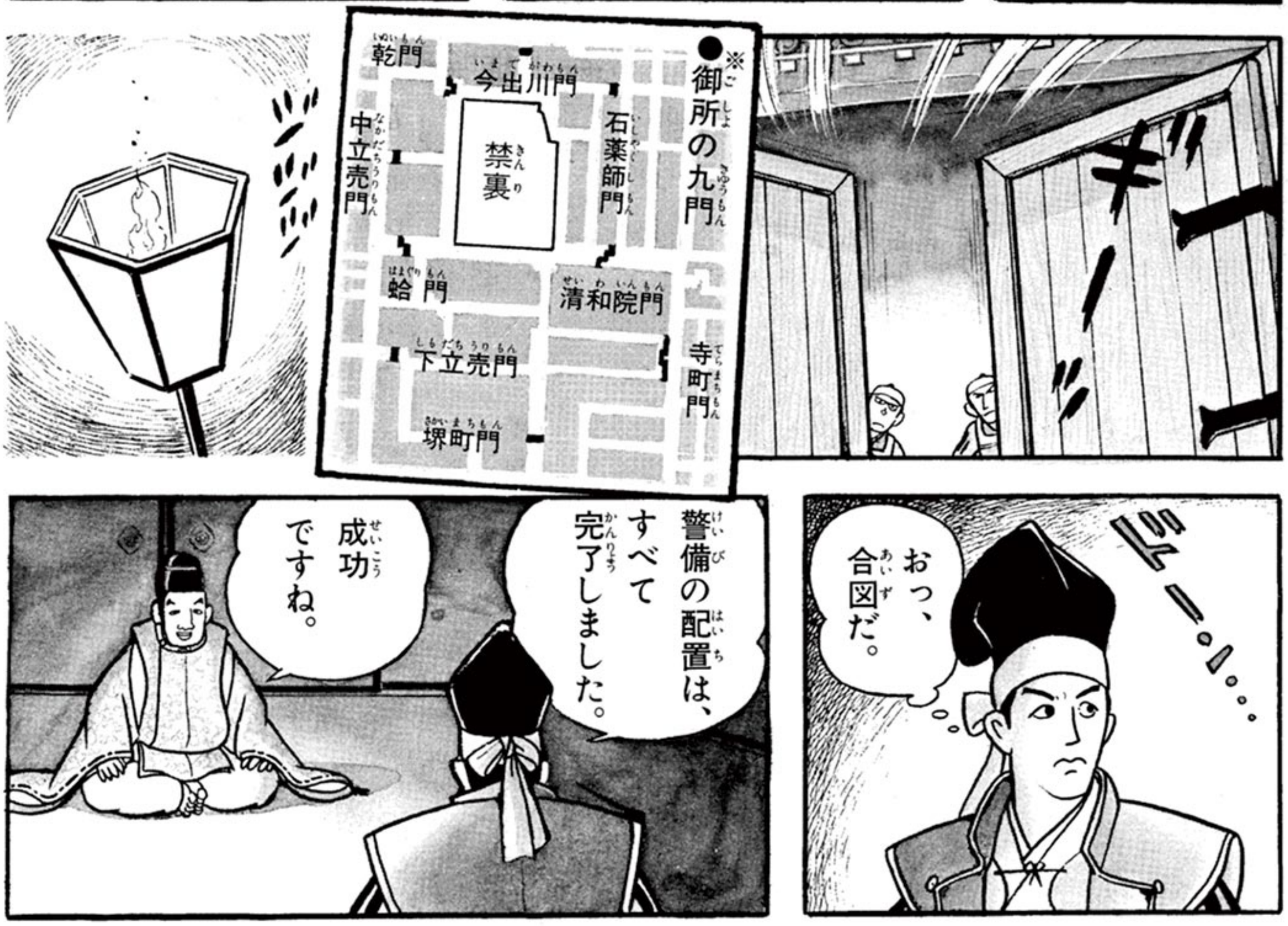
うちあわせどおり、たのみます。

はい。

京都守護職
松平容保

会津と薩摩の兵によって、御所の九門すべてをかためるのだ。

はっ！



※地図の■は、公家屋敷・宮家などを表します。

中川宮を中心とする公武合体派の手によって門がかためられた御所内で、*朝議が行われました。そして、大和行幸の延期、尊攘派公卿の免職、長州藩の堺町門の警固役をやめさせることなどの決定がなされました。

*朝議…朝廷の会議。

＊妙法院…京都市東山区にある寺。延暦寺の別院としてたてられた。

こうして、三条実美をはじめとする尊攘派公卿や長州藩は、御所からしめ出されてしまいました。

これを、「八月十八日の政変」といいます。

どうします？

いったん引きあげるしか、手はありませんな……。

こうして、三条実美たち七人の公卿は、長州へむかいました。

この政変の前後、各地で尊攘派が倒幕の兵をあげたのじゃ。まとめて見てみよう。

われわれ水戸藩の尊攘派天狗党は、*筑波山で挙兵しました。

水戸藩士 武田耕雲斎

志士 藤田小四郎

天狗党の乱（1864年3月）

水戸

江戸

はじめて倒幕のために挙兵したのが、わたしたち天誅組です。

岡山藩士 藤本鉄石

*筑波山…茨城県西部にある山。

*金沢藩…石川県と富山県の一部を領地とした藩。

一方土佐では、尊攘派にたいする弾圧があり、武市半平太をはじめ、多くの者が処罰されました。

土佐藩郷士 武市半平太

*大和五条の代官所をおそいましたが、一か月あまりでやぶれました。

土佐藩士 吉村寅太郎

大和五条の変（1863年8月）

大和五条

土佐

尊攘派をとりしまれ！

土佐藩主 山内豊信

みんな、うまくいかなかったのですね。

尊攘派公卿 沢宣嘉

福岡藩士 平野国臣

*大和五条…奈良県五條市

天誅組につづいて、*但馬生野で挙兵しました。

しかし、内部分れつがおこり、失敗におわりました。

生野の変（1863年10月）

生野

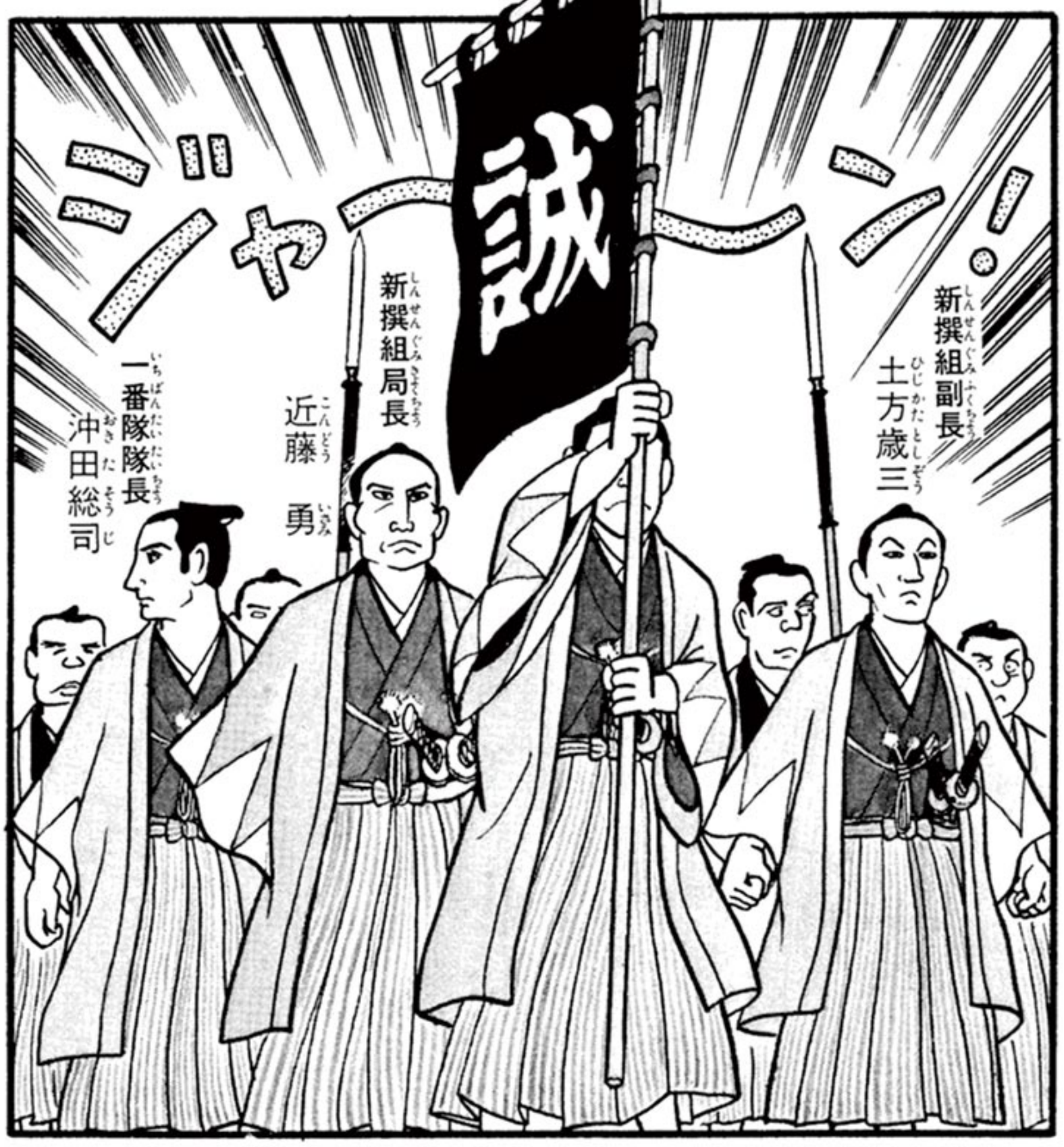
京都

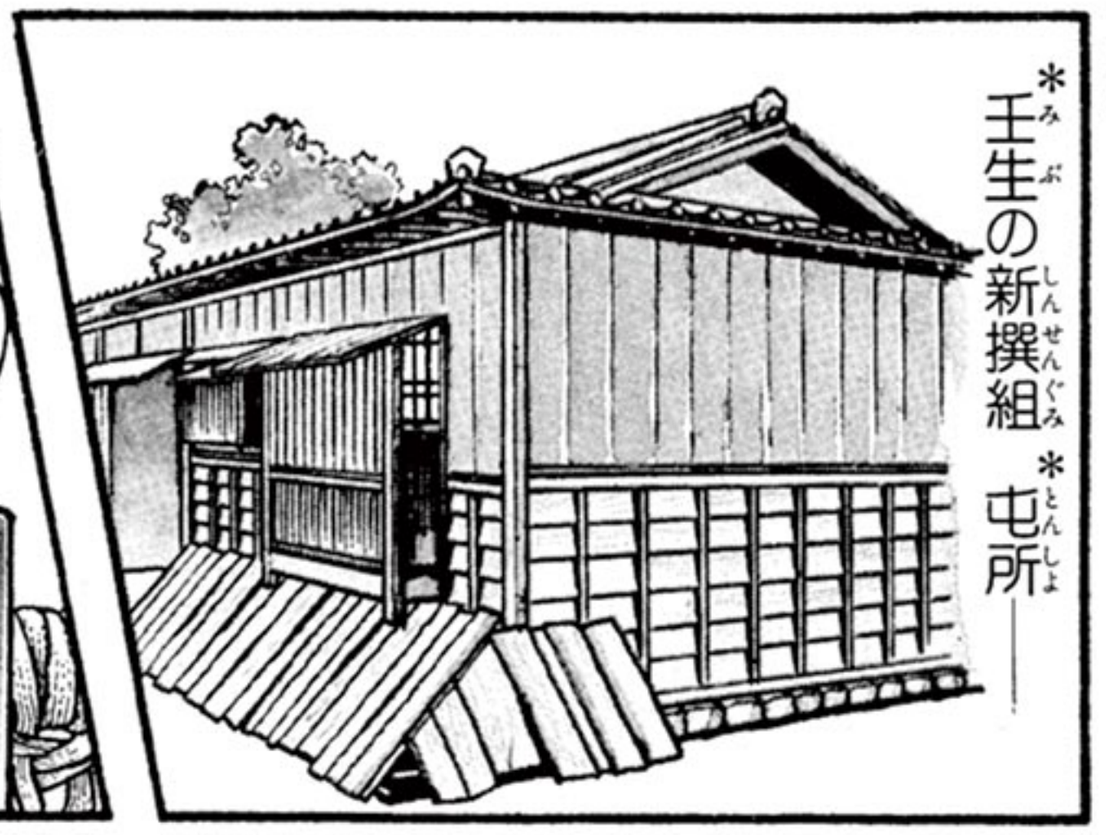
*但馬生野…兵庫県朝来市生野町

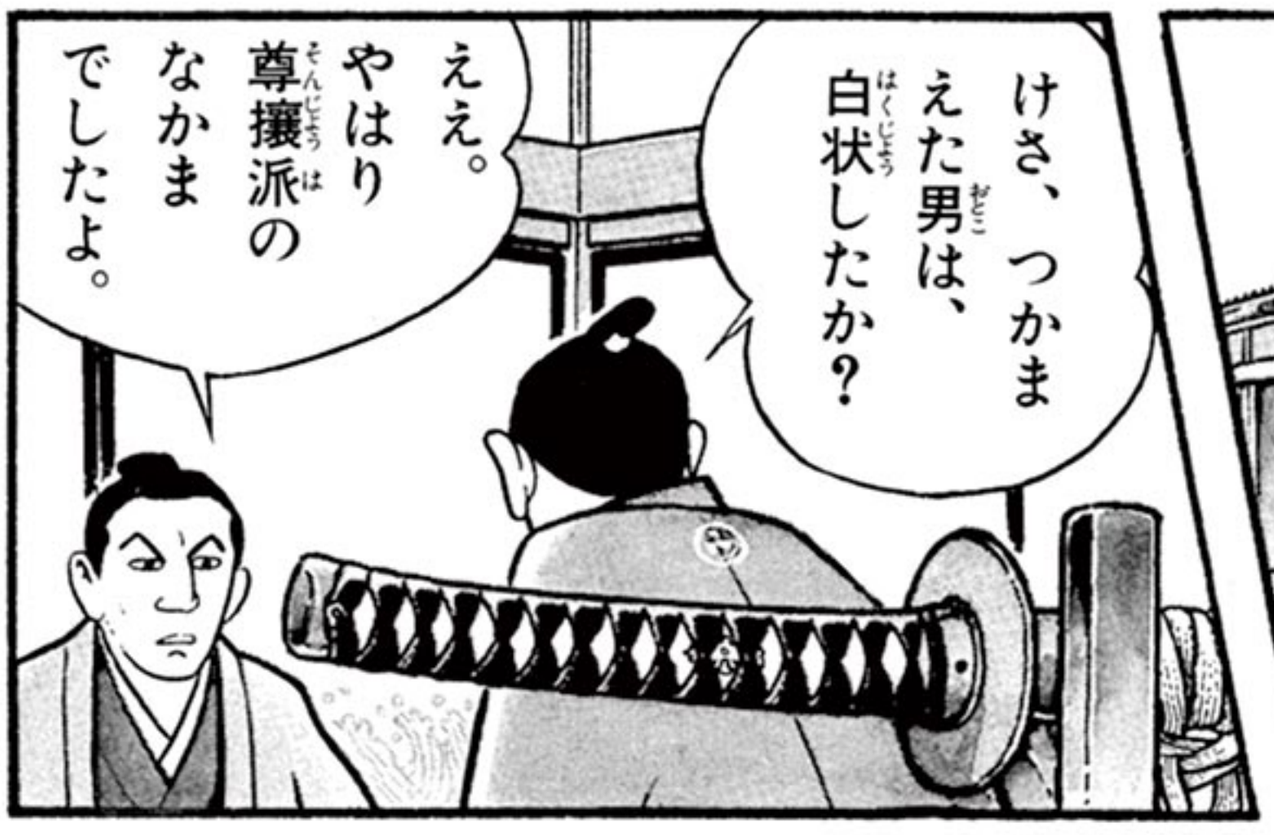
扉絵：

この政変の前後、各地で尊攘派が倒幕の兵をあげたのじゃ。まとめて見てみよう。

一八六四年六月五日、京都――







*浪士組…幕府が、浪人をあつめてつくった団体。

*壬生…京都市中京区壬生

*屯所…人のあつまる所。

*池田屋と四国屋…両方とも京都市中京区にあった旅館。

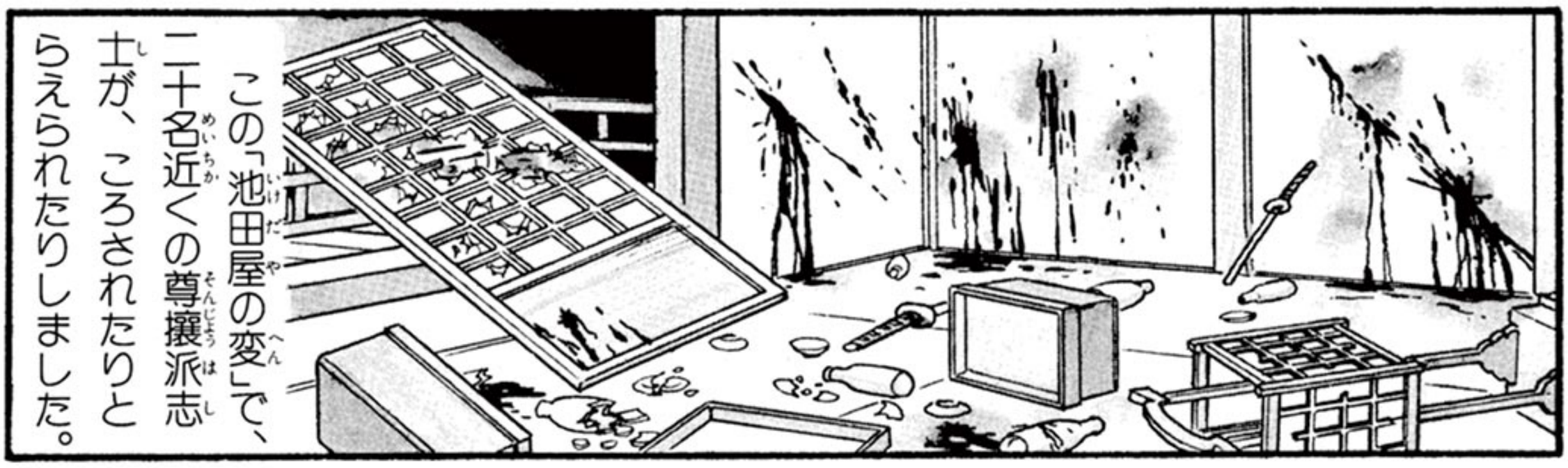
*守護職…京都守護職のこと。
*所司代…京都所司代のこと。
*肥後…熊本県

あっ!!
し、
新撰組!
やあっ!!
ズ
うわっ!!
あっ!!
ド
ダ
ダ
みんなにげろ!
うわあっ!
くそお!
キ
うっ!

にがすな！
ガタ

助太刀いたす。
おう、土方さん。

会津の兵も来たぞ！
ダダダダ


この「池田屋の変」で、二十名近くの尊攘派志士が、ころされたりとらえられたりしました。

ダダ

長州藩では

く、くそっ！
なんとしても、会津、薩摩の手から朝廷をうばいかえすのだ！
兵をあげて京へのりこもう！
長州藩士 来島又兵衛

長州藩の軍勢は、三人の家老にひきいられ、三方から京都に侵入しました。

御所
嵯峨
二条城
長州藩の陣
山崎
伏見

ついに来たか、長州ども…。

慶喜は、勅許をえるために御所へ行きました。

早く長州追討の勅許を…。

うむ…。

ドドドド

二条城

会津はじめ、諸藩の兵はだいじょうぶだな。

はっ。すでに伏見にて、*大垣藩が敵をふせいでおります。

敵は、蛤御門にせめよせてきます！

御所には一歩も入れるな。

*大垣藩…岐阜県大垣市付近を領地とした藩。

七月十九日
蛤御門

一歩たりとも入れさせぬぞっ!!

ドドー

うっ。

ノノズ

ドーン

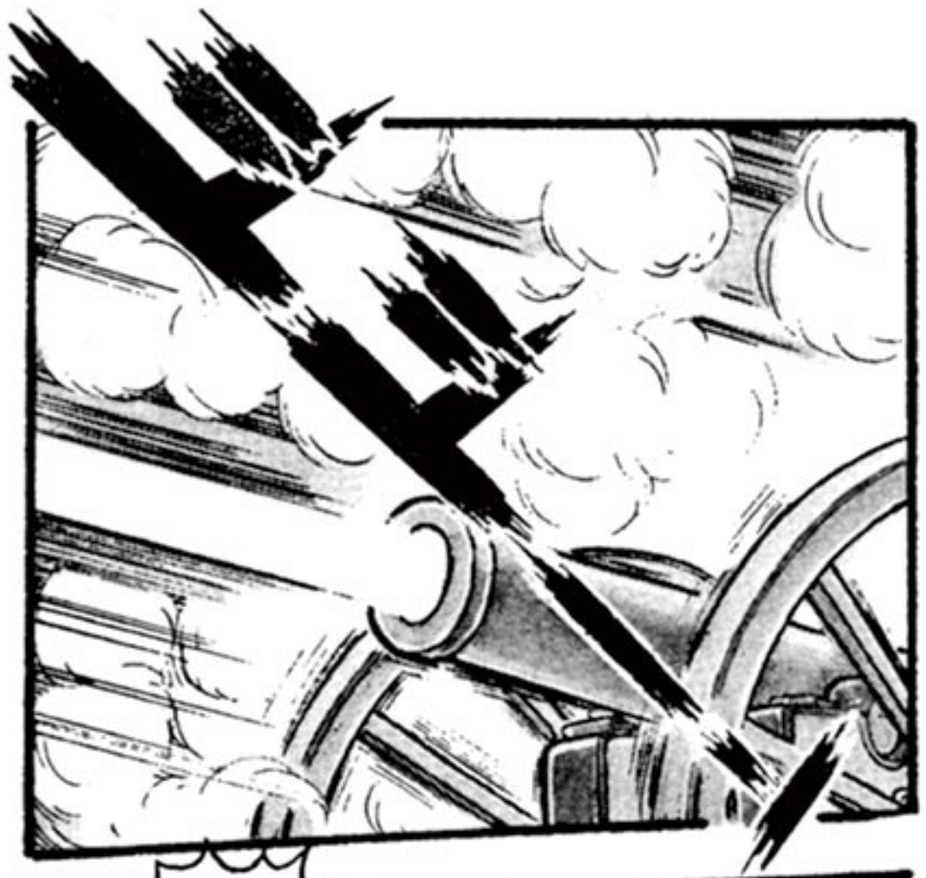
ウー

くそっ。

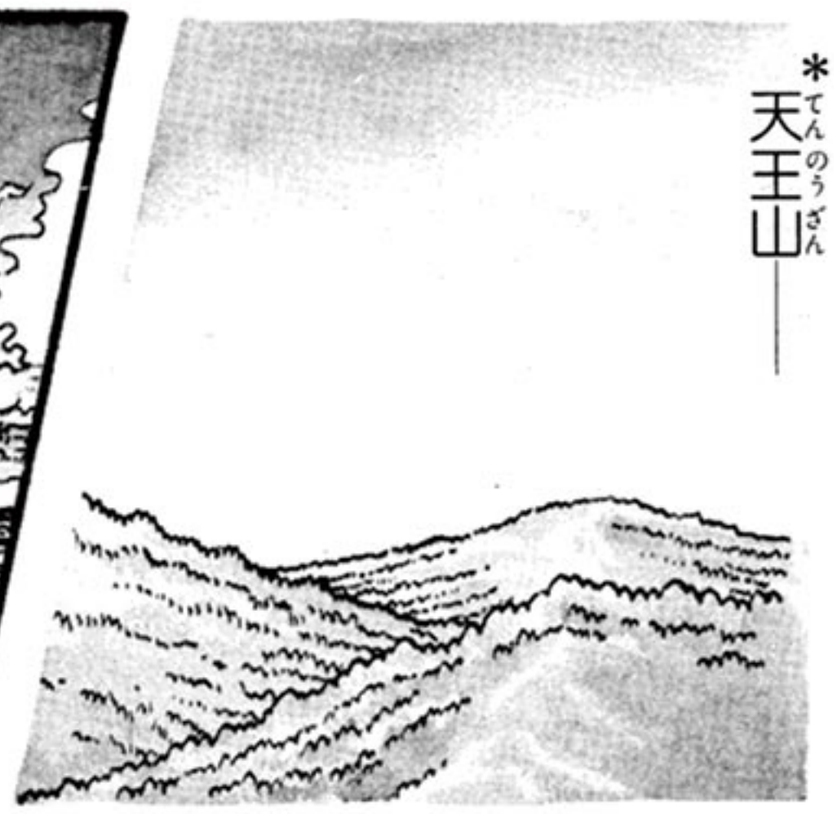
ぐわっ!!

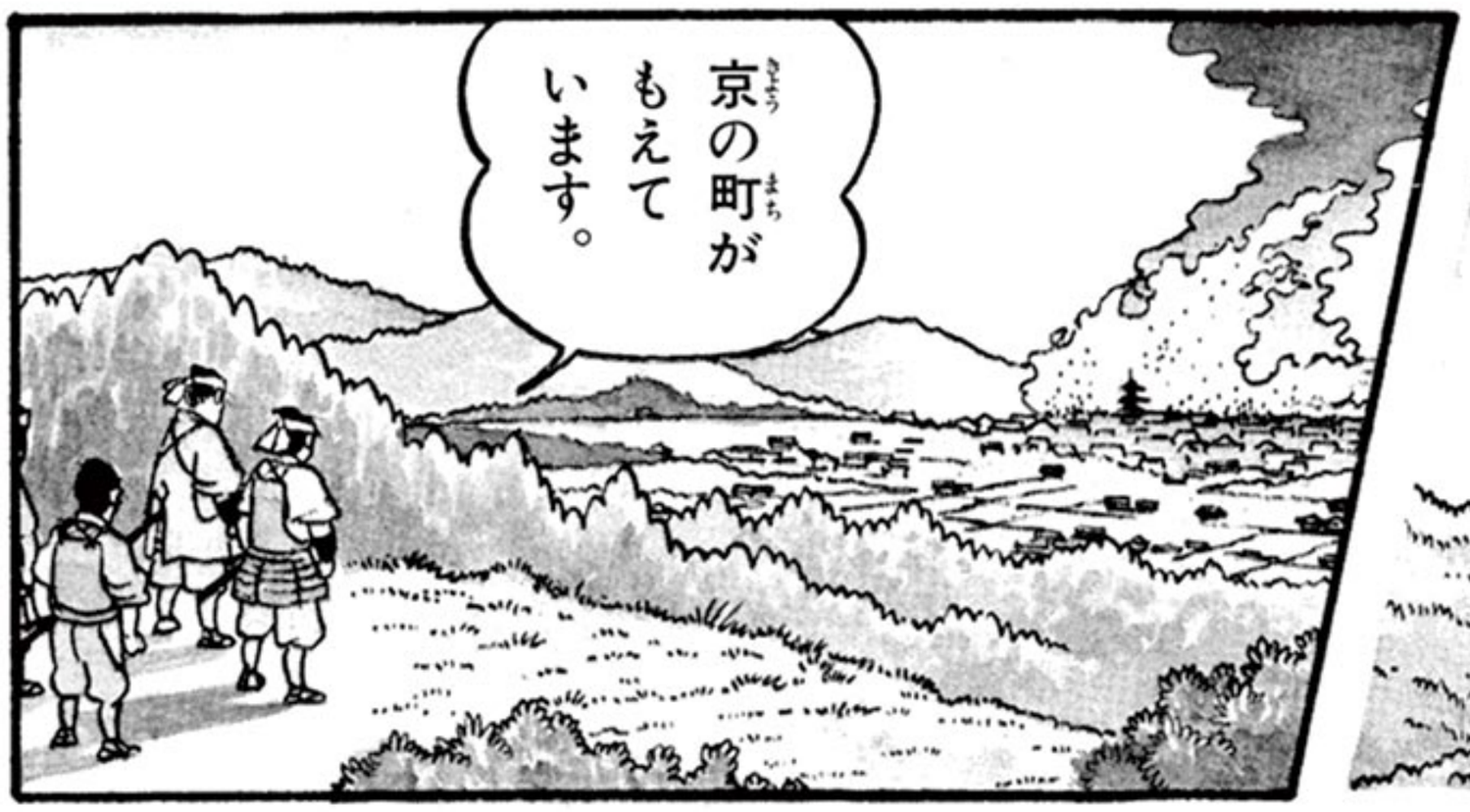
真田丸

嵯峨に本陣をかまえていた国司信濃・来島又兵衛の指揮する一隊は、二手に分かれ、中立売門と下立売門にせめこみました。
そして、中立売門と下立売門でたたかった後に、それぞれ蛤御門へとむかい、会津・薩摩・桑名兵と、はげしい戦いをくりひろげました。
ズドーン
ズドドドドド
ドド
ズドドド
エーイ
にっくき会津どもをけちらせ!!
うわっ。



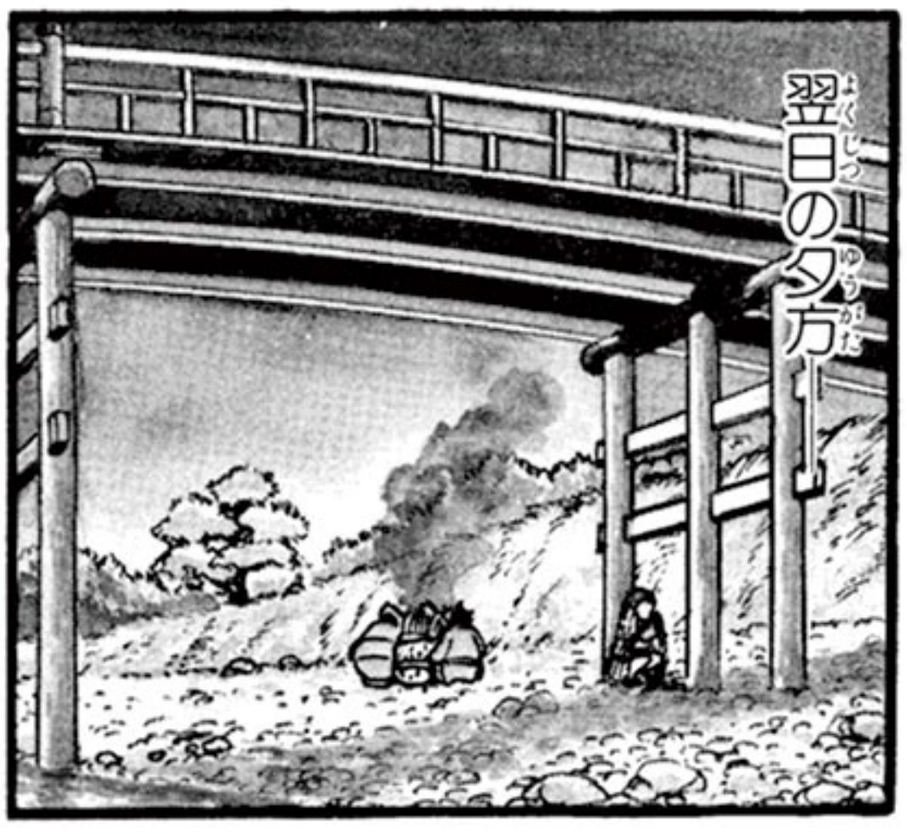
*鷹司邸…御所の南、堺町御門のそばにあった屋敷。





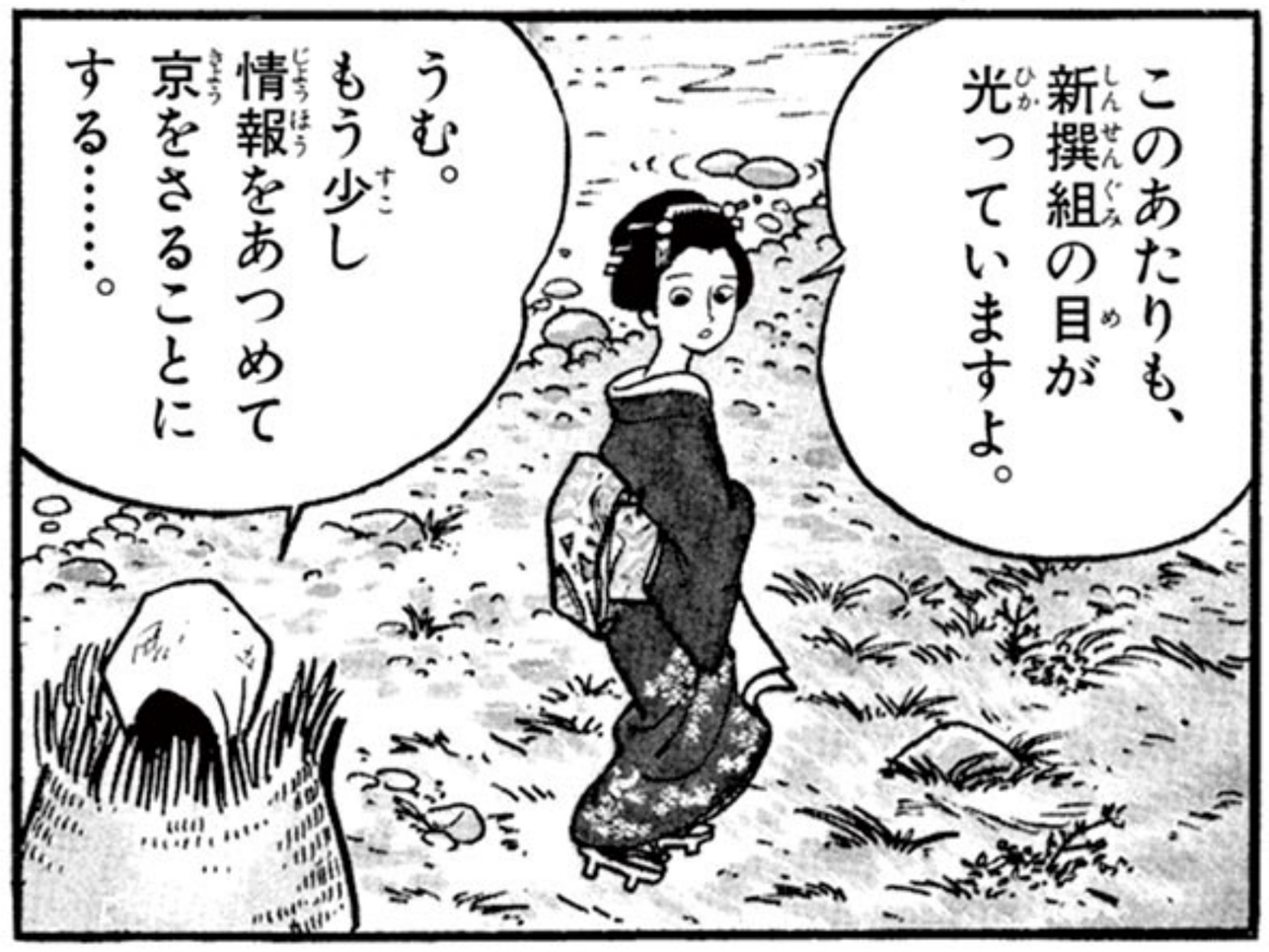
*天王山…京都府乙訓郡大山崎町にある山。*禁門の変…蛤御門の変ともいう。

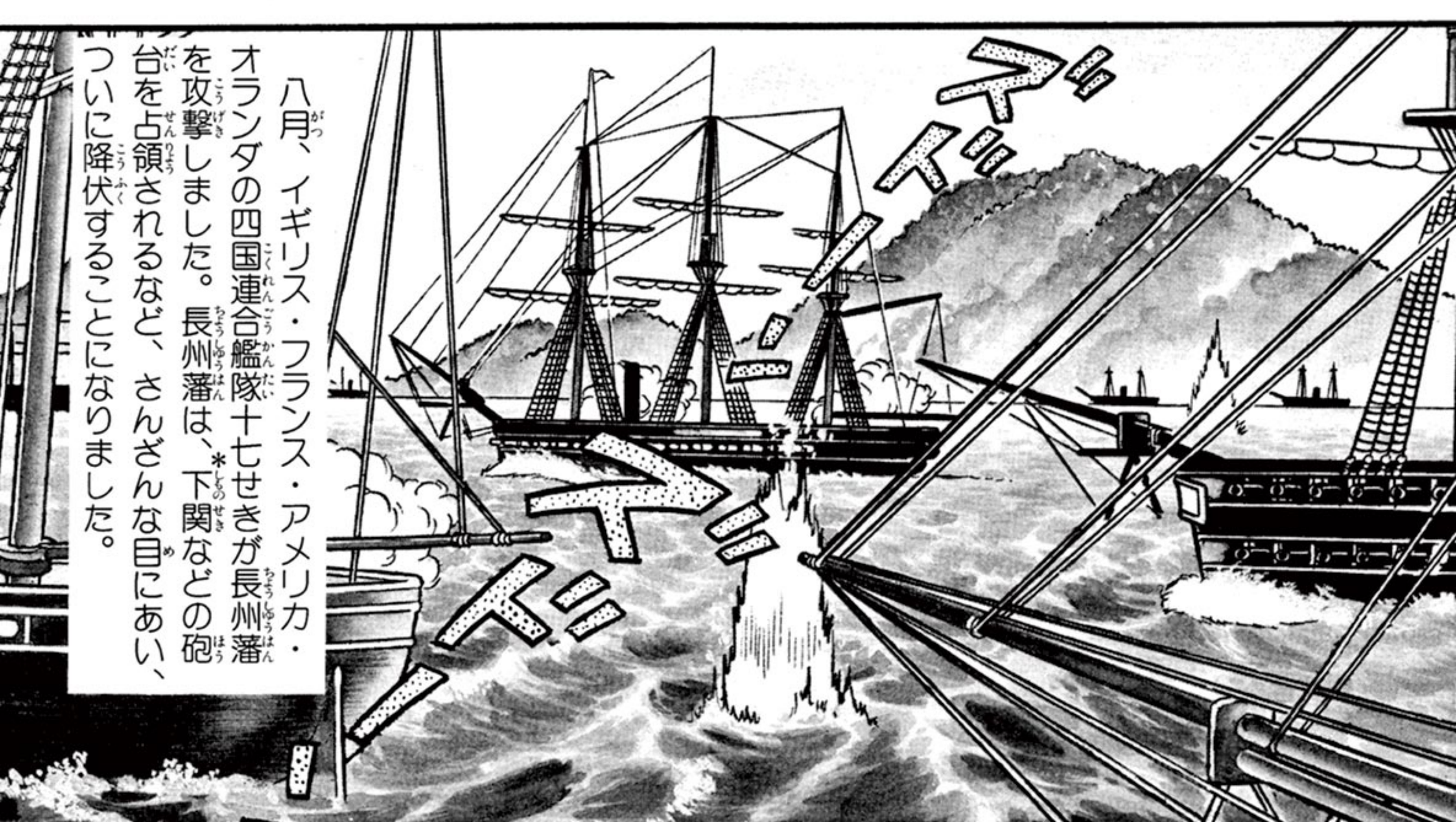
この事件を「*禁門の変」といいます。長州藩を中心とする尊攘派の志士たちは、「八月十八日の政変」からひきつづく数多くの事変で打撃をうけ、さらに、この敗北によりほとんど活動できなくなりました。



＊天子…天皇のこと。

＊下関…山口県下関市





八月、イギリス・フランス・アメリカ・オランダの四国連合艦隊十七せきが長州藩を攻撃しました。長州藩は、＊下関などの砲台を占領されるなど、さんざんな目にあい、ついに降伏することになりました。

七月、勅許をうけた幕府は、長州に大軍をむけようとしました。これを「第一次幕長戦争」といいます。

三十五藩、十五万の兵をもって、長州をたたくのだ!!

*征長総督 徳川慶勝

出陣!

ザッ

ザッ

ザッ

*征長総督…幕府軍側の総大将。

そのころ、長州藩内は、二つの派に分かれて争いを続け…。

保守派

梨木藤太

毛利家をまもるために、幕府にしたがうべきだ。

藩主 毛利敬親

ああ、わが藩はふんだりけったり…。

尊攘派

高杉晋作

*伊藤俊輔

幕府と一戦すべし!

*伊藤俊輔…後の伊藤博文。

この争いで、保守派が政権をにぎり、幕府への降伏を決定しました。

禁門の変の責任者を処罰し、幕府にあやまるのだ。

家老三人の首をわたすことにしましょう。

くそっ! このままでは、長州はつぶれてしまうぞ。

そしてまもなく——

手はじめに、下関の奉行所をのっとれ。

ワー

ワー

高杉晋作を中心とする尊攘派は、兵をおこし、たちまち、保守派をおさえてしまいました。

*但馬…兵庫県の一部。

一八六五年四月、こうした長州藩の動きを見て、幕府は第二次の長州出兵をきめました。その後、将軍家茂は大坂城に入りました。

イギリスとの戦いで、港をずいぶんやられたとか。
元土佐藩士 坂本龍馬
攘夷はもう、こりごりですわい。
薩摩藩士 西郷隆盛

講和のあとは、イギリスとなかよくなり…。
最近は、武器をどんどん売ってもらっております。

ところで、先日勝海舟どのにはじめてお会いしました。
あのかたは、わたしの海軍技術の先生です。

わしは、勝どのに目をひらかれもうした。
ほう…!?

つまり……、今の幕府は、徳川家の立場だけしか考えていない……。このままでは、国内はますます混乱します。
そうなると、きっと外国がつけ入ってきますな。

そのためには…。
……。

さよう。今の幕府はたおすべきでしょうな。
わたしは、力ある藩による連合の政権を考えているのです。

大久保利通邸

……いかがでしょうかな？

長州と手をにぎる…、なるほど。

しかし、長州は薩摩をうらんでいます。

薩摩藩士 大久保利通

どうでしょう。長州がほしがっている武器を、薩摩がイギリスから購入するのです。

ふむ。では、こちらは長州の米がほしいですな。

品物の買いつけや運送は、わが亀山社中がひきうけますよ。

……。

薩摩と長州の同盟の件、良い返事を期待します。

一方、土佐藩の中岡慎太郎も、坂本と連絡をとりつつ、薩長同盟のあっせんにうごきました。

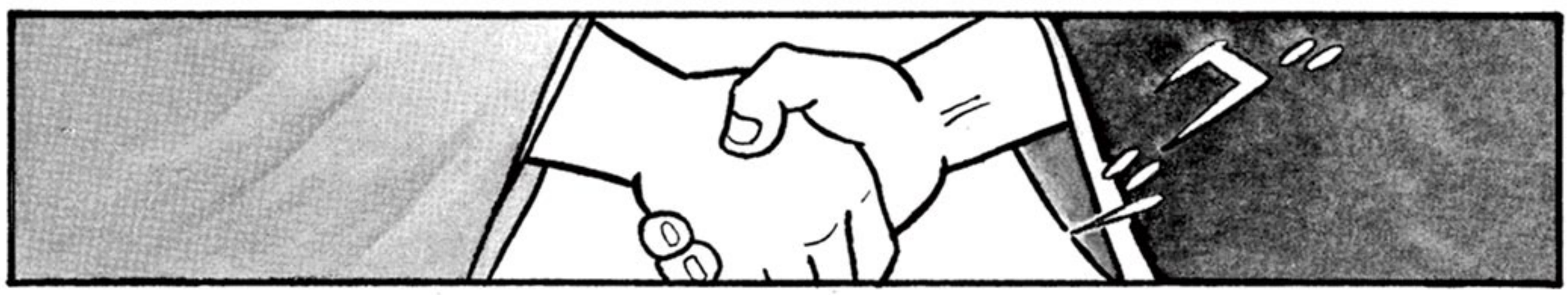
一八六六年一月、京都の薩摩藩邸

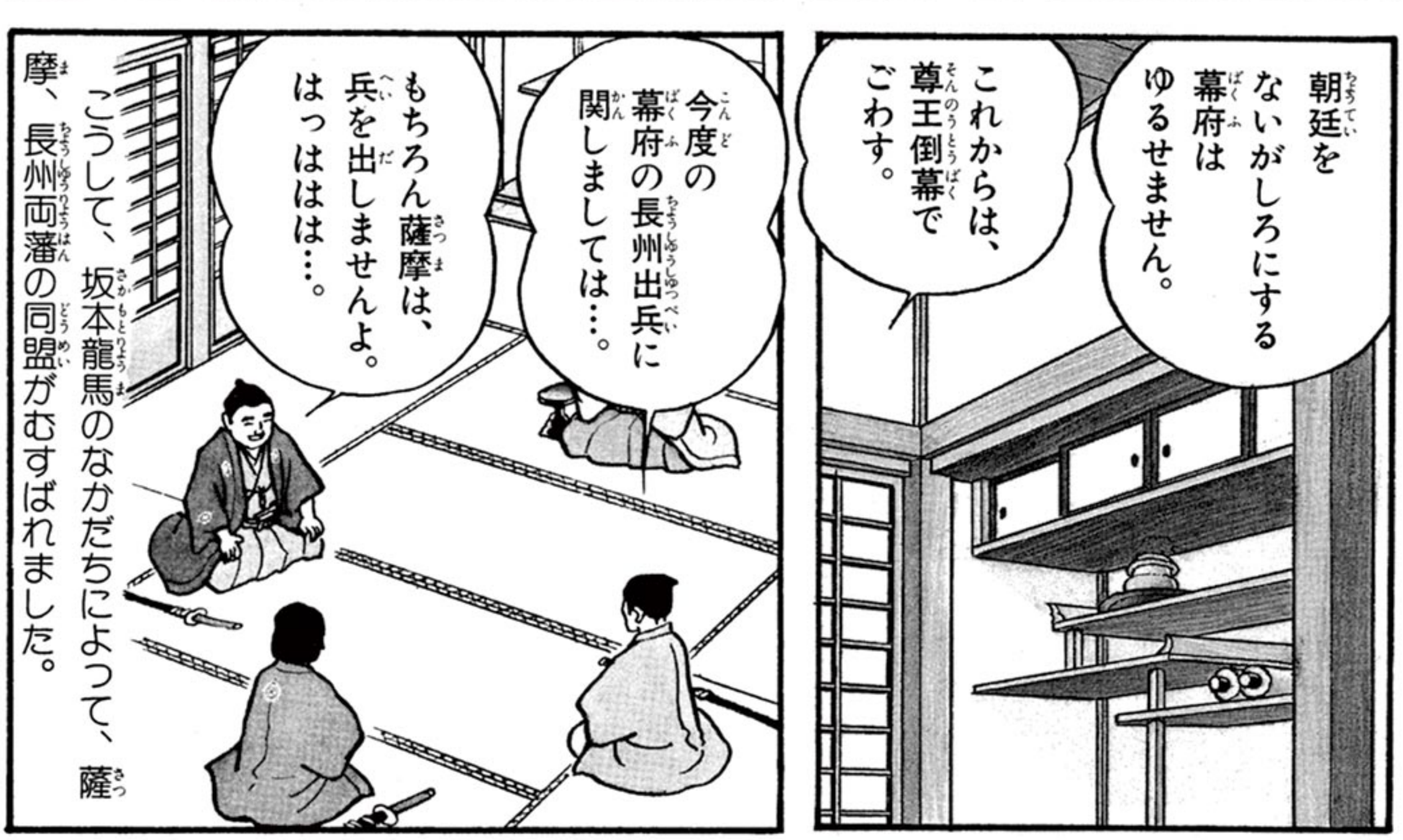
はははは、お二人ともどうなされた？

おたがい、過去のことはわすれましょう。

＊亀山社中…坂本龍馬が長崎でつくった貿易会社。後の海援隊。

*木戸…桂小五郎のこと。一八六五年九月から木戸姓となった。





こうして、坂本龍馬のなかだちによって、薩摩、長州両藩の同盟がむすばれました。

一八六六年六月、幕府は長州に兵をむけました。

ゾロ
ゾロ
コー

お金がかかるので、どの藩もいやいやのいくさとか。

えらく元気がないなあ。

京、大坂に兵があつまって、米の値段は、上がりっぱなしだ。

どうなってしまうのかね…。

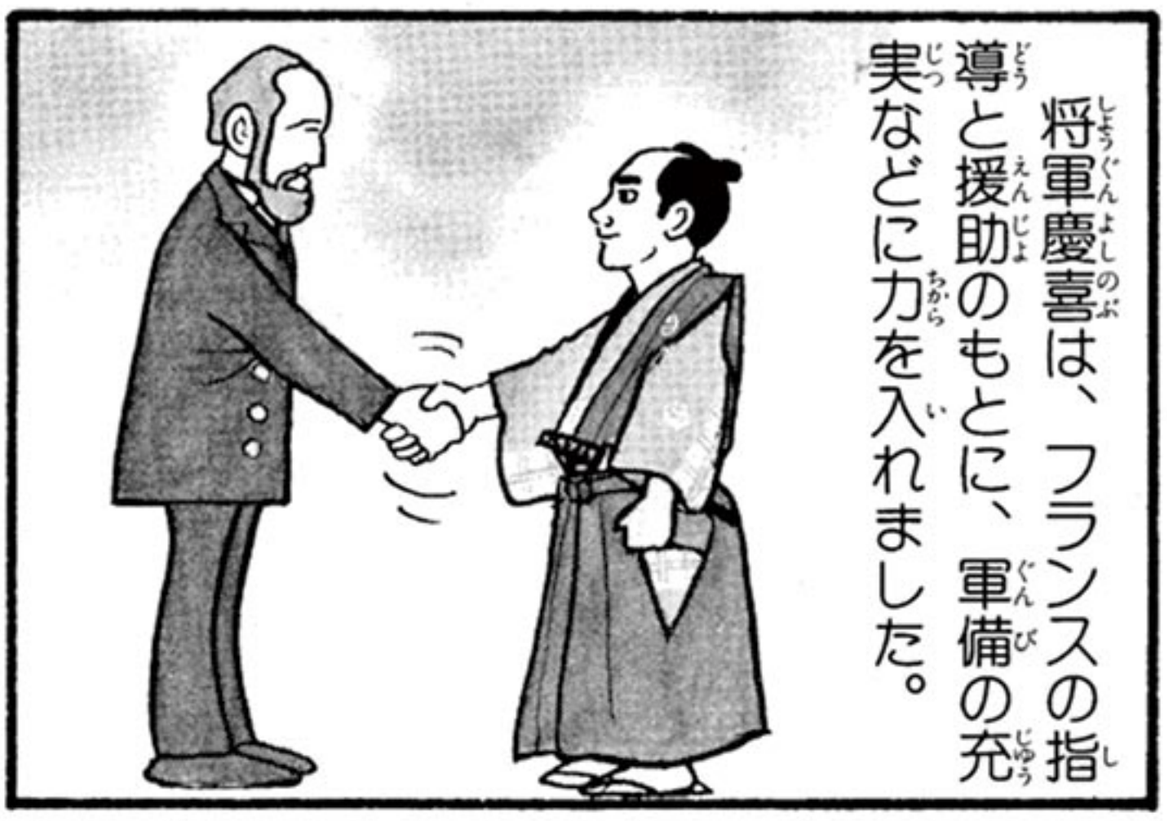
このころ、大坂や江戸では打ちこわしが、各地では農民一揆がおこっていました。こうした動きは、世の中への不満から生じたもので、幕府や諸藩をおそれさせました。

ドーン
パ
パ

そうしたなかで、幕府軍は、一八六六年六月七日、四つの方面から長州にせめこみました。

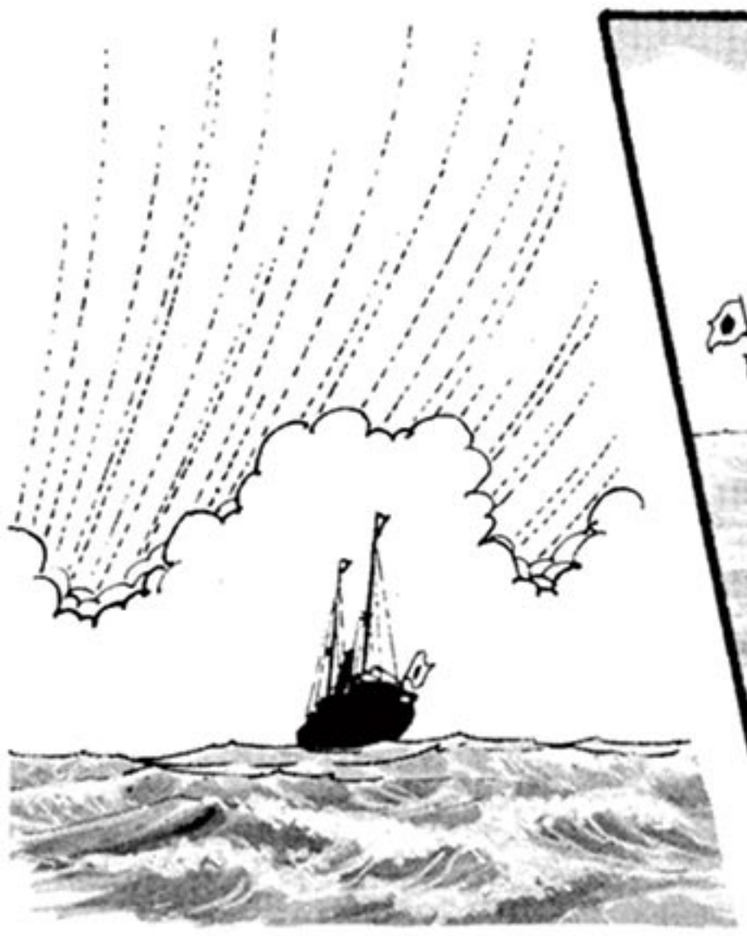
石州口
芸州口
長州
小倉口
九州
周防口

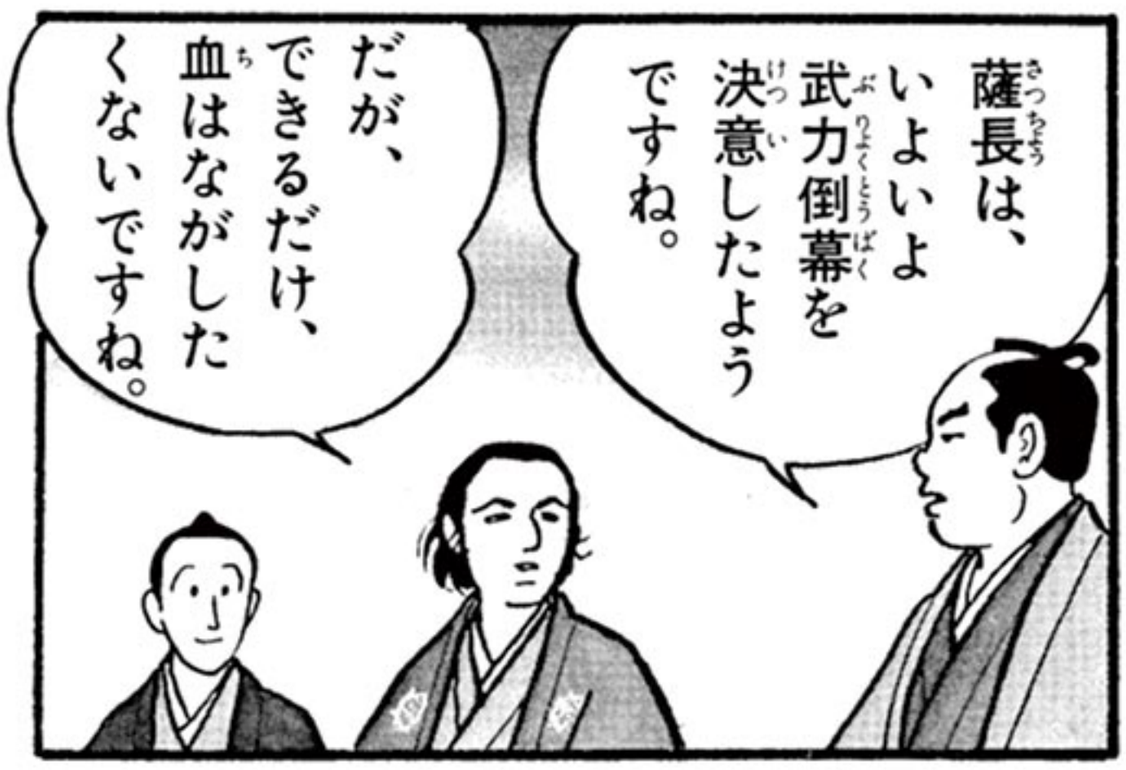
ところが七月二十日、将軍家茂が病死しました。



一八六七年六月、*長崎――

*長崎…長崎県長崎市





おまえさん、この案を山内豊信公につたえてくれないか。

殿からも、将軍を説得してもらうわけですね。

将軍がこの案をうけ入れなかったとしたら？

そのときは、武力あるのみ。

問題は、それからの日本のことだ。

わたしには、基本的な考えがあるんだがね。

聞かせてください。

筆記しておきましょう。

第一に、朝廷中心の政治を行うこと。第二に、議会をもうけ、すべてを公の場できめること。

第三に……

……。第四に、外国との不平等条約を改正すること…。

サラサラサラ

それから、新しい*大典も必要だな。

この龍馬の考えは、「船中八策」とよばれ、後に明治政府が出した「五箇条の御誓文」にも、そのえいきょうが見られます。

日本の未来……。一日も早くその姿を見たい…。

しかし坂本龍馬は、*大政奉還の一か月後、中岡慎太郎とともに京都で暗殺されました。

*大典…憲法のこと。*大政奉還…政治の実権を幕府から朝廷にかえすこと。

京都郊外、岩倉具視の屋敷

公卿 岩倉具視

むさ苦しいところに、よくおたずねくださいました。

大久保利通

すでに薩長では、挙兵の準備がととのっております。

……。

わたしも、公武合体の考えはすててています。

長州藩士 品川弥二郎

そこであなたに、ひとはたらきおねがいしたいのです。

……、わかりました。朝廷の工作は、わたしにおまかせください。

わずかですが、朝廷には反幕府の公卿もおります。

なんとか、みかどをうごかしていただきたいのです。

うむ……。

幕府か薩長か、どちらが*玉を手にするかで、この勝敗はきまるな。

*王…天皇のこと。

数日後――

事は急をようしています！

しかも、秘密のうちにはこばねばなりません。

中山忠能

正親町三条実愛

中御門経之

薩長は、倒幕挙兵のための大儀名分を、ほしがっています。

勅命がほしいのですか。しかし、みかどはおわかいし…、事の判断がまだ…。

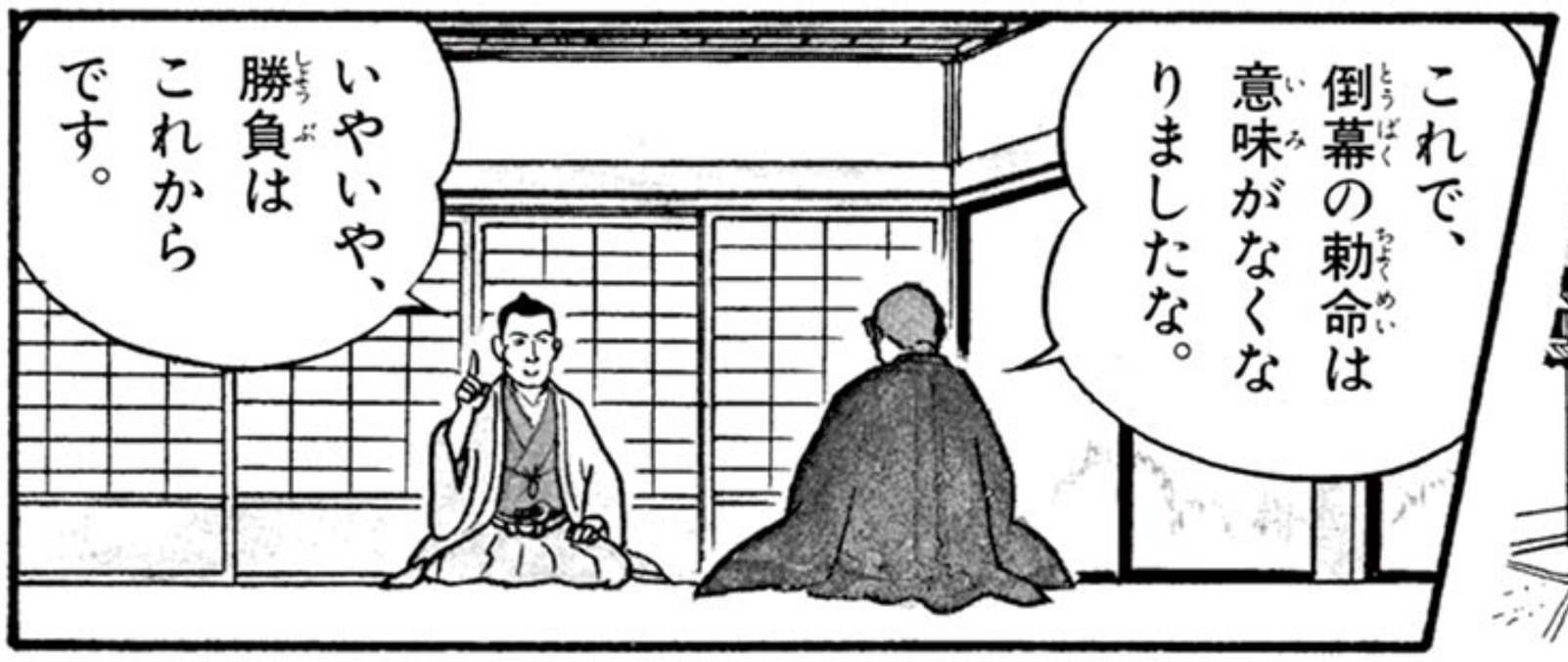
ですから、われわれの判断で…。

ええっ！にせの勅命を…!?

しかし、一八六七年十月、将軍慶喜は幕府の諸役人、諸藩の代表を二条城にあつめ、大政奉還の意志をつげました。

朝廷に政権をおかえしすることにする。

これで倒幕派の先手をとった。



*伊勢神宮…三重県伊勢市にある、朝廷と関係の深い神宮。

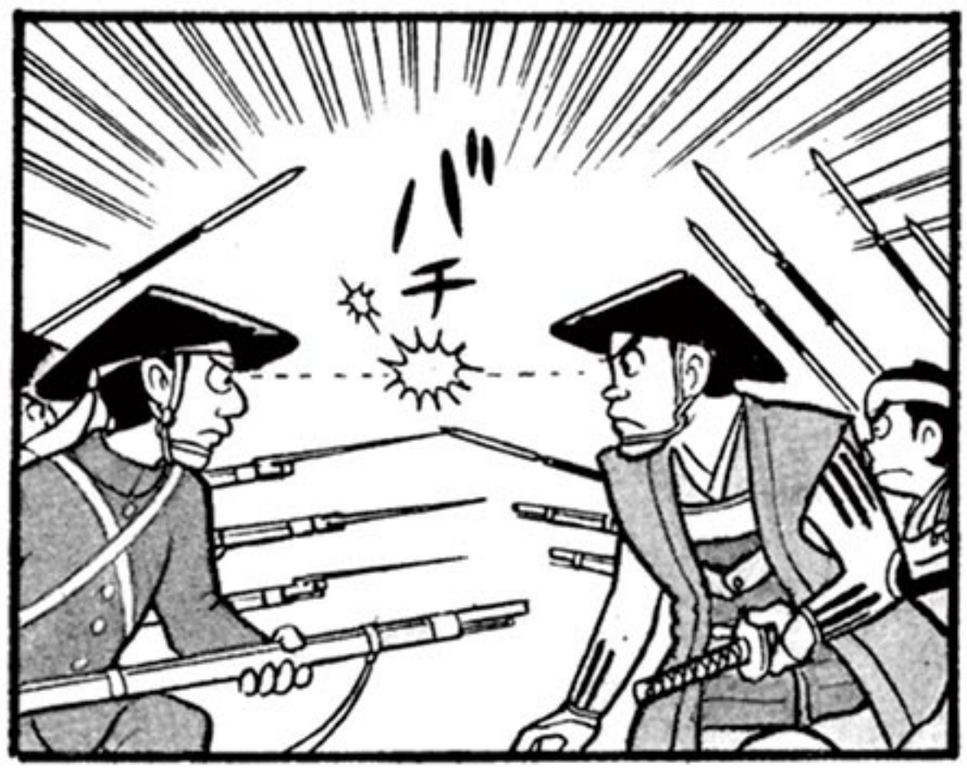
このころ、各地で世直しの一揆や打ちこわしがおこり、幕府や諸藩をおびやかしていました。
ええじゃないかの運動も、人びとの不満や不安が高まって生じたものといえます。
さて、尊攘派の活動は、八月十八日の政変により一時なりをひそめていましたが、やがて、薩長同盟を境に一気に倒幕の声がおき、ついに幕府は朝廷に政権をかえさざるをえなくなったのです。
きんちょうした政治情勢は、この後もつづきます。
お札がふってもええじゃないか。
ええじゃないか、ええじゃないか。
おどりおどっても、ええじゃないか。
大神宮
天照

小学館 eBooks

第四章

戊辰戦争

——江戸時代末期——



こうして、九門を警備する役の会津藩や桑名藩の兵はしりぞけられ、京都御所の内外は、薩摩藩などの兵によってかためられました。

*御所の九門…京都御所の周囲にある九つの門。第三章参照。

京都御所、学問所

おほん。

天皇は、倒幕派公卿や有力大名を前に、幕府制度をやめ、朝廷に政権をもどすことを宣言しました。これを、「王政復古の大号令」といいます。

今夜さっそく、新政府代表によって朝議を行うことにする。

議題は、徳川慶喜の処分についてであります。

京都御所、小御所――

薩摩め、強引にやりおったな。

これでは、大政奉還を成功させた努力も水のあわだ…。

おまちなさい!!この会議に徳川侯の出席がないのは納得いかぬぞ!!

これまで二百年あまり平和な時代をきずいてきたのは、徳川氏の功績ではありませぬか!!

岩倉具視

元土佐藩主 山内豊信

だいたい、本日のやり方は陰険ですぞ!!

おことばをつつしまれよ、御前でありますぞ!!

こうなったからには、徳川家も諸藩の一つとして新政府に参加すべきです。

福井藩主 松平慶永

多くの藩もこの考えに賛成でしょう。

*尾張藩主 徳川慶勝

諸侯の説得は、わたしたちにおまかせを。

上さまは、しばらく大坂城にておまちを…。

岩倉邸

土佐や福井は、諸侯会議によるまきかえしをねらっています。

そうなれば、頭にたつのはやはり徳川。

王政復古もこれでは骨ぬきです。

長州兵も入京したことだし、いよいよ武力でいきますか。

しかし、倒幕挙兵の名目がたたぬことには…。

それについては、のう…、西郷どん。

うむ、ひそかに手をうってあります。

まもなく結果が出るはずです。

江戸の方からですがね…。

江戸、勘定奉行所——

最近、市中ではしばしば——

おとなしく軍資金を出すのだ!!

ひえっ!! どうか、命だけはおたすけを。

*尾張藩…愛知県の西部を領地とした藩。徳川御三家の一つ。

また、関東の各地では――

われわれは、倒幕のさきがけなるぞおっ!!

それっ、*陣屋をおそえ!!

*陣屋…代官などの役所。

強盗や挙兵の浪士は、薩摩屋敷に出入りしている者たちです。

勘定奉行 小栗忠順

ううむ。

やつらが町中に放火するといううわさもあります。

もう、がまんできん。薩摩屋敷をとりしまろう。

江戸の薩摩藩邸――

ついに幕府が、攻撃してきました。

西郷さんの指令どおり、江戸であばれまわったが…。

相楽総三

思ったとおりの結果になりましたな。

品川から、船でにげるのだ!!

大坂城

薩摩はきたない！

だんこ、たたかうぞ!!

ううむ、薩摩の横暴はゆるせぬ。いくさじゃ！諸藩にもつたえよ!!

ついに旧幕府側は、新政府と敵対することになりました。

一八六八年一月はじめ、旧幕府軍は鳥羽*・伏見*の両街道から京へせめのぼろうとしました。

計画どおり、うまくいきましたわい。

はははっ

これで、倒幕のいくさの名目がたつわけだ。

*鳥羽…京都市南区・伏見区にまたがる地域。

鳥羽方面

薩摩の腕を見せてくれる。

幕府軍の入京をくい止めるのだ。

●鳥羽・伏見の戦い（1868年1月3日～5日）

御所

二条城

伏見街道

桂川

下鳥羽

伏見

鳥羽街道

巨椋池

木津川

淀川

うわあっ!!

ダダダダ

*伏見…京都市伏見区

鳥羽方面の砲声をきっかけに、伏見方面でも戦いがはじまりました。これを「鳥羽・伏見の戦い」といい、ここに「*戊辰戦争」とよばれる内乱の火ぶたが切っておとされたのです。

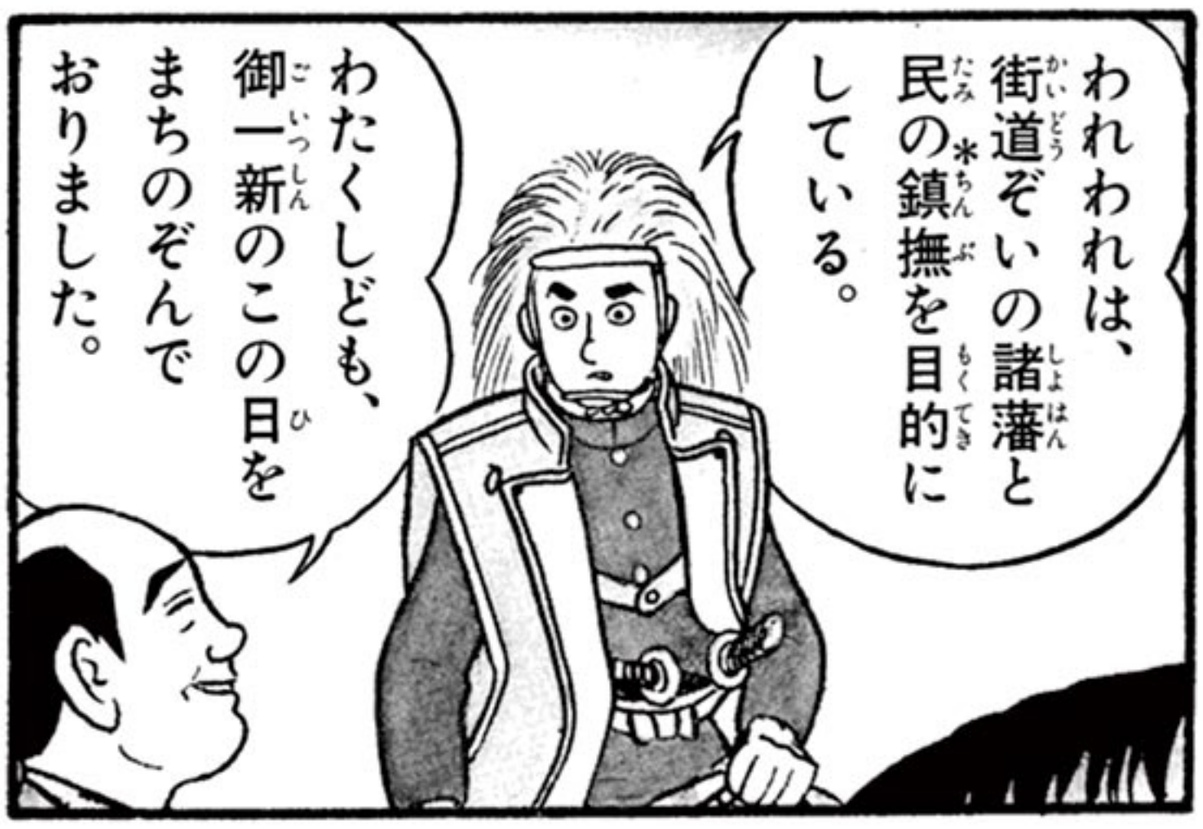
数日間の戦いの後、*淀藩や*津藩のうらぎりもあって幕府軍は総くずれとなり、*大阪へむけてにげ出しました。

*戊辰戦争…一八六八年一月三日の鳥羽・伏見の戦いから、一八六九年五月十八日の五稜郭の戦いまでをいう。*淀藩…京都府久世郡付近を領地とした藩。

*津藩…安濃津藩ともいう。三重県安芸郡付近を領地とした藩。*大阪…この本では、一八六八年(明治元年)から大坂を大阪とあらためます。

＊東征大総督…旧幕府をうつための司令官。

中山道馬籠の宿——



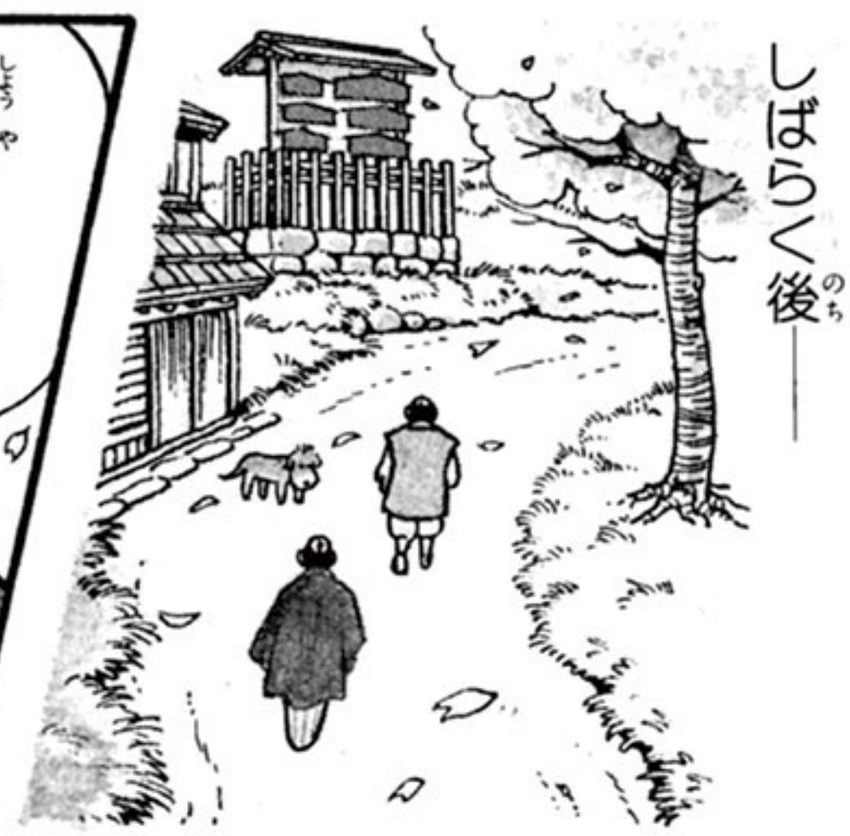
*御一新…明治維新のこと。維新の維は「これ」という意味で、すべてが新しくなるということ。

*馬籠…岐阜県中津川市馬籠。中山道の宿場。

*東山道…中部、関東、東北地方の山地を中心とする国ぐに。

*鎮撫…世の乱れをしずめ、人民を安心させること。

＊官軍…政府軍。朝廷側の軍勢。



江戸城

ここにきて、城内の秩序がみだれてきた。

勝海舟

乱世か……。

軽輩出身のわたしが、陸軍総裁に出世するほどだからな。

上さま、ご決心は…。

うむ。

官軍とたたかえば、いちおうは勝てるかもしれませんが…。

しかし、今、各地で一揆や打ちこわしがおこっておりますし、もはや民の心は幕府からはなれております。

残念ながら、幕府の土台はくずれてしまっております。

徳川慶喜

そちのいうとおり、わたしは朝廷に謝罪し、謹慎することにしよう。

はい、あとはわたくしにおまかせを。

慶喜は、江戸城を出て上野寛永寺で謹慎することになりました。

ただ今、駿府からもどってまいりました。

ご苦労。総督府の西郷どのには会えたかい。

はい、徳川家の処遇につき、談判してまいりました。

勝海舟の家

＊寛永寺…東京都台東区上野公園内にある寺。

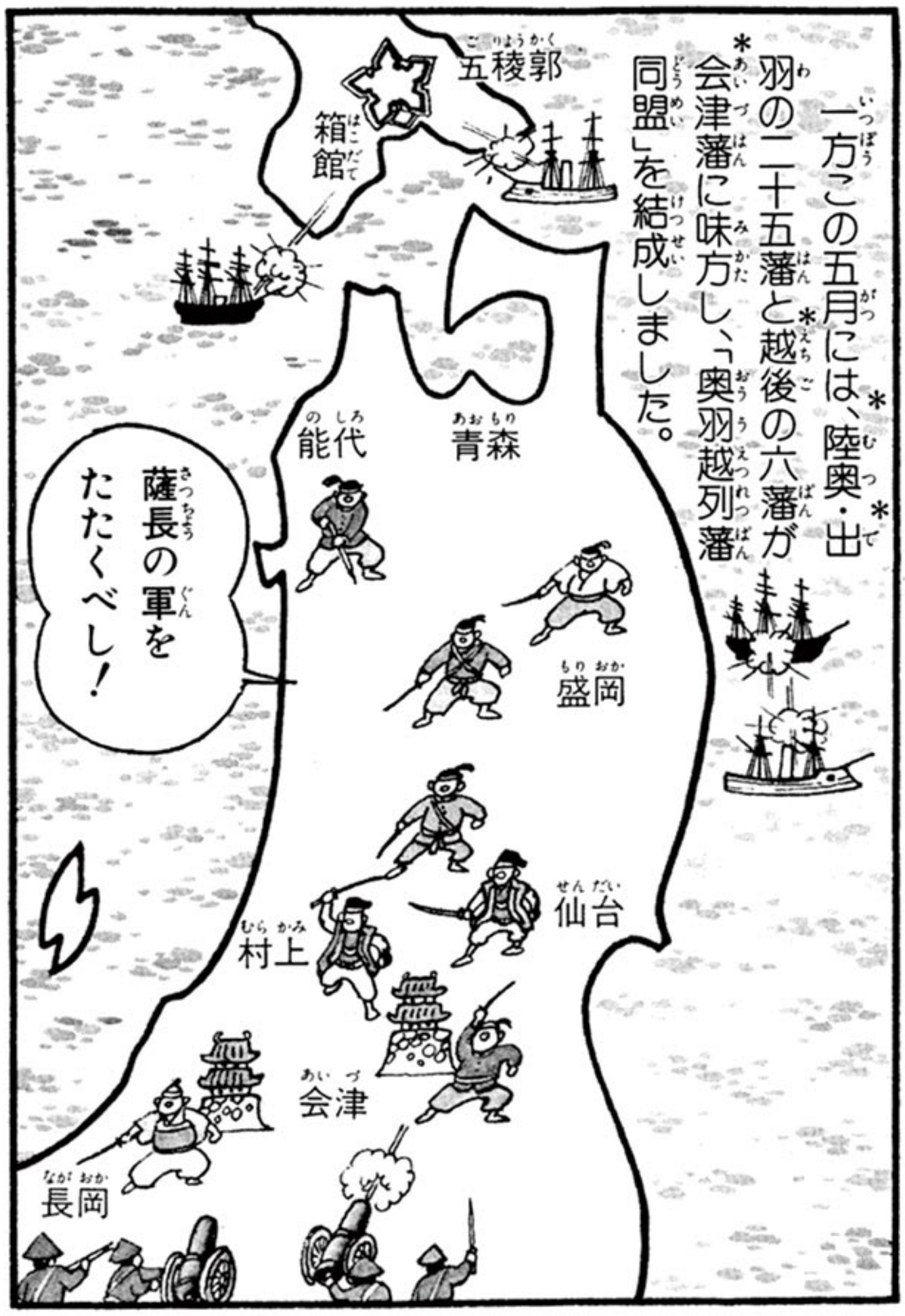
＊駿府…駿河国（静岡県中部）の国府。静岡市。

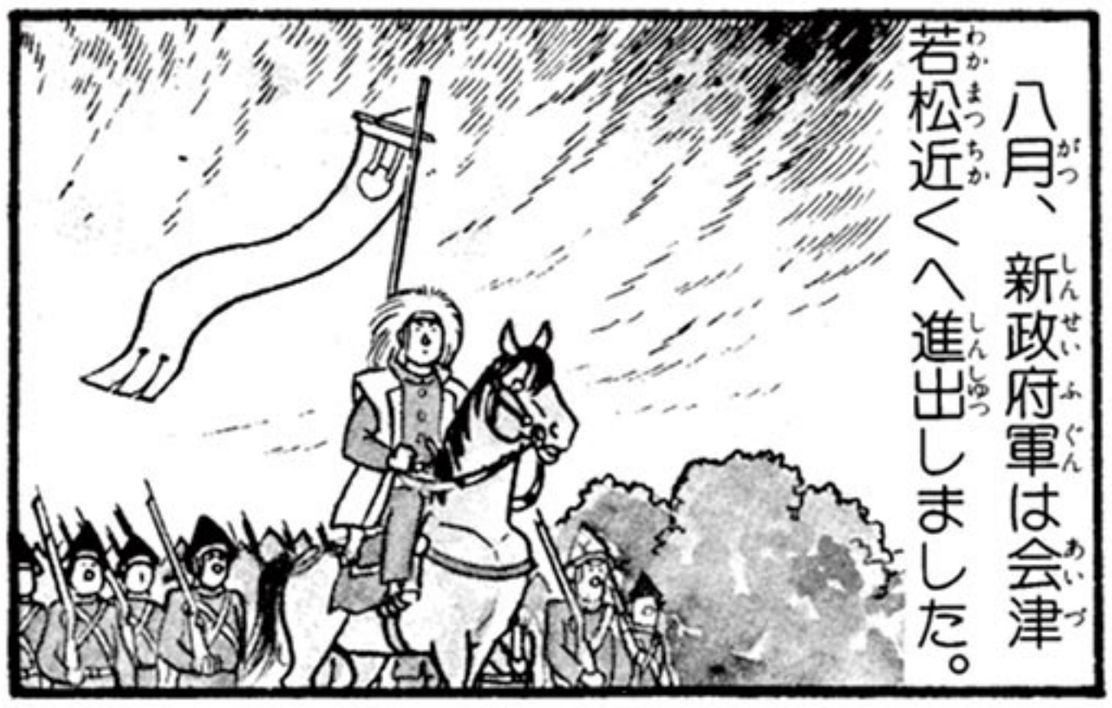
江戸城総攻撃は三月十五日の予定だそうです。
うむ、もうあといく日もないな。
西郷どのは、江戸高輪*の薩摩藩邸に入るそうです。
よし、会いに行こう。

*高輪…東京都港区高輪付近

勝海舟と西郷隆盛の会談は、三月十三日と十四日に行われました。

同じ三月十四日、京都では天皇が新政府の基本方針を発布しました。これを、「*五箇条の御誓文」といいます。
*五箇条の御誓文…一四六ページ参照。
四月十一日、江戸城は新政府にあけわたされ、慶喜は謹慎の身となり水戸へくだりました。
徳川幕府は、ここにほろんだのでした。
その後も旧幕臣二千名あまりが彰義隊を結成、五月まで上野で抵抗の構えを見せましたが、実際に戦闘が始まると、わずか一日で政府軍にやぶれてしまいました。
ドーン
ワーワー
ドーン
ドーン
それ、せめまくれ。
その後、八月には榎本武揚のひきいる旧幕府軍の艦隊が、江戸湾から脱出することになります。





＊陸奥…福島・宮城・岩手・青森の四県。＊出羽…山形・秋田の二県。＊越後…新潟県

＊会津藩…福島県会津地方を中心に領地とした藩。

＊会津若松…福島県会津若松市

*戸ノ口原…会津若松市湊町付近

*十六橋…会津若松市と福島県耶麻郡猪苗代町の境にかかる橋。

*飯盛山…福島県会津若松市北東部にある小山。 *弁天洞門…飯盛山の北西側にあるかんがい用水用のほら穴。

おおっ、城がもえている。

見ろ。くくく…。

町ももえている。

ズドーン

ズドーン

ドドー

ズドーン

ズドー

お城をおがんで死のう。

そのころ、城下では——

それ、火をつけろ。

切れ切れ！みなごろしだ。

官軍だ！

きゃああ。

にげろお。

もはや
これまでだ。
われわれも
お城と命を
ともに……。

敵の手に
かかるよりも…。

しかし、このとき城はもえていず、少年たちは民家の火を城のものと誤解してしまったのです。たたかいつかれた白虎隊の隊員たちは、死をえらび、つぎつぎに悲劇的な最期をとげていきました。

手きずが
苦しい…。
お先に
ごめん！

会津軍は、城内にこもり籠城戦に入りました。

ドドド

ところで、この年の七月に江戸は東京とあらためられ、九月には年号が明治と改元され、十月になると明治天皇が江戸城に入りました。

一方、八月に江戸を脱出した旧幕府軍の軍艦は東北の戦争で同盟軍がやぶれたので、*松島湾から*蝦夷へむかいました。

海軍副総裁 榎本武揚

蝦夷に独立国をつくろう。

十月、榎本軍は蝦夷地に上陸、*箱館付近と五稜郭を占領しました。

ドーン ドドドド

そして、榎本武揚を総裁とする政権が誕生しました。しかし——

一八六九年四月、新政府は蝦夷地に軍をおくりました。

ドドドド

ワッ

ズドドド

さて、これまで見てきたように、日本は、ペリー来航によって開国にふみきりましたが、その後、かつてなかったほどの混乱と変動の時期をむかえました。

やがて、王政復古の大号令の後におきた戊辰戦争では、薩摩、長州両藩を中心とする武力倒幕軍が、徳川氏を支持する旧幕府軍をやぶりました。

こうして、家康が江戸に幕府をひらいて約二百六十年後、ついに徳川武家政権はたおれ、新時代がはじまりました。

明治の新政府は、内乱の間にもつぎつぎと「明治維新の改革」を行いましたが、それについては、十七巻でくわしく見ることにしましょう。

小学館 eBooks

おうちの方へ

幕末の風雲

京都教育大学名誉教授　高山博之

一八五三年、ペリーの黒船が来航し、日本の社会は激動の時代を迎えます。諸外国の強い外圧の中で、矛盾を拡大させてきた国内の封建体制も、音をたてて崩れていったのです。

ここで扱う約16年間には、激しい争い、動乱、そして江戸幕府の滅亡、明治新政府の成立と、歴史上まれな急激な変革が進められました。変化への期待を高めた沢山の青年や民衆が活躍し、多くの血が流されて、新時代が生まれます。

転換期の様々な局面をとらえさせるとともに、ひたむきに生きた群像に着目させてください。外国勢力の動きにも留意させましょう。

●第1章「黒船が来た！」

ペリー来航によって、2世紀以上にわたる鎖国は終わりました。それまでも、外国船はしばしば来航していましたが、武力を背景にしたペリーの強圧的態度に幕府は屈したのです。

すでに、幕府の支配体制は内部から崩れており、外圧に対抗する力を失っていました。内圧と外圧の両面から、開国の状況を摑ませてください。当時の欧米列国の海外侵略のありさまにも目を向けることが大切です。

やがて、幕府は通商条約を結び、経済の混乱の中で攘夷運動が高まりました。安政の大獄で強権を振るった幕府も、井伊直弼暗殺によって力を失い、独裁体制は崩壊するのです。

●第2章「尊王攘夷と公武合体」

冒頭に、安政条約批准のための遣米使節と、随行した咸臨丸の壮挙が描かれています。福沢諭吉や中浜万次郎も同行しました。不平等条約、異文化に接した驚きに注目させましょう。

外国との自由な貿易が始まった日本では、品

不足、金流出、物価上昇などで経済が混乱し、外国人殺傷事件があいつぎ、尊王攘夷運動が高まりました。幕府は、和宮降嫁など公武合体策を進めますが、逆に尊攘派を刺激します。

尊攘派の中心だった薩長両藩は、ついに攘夷を実行し、外国と戦いますが敗北しました。各地から登場した志士の活躍も見ものです。複雑な動向をよく整理して摑ませてください。

●第3章「大政奉還」

尊王攘夷運動は、しだいに倒幕運動へと発展します。尊攘派は朝廷を立てて倒幕の大義名分を得ようとしましたから、京都が争乱の中心地となり、幕府方の新撰組も活躍しました。

薩摩や長州では、下級武士が台頭して倒幕運動の中心になりますが、それぞれ藩内の事情があり、運動は複雑な様相を示しました。しかし、時流を見通した坂本龍馬らの仲立ちで薩長同盟が成立、倒幕の気運が一気に高まります。

一方、将軍慶喜は、名を捨てて実を取ろうと大政奉還を断行し、倒幕派の鋒先をかわそうと図りました。

内容が大変混みいっています。筋を見失わぬよう注意させましょう。

●第4章「戊辰戦争」

将軍慶喜の思惑に反し、薩長の倒幕派や公家の岩倉らは、徳川氏を新政権から除外することを決め、領地も没収したため、追いつめられた幕府方が決起し、戊辰戦争がおこりました。

薩長中心の新政府軍は、世直しを期待する民衆の動きを利用し、策謀をめぐらせながら各地で幕府軍を破り、江戸を東京と改めて、ここに天皇中心の政府を樹立しました。

明治新政権が誕生した経過をしっかり摑ませてください。政府を構成したのは、薩長土肥4藩の下級武士と倒幕派の公家でした。この点も大切な要素です。

また、全体を通して、登場人物を整理し、業績を考えさせるとよいでしょう。

児玉幸多
Kouta Kodama

歴史を漫画で説明しようというのはかなり冒険である。しかし、文字で読んでも、耳から聞いても、人それぞれに頭の中ではその光景を絵に描いているのである。それが子供たちの頭の中で全くの絵空事にならないように、今の歴史研究の段階では、このくらいのところまでは漫画にすることができるのではないかという試みがこの企画である。

それぞれの専門研究家の指導によって一巻ごとの構成を決め、作図や文章表現も考慮しているので、誤った知識を得る恐れはないと思う。そして、多分、大人が読んでも、あるいは見ても、十分に楽しみながら日本歴史の学習ができるのではないかとも考えている。遺跡の発掘、奈良の大仏の鋳造、天守閣の構築、それらの一つ一つにも、専門家の新しい研究成果が判りやすく盛りこまれているからである。楽しみながら正確な知識が得られることを願う次第である。

小学館 eBooks
学習まんが　少年少女 日本の歴史　第16巻　幕末の風雲

2015年3月27日　電子書籍版発行
監　修　児玉幸多
まんが　あおむら 純
発行人　伊藤 護
発行所　株式会社　小学館
〒101-8001
東京都千代田区一ツ橋2-3-1
s-ebook@shogakukan.co.jp

底　本　2014年10月7日　増補版第22刷発行

©SHOGAKUKAN 2015 ISBN978-4-09-298116-4

※ご注意
本作品の全部または一部を無断で複製、転載、改竄、公衆送信すること、および有償無償にかかわらず、本データを第三者に譲渡することを禁じます。
個人利用の目的以外での複製など違法行為、もしくは第三者への譲渡をしますと著作権法、その他関連法によって処罰されます。